

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

| | | |
|---|---------------------------------------------|----|
| 1 | 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況 | 2 |
| | (1) 学生確保の見通し | 2 |
| | 1) 定員充足の見込み | 2 |
| | 2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要 | 3 |
| | 3) 学生納付金設定の考え方 | 8 |
| | (2) 学生確保に向けた具体的な取組状況 | 8 |
| 2 | 人材需要の動向等社会の養成 | 8 |
| | (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） | 8 |
| | (2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠...9 | |
| | 1) 人文・社会・芸術分野に関する国際的状況とわが国における状況.....9 | |
| | 2) 人文・社会・芸術分野に関する社会的ニーズ | 9 |
| | 3) 関係業界との連携体制 | 13 |

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

1) 定員充足の見込み

人文社会芸術総合研究科は、人文科学研究科、人間発達科学研究科、経済学研究科、芸術文化科学研究科の4研究科を、人文社会芸術総合研究科人文社会芸術総合専攻として教育課程を統一し、教育研究指導体制を学問的体系に従って再編成の上、プログラム化するものである。そのため、本研究科の入学定員は、改組元となる人文科学研究科、人間発達科学研究科、経済学研究科及び芸術文化科学研究科の各専攻の入学実績を踏まえて、46名（プログラムごとの募集員数は表1）に設定した。

なお、令和4年4月に、本研究科と大学院理工学研究科との関係により、研究科等連係課程実施基本組織「持続可能社会創成学環」を設置予定であるが、研究科等連係課程実施基本組織の収容定員は、連係協力研究科等の収容定員の内数とする必要があることから、持続可能社会創成学環に対しては本研究科から8名を拠出する。

表1 人文社会芸術総合研究科 人文社会芸術総合専攻 プログラム別の募集人数

| プログラム名 | 募集人数 |
|-----------------|------|
| 心理学プログラム | 5 |
| 人文・芸術プログラム | 15 |
| 共創経済プログラム | 18 |
| 持続可能社会創成学環への拠出分 | 8 |
| 総計 | 46 |

本研究科は、富山大学の学部を卒業してストレートに進学する学生、他大学の学部を卒業して進学する学生、留学生及び社会人を入学対象として想定しているため、① 学内学生に対するアンケート結果、② 学外からの入学者の実績、③ 学外の入学が見込まれる者へのアンケート結果及び④ 改組前の組織全体の入学者の実績の4つの観点から総合的に判断すると、定員確保の想定人数は以下のとおりであり、本研究科の入学定員46名（関係する研究科等連係課程実施基本組織へ拠出する入学定員を含む）は、充足できる見込みである。

なお、「② 学外からの入学者の実績」「④ 改組前の組織全体の入学者の実績」については、本研究科の改組元である人文科学研究科、人間発達科学研究科、経済学研究科、芸術文化科学研究科のデータに基づくものである。

心理学プログラム 【募集人数 5名】 は12名 (A I +C1)

人文・芸術プログラム 【募集人数 15名】 は19名 (A II +B I)

共創経済プログラム 【募集人数 18名】 は21名 (AIII+BII+CII)

A 学内学生に対するアンケート結果

心理学プログラム 4名・・・AI
人文・芸術プログラム 7名・・・AII
共創経済プログラム 3名・・・AIII

B 学外からの入学者の実績

人文・芸術プログラム 12名・・・BI
(人文科学研究科, 人間発達科学研究科, 芸術文化科学研究科の実績)
共創経済プログラム 17名・・・BII
(経済学研究科の実績)

C 学外の入学が見込まれる者へのアンケート結果

心理学プログラム 8名・・・CI
共創経済プログラム 1名・・・CII

2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

①学内学生に対するアンケート結果

本研究科が設置された際にストレートで入学することが見込まれる、本学の4年制学士課程の3年次の学生(令和3年1月時点)を中心に、オンラインによる説明会を実施の上、併せてアンケートを実施した(資料1)。

アンケートへの回答は、全部で1,575件(理系含む)あり、うち1,250件が4年制学部の3年次の学生である。さらに、3年次の学生のうち、「本学大学院(修士, 博士前期)への進学を考えている」と回答した学生は431名であり、人文社会芸術総合研究科の下に置く各プログラムに「ぜひ進学したい」と回答した者の数10名で、内訳は次のとおりである。

| | |
|------------|-----|
| 心理学プログラム | 4名 |
| 人文・芸術プログラム | 5名 |
| 共創経済プログラム | 1名 |
| 合計 | 10名 |

なお、今回の全学的な大学院改組では、2つ以上の研究科の緊密な関係による研究科等連係課程実施基本組織を設置する構想としており、関係元の研究科と研究科等連係課程実施基本組織との間で、はっきりと決めきれない学生が出るのが想定されたため「②どのプログラム・研究科連係課程にするか迷っている」の選択肢を設け、具体的な組合せを回答させている。この回答を選択した場合は、組合せの内容を按分してそれぞれのプログラム等に加算した。按分したものを加算した結果は、次のとおりである。

| | |
|------------|-----|
| 心理学プログラム | 4名 |
| 人文・芸術プログラム | 7名 |
| 共創経済プログラム | 3名 |
| 合計 | 14名 |

本研究科が連係協力研究科となる研究科等連係課程実施基本組織である、「持続可能社会創成学環」を同時期に設置予定であるため、アンケートの結果を内数の設定の目安とする。人文社会芸術総合研究科の主な進学元である、人部学部及び経済学部から「持続可能社会創成学環」の各プログラムに「ぜひ進学したい」と回答した人数は4名であり、その内訳は次のとおりである。

| | |
|-----------------|----|
| 社会データサイエンスプログラム | 1名 |
| グローバルSDGsプログラム | 3名 |
| 合計 | 4名 |

このことを踏まえると、人社芸術系学部として学内学生からの大学院進学の実績は、合計18名あると考えられる。

②学外からの入学者の実績

本研究科の改組元である人文科学研究科、人間発達科学研究科、経済学研究科、芸術文化科学研究科の学外からの入学者実績は表2のとおりで、平成28年度から令和2年度の5年間の平均の合計は29名である。いずれも恒常的に学外からの入学実績があり、人文科学研究科及び経済学研究科は、特にその比率が高い。

表2 各研究科の過去5年間の学外からの入学実績

| 研究科名 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 令和2年度 | 平均 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|----|
| 人文科学研究科 | 6 | 5 | 8 | 6 | 7 | 6 |
| 人間発達科学研究科 | 3 | 4 | 2 | 9 | 4 | 3 |
| 経済学研究科 | 13 | 19 | 19 | 16 | 18 | 17 |
| 芸術文化科学研究科 | 0 | 3 | 1 | 4 | 5 | 3 |
| 合計 | 22 | 31 | 30 | 35 | 34 | 29 |

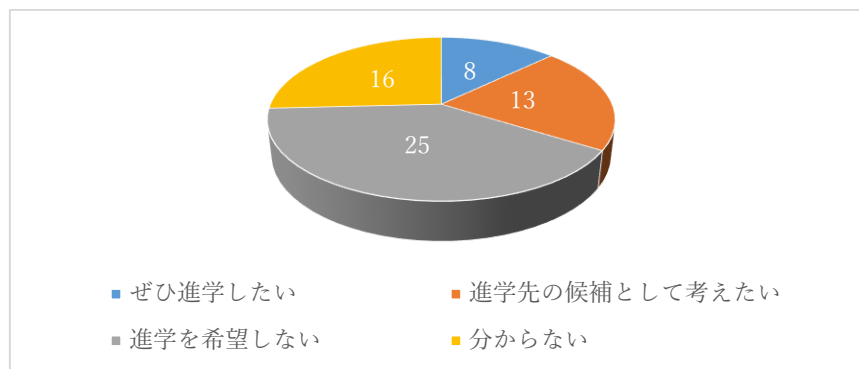
また、経済学研究科の学外からの入学実績のうち3名については、研究分野として持続可能社会創成学環のグローバルSDGsプログラムに関係が強く、当該学環新設後はそちらへ進学すると推測される。

③学外の入学が見込まれる者へのアンケート結果

人文社会芸術総合研究科が設ける3つのプログラムのうち、心理学プログラムについては、公認心理師の養成に対応したプログラムである。公認心理師養成は学部で心理学に関する一定の単位取得が必要であり、本学では令和4年度から人文学部が対応する。そのため、4年間は人文学部から心理学プログラムに対して公認心理師試験の受験資格を得ることを目的とした進学が見込めないことから、心理学を専門とした本学人文学部既卒者に対してリカレントとしてのニーズも調査した(資料2)。その結果、回答者62名のうち8名が「心理学プログラム」にぜひ進学したいと回答している。また、13名が進学先の候補として考えたいとしており、合計21名が進学について前向きな回答をしている。

[アンケート結果抜粋]

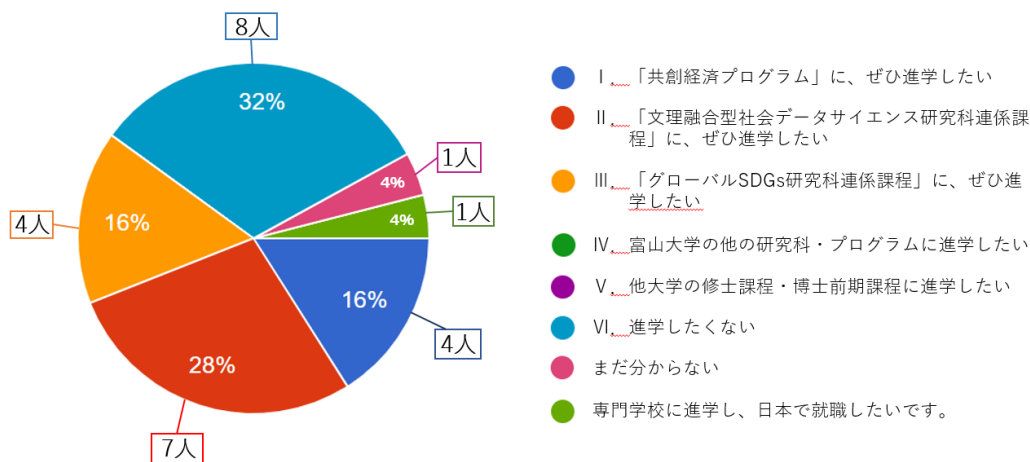
4. 富山大学に上記の心理学プログラム(仮称)が設置された場合、アカデミックな心理学を学ぶため、又は公認心理師の受験資格※を得るために大学院進学を考えますか。



また、現在の経済学研究科は、これまでの実績として学外からの進学が極めて多いこと、今回の全学的改組を機に新設する持続可能社会創成学環の主たる分野の1つが経済系であることから、国内において進学実績のある近隣大学の経済系学部等に対し、共創経済プログラム及び持続可能社会創成学環に対する希望調査を行った。その結果、4名が「共創経済プログラム」に、11名が「持続可能社会創成学環に」ぜひ進学したいと回答している(資料3)。ただし、共創経済プログラムへの希望者のうち、3名は②学外からの入学者実績と重複する。

[アンケート結果抜粋]

7. あなたが、ぜひ進学したいと思うプログラム・関係課程はどれですか。



④改組前の組織全体の入学者の実績

本研究科の改組元である人文科学研究科、経済学研究科及び芸術文化科学研究科の入学者については、平成28年から令和2年度の5年間平均で48名（入学定員46名）であり、内訳は次のとおりである（表3）。改組元となる4研究科の過去5年間の平均入学定員充足率は1.02倍となっている（表4）。

表3 各研究科の過去5年間の入学志願状況

| 研究科等 | 専攻名 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 平均 |
|-----------|--------|---------|--------|--------|--------|-------|-------|------|
| 人文科学研究科 | 人文科学専攻 | 志願者数 | 11 | 8 | 11 | 12 | 13 | 11 |
| | | 受験者数 | 11 | 7 | 11 | 11 | 13 | 11 |
| | | 合格者数 | 10 | 7 | 11 | 9 | 10 | 9 |
| | | 入学者数 | 9 | 6 | 11 | 8 | 9 | 9 |
| | | 入学定員 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | |
| | | 入学定員充足率 | 1.13 | 0.75 | 1.38 | 1.00 | 1.13 | 1.08 |
| 人間発達科学研究科 | 発達教育専攻 | 志願者数 | 5 | 4 | 4 | 6 | 7 | 5 |
| | | 受験者数 | 5 | 4 | 4 | 5 | 7 | 5 |
| | | 合格者数 | 5 | 4 | 4 | 4 | 6 | 5 |
| | | 入学者数 | 4 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 |
| | | 入学定員 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| | | 入学定員充足率 | 0.67 | 0.67 | 0.50 | 0.67 | 0.67 | 0.63 |
| | 発達 | 志願者数 | 6 | 12 | 8 | 11 | 11 | 10 |

| | | | | | | | | |
|----------------------|--------------------------|---------|------|------|------|------|------|------|
| | 環境 専攻 | 受験者数 | 6 | 12 | 7 | 11 | 11 | 9 |
| | | 合格者数 | 6 | 11 | 7 | 11 | 7 | 8 |
| | | 入学者数 | 6 | 10 | 5 | 11 | 7 | 8 |
| | | 入学定員 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| | | 入学定員充足率 | 1.00 | 1.67 | 0.83 | 1.83 | 1.17 | 1.30 |
| | 人間発 達科学 研究科 (計) | 志願者数 | 11 | 16 | 12 | 17 | 18 | 15 |
| | | 受験者数 | 11 | 16 | 11 | 16 | 18 | 14 |
| | | 合格者数 | 11 | 15 | 11 | 15 | 13 | 13 |
| | | 入学者数 | 10 | 14 | 8 | 15 | 11 | 12 |
| | | 入学定員 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | |
| | 入学定員充足率 | 0.83 | 1.17 | 0.67 | 1.25 | 0.92 | 0.97 | |
| 経済学 研究科 | 地域・ 経済 政策 専攻 | 志願者数 | 6 | 12 | 7 | 10 | 10 | 9 |
| | | 受験者数 | 6 | 12 | 7 | 10 | 10 | 9 |
| | | 合格者数 | 5 | 10 | 7 | 9 | 9 | 8 |
| | | 入学者数 | 4 | 10 | 7 | 7 | 6 | 7 |
| | | 入学定員 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| | 入学定員充足率 | 0.67 | 1.67 | 1.17 | 1.17 | 1.00 | 1.13 | |
| | 企業 経営 専攻 | 志願者数 | 21 | 17 | 17 | 15 | 19 | 18 |
| | | 受験者数 | 21 | 17 | 17 | 15 | 18 | 18 |
| | | 合格者数 | 12 | 13 | 12 | 10 | 14 | 12 |
| | | 入学者数 | 12 | 13 | 12 | 10 | 13 | 12 |
| | | 入学定員 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | |
| 入学定員充足率 | 1.00 | 1.08 | 1.00 | 0.83 | 1.08 | 1.00 | | |
| 経済学 研究科 (計) | 志願者数 | 27 | 29 | 24 | 25 | 29 | 27 | |
| | 受験者数 | 27 | 29 | 24 | 25 | 28 | 27 | |
| | 合格者数 | 17 | 23 | 19 | 19 | 23 | 20 | |
| | 入学者数 | 16 | 23 | 19 | 17 | 19 | 19 | |
| | 入学定員 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | | |
| 入学定員充足率 | 0.89 | 1.28 | 1.06 | 0.94 | 1.06 | 1.04 | | |
| 芸術 文化 学 研究科 | 芸術文 化学専 攻 | 志願者数 | 10 | 11 | 18 | 12 | 14 | 13 |
| | | 受験者数 | 10 | 9 | 16 | 12 | 14 | 12 |
| | | 合格者数 | 9 | 8 | 9 | 9 | 10 | 9 |
| | | 入学者数 | 9 | 8 | 9 | 7 | 7 | 8 |
| | | 入学定員 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | |
| 入学定員充足率 | 1.13 | 1.00 | 1.13 | 0.88 | 0.88 | 1.00 | | |

表4 H28-R02年度 改組前組織の平均入学者及び平均定員充足率

| 研究科名 | 入学者数（年平均） | 平均定員充足率 |
|-----------|-----------|---------|
| 人文科学研究科 | 9名 | 1.08倍 |
| 人間発達科学研究科 | 12名 | 0.97倍 |
| 経済学研究科 | 19名 | 1.04倍 |
| 芸術文化学研究科 | 8名 | 1.00倍 |
| 合計 | 48名 | 1.02倍 |

3) 学生納付金設定の考え方

「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」に基づき、本学が定める「富山大学における授業料その他の費用に関する規則」（資料4）のとおり、年額535,800円を設定する。

富山大学は、文部科学省の「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」に示されている授業料、入学料及び検定料の標準額を学生納付金として設定している。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

本研究科の前身である人文科学研究科，人間発達科学研究科，経済学研究科，芸術文化学研究科におけるこれまでの広報活動を再検討し，新研究科の専任教員及び事務職員が一体となって，学生確保に向けた広報活動を行う。具体的には，次の取組を予定している。

- ・研究科の特色，教育内容等を分かりやすく紹介するページを新たに作成する。
- ・一般志願者及び外国人志願者の確保に向け，パンフレットを作成し，各国立大学，県内・近隣私立大学及び各日本語学校へ配布する。
- ・社会人志願者確保に向け，社会人学生募集リーフレットを作成し，県内各報道機関，県内各高等学校（教員向け），県内各企業及び県内各行政機関へ配布する。
- ・パンフレット及び社会人学生募集リーフレットについては，ホームページ等に掲載し，広く広報する。
- ・指定校推薦入試の対象となっている遼寧大学及び中南林業科技大学（ともに中国）へ積極的に広報し，これまで同様，優秀な学生の推薦を依頼する。
- ・NHKラジオ放送による広報を行う。
- ・進学説明会を昼間時間帯と夜間時間帯に開催し，広報する。

2 人材需要の動向等社会の養成

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

人文社会芸術総合研究科は，今日まで積み上げて来た専門的学識とこれからの多様で複雑な社会に対応できる実践的能力とを合わせ持つ人材を育成することを目的とする。そのために，従来の4 研究科（人文科学研究科，人間発達科学研究科，経済科学研究科，芸術文化学研究科）を1つに大括り化，関連する専門分野と教員を有効に組み合わせて教

育研究機能を最大限に発揮できるようにし、社会人が学びやすい制度も整える。

(2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

1) 人文・社会・芸術分野に関する国際的状況とわが国における状況

地球規模で人やモノ、資本が移動するグローバル経済の下では、経済問題、気候変動、自然災害、感染症といった地球規模の課題も世界全体に連鎖して発生し、一国の課題が一国に留まらない状況となっている。そうした背景から、2015年9月に国連で「国連持続可能な開発サミット」が開催され、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択された。同アジェンダにおいて、人間、地球及び繁栄のための行動計画としての目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」が掲げられている。我が国においても「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」（2016年12月22日 内閣SDGs推進本部決定）が定められた。指針では、国際協調主義の下、国際協力への取り組みを一層加速していくことに加え、国内における経済、社会、環境の分野での課題にも、またこれらの分野を横断する課題にも、国内問題として取り組みを強化するのみならず、国際社会全体の課題としても取り組む必要があると述べられている。

一方、近年のICTやAIの目覚ましい発達により、我が国においては、目指すべき未来社会の姿として「Society5.0」が提唱され、大学院において「知のプロフェッショナル」の育成が求められるようになった。さらに我が国は、世界有数の高齢化が進行した国であり、生産年齢人口比率も急速に減少している。一方で、健康寿命は更に延びて「人生100年時代」が提唱される中、年齢による就業の壁が低くなり、キャリアアップのための学び直しや高齢者の就業・社会参加の増加など新たな社会的ニーズの発生が見込まれている。

2) 人文・社会・芸術分野に関する社会的ニーズ

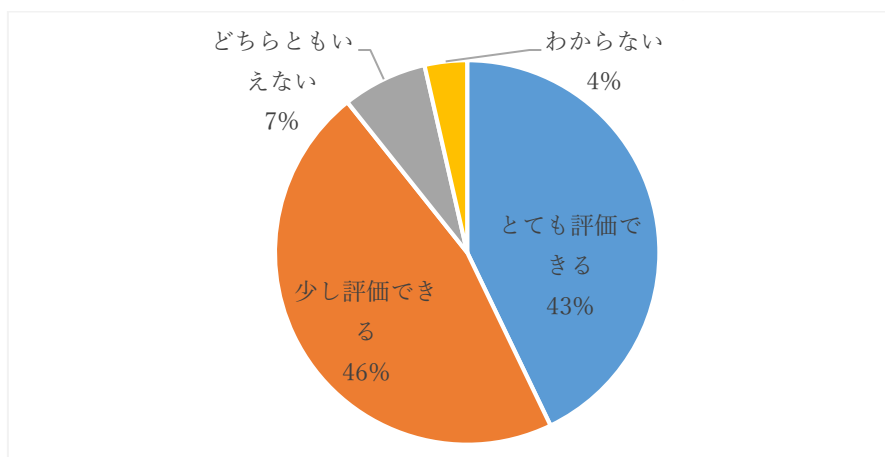
令和3年1月から2月にかけて実施した「企業等を対象とした富山大学大学院修士課程（主に文系大学院）に関するアンケート調査」において、人社芸術系学部・大学院を卒業・修了した者を3名以上採用した企業等143社に資料を送付し、インターネットを通じて28社から回答を得た（資料5）。

①大学院人社芸術総合研究科の改組構想について

大学院人文社会芸術総合研究科の改組構想について28機関中25機関（89%）が「とても評価できる」あるいは「少し評価できる」と回答しており、本研究科の改組構想について一定の評価を受けていることがわかる。

問3.本学大学院の改革構想

(2) 大学院人社芸術総合研究科の改組構想について、どのように評価するか。

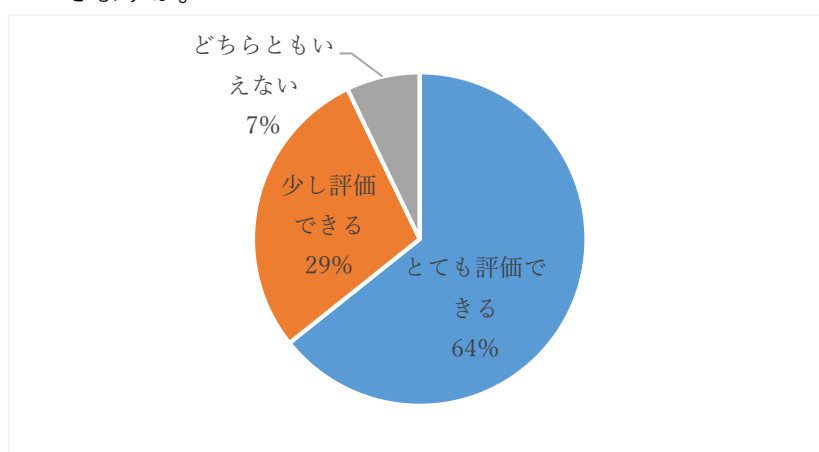


②「地域共創特別演習」の実施について

本大学院では、現実の課題をテーマとし、課題解決を通じて実践的能力を養う「地域共創特別演習」を研究科共通科目として実施するが、これについて28機関中26機関（93%）が「とても評価できる」あるいは「少し評価できる」と回答しており、社会からの要請も高いことがわかる。

問3.本学大学院の改革構想

(1) 人社芸術総合研究科の新たな取組のうち、現実の課題をテーマとし、課題解決を通じて、実践的能力を養う「地域共創特別演習」について、客観的に判断して評価できますか。

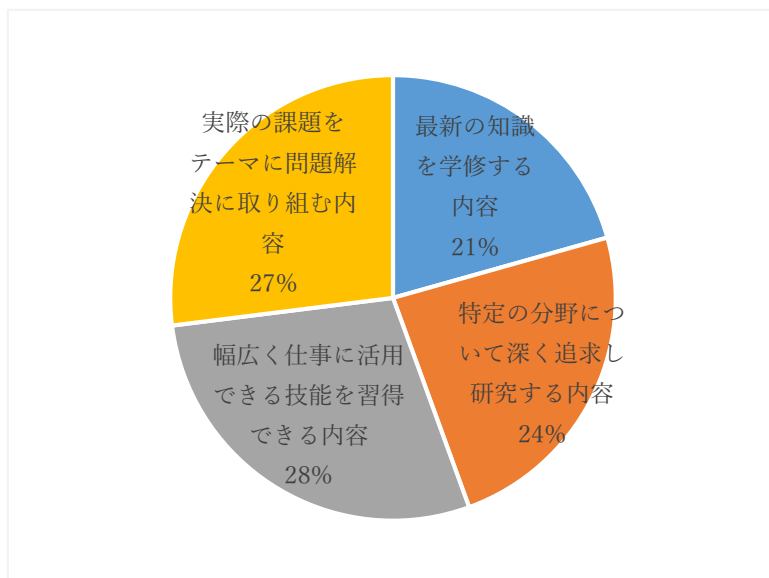


③リカレント教育の実施について

一方、大学院修士課程レベルのリカレント教育として、大学に求める内容としては、①幅広く仕事に活用できる技能の修得が最も多く(13/63)、次いで、②地域や会社の問題解決など、実際の課題をテーマに解決に取り組む内容が多かった(17/63)。ただし、③特定の分野についての最新の知識を学修する内容(13/63)や特定分野について、深く追求し研究する内容(15/63)も一定数の回答がある。他方、人文社会芸術総合研究科のカリキュラムでは、①大学院共通科目および研究科共通科目において、論理的思考力や批判力、プレゼンテーション能力等を幅広く涵養するほか、②「地域共創特別演習」では、実践的な課題解決に取り組むこととしている。また、③プログラム専門科目においては、学生個人が専攻する学問分野を深く追求し、その成果として修士論文の執筆や作品の制作を求めており、以上のような社会的ニーズに相応しいカリキュラムとなっている。

問4. 社会人に対するリカレント教育

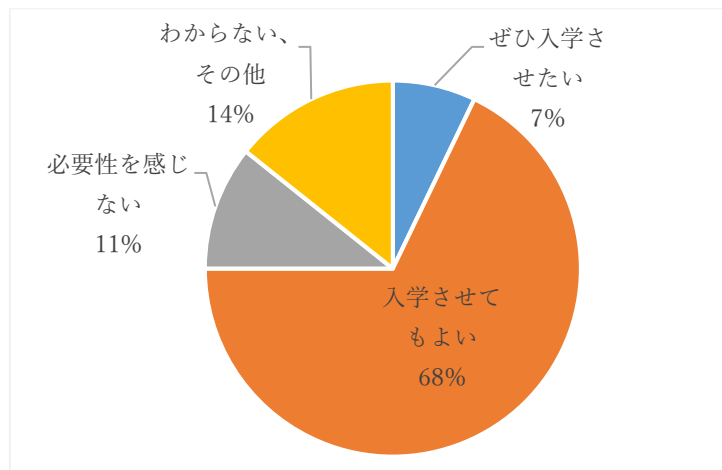
(1)リカレント教育の内容について、大学にどのような内容を求めますか。【複数回答可】



また、リカレント教育の一環として、社員を大学院に入学させたいかとの質問には、28機関中21機関(75%)が「入学させたい」あるいは「入学させてもよい」と回答しており、リカレント教育のニーズが明らかとなった。

問4. 社会人に対するリカレント教育

(2) リカレント教育の一環として、貴社・貴機関の社員等を大学院に入学させたいですか。

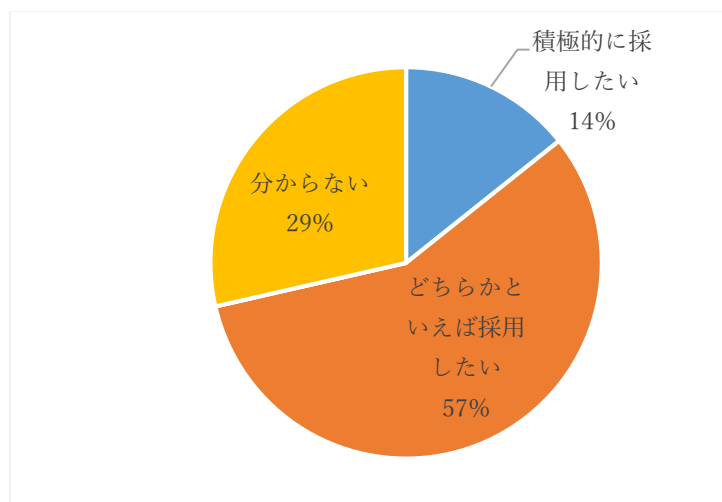


④本研究科の修了生の採用ニーズについて

本研究科の修了者の採用希望を尋ねたところ、「積極的に採用したい」または「どちらかといえば採用したい」と回答した機関は、28社中20社（71%）であった。実社会からの人材需要が一定程度あることが裏付けられた。

問5. 大学院修士課程修了者の採用

(1) 大学院人社芸術総合研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。



3) 関係業界との連携体制

①心理学プログラム

心理学プログラムを修了し、公認心理師受験資格を得て、公認心理師の資格を取得したものが選択する就業先には、国家公務員、地方公務員、教育業界、医療機関などがある。本プログラム実施に際して、富山県教育委員会、富山県医師会、富山県公認心理師協会から公認心理師養成の要望書が届いている（資料6）。学校教育と連携した発達相談や児童相談所、病院など公認心理師が活躍する場は多数存在することから、在学生に対する公認心理師キャリアのロールモデルを示し、修了生の就職などで連携をとっていく。

②人文・芸術プログラム

人文科学系学部の履修をした学生は、修了後、幅広い業界で活躍しており、特に大学院に社会人入学する学生は、行政や教員、企業の構成員として第一線で活躍している人材が多い。修了生が大学院において修得した知識・技能を糧に更なる活躍するとともに、それらを還元することにより、個々の業界とより深い連携が期待できる。

芸術系の履修をした学生が選択する業界には、印刷、デザイン業界、建築業界がある。本プログラム担当教員は、富山県デザイン協会や富山県建築士会、伝統工芸高岡銅器振興組合、伝統工芸高岡漆器協同組合、高岡地域文化財等修理協会ほか多数の業界団体と協力し、場合によっては顧問、委員等を担っているほか、講演等も行ってきた。そのため、業界団体との関係は良好であり、入学者確保、修了生の就職等、連携をとっていく。

③共創経済プログラム

リカレントの社会人大学院生の場合、所属組織（官庁、企業等）で高度専門職業人として活躍しており、地域との信頼関係は強い。留学生の場合、富山の企業を中心に日本企業に就職し、地元企業の国際展開に貢献できる人材として評価されており、地元企業（特に海外展開を行っている企業）からの期待は大きい。また越嶺会（経済学部同窓会）を通じて、富山県と石川県を中心に学部生の就職も含めて地元の産業・経済界と連携している。

hお

資料目次

(学生の確保の見通し等を記載した書類)

| | | |
|-----|------------------------------------------|-----|
| 資料1 | 在学生を対象とした富山大学大学院修士課程に関するアンケート結果 | 15 |
| 資料2 | 心理学プログラム設置に係るニーズ調査結果 | 51 |
| 資料3 | 共創経済プログラム設置に係るニーズ調査結果 | 62 |
| 資料4 | 富山大学における授業料その他の費用に関する規則 | 71 |
| 資料5 | 企業等を対象とした富山大学大学院修士課程（主に文系大学院）に関するアンケート結果 | 78 |
| 資料6 | 要望書 | 101 |

※本アンケートの実施時点から、研究科等の名称を変更している。アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係は以下のとおり。

◆アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係

| | | |
|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 人文社会芸術総合研究科 持続可能社会連係課程群 文理融合型データサイエンス研究科連係課程 グローバルSDGs研究科連係課程 | → 人文社会芸術総合研究科 → 持続可能社会創成学環 → 社会データサイエンスプログラム → グローバルSDGsプログラム | 医薬理工連係課程群 → 医薬理工学環 創薬・製剤工学研究科連係課程 → 創薬・製剤工学プログラム 応用和漢医薬学研究科連係課程 → 応用和漢医薬学プログラム 認知・情動脳科学研究科連係課程 → 認知・情動脳科学プログラム メディカルデザイン研究科連係課程 → メディカルデザインプログラム |
|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

在学生を対象とした富山大学大学院修士課程に関するアンケート結果

1. 調査の概要

(1) 調査の対象

富山大学に在籍する全学生

(2) 調査の方法

上記対象学生等に、ウェブ上で説明資料の提示・説明動画の上映を行った上で、アンケートへの回答を依頼した。

なお、都合によりウェブ閲覧できなかった学生に対しては、必要に応じて紙媒体による説明・アンケート回答を行った。

(3) 回答数

回答数：1,575名（うち学部3年生 1,250名）

(4) 調査期間

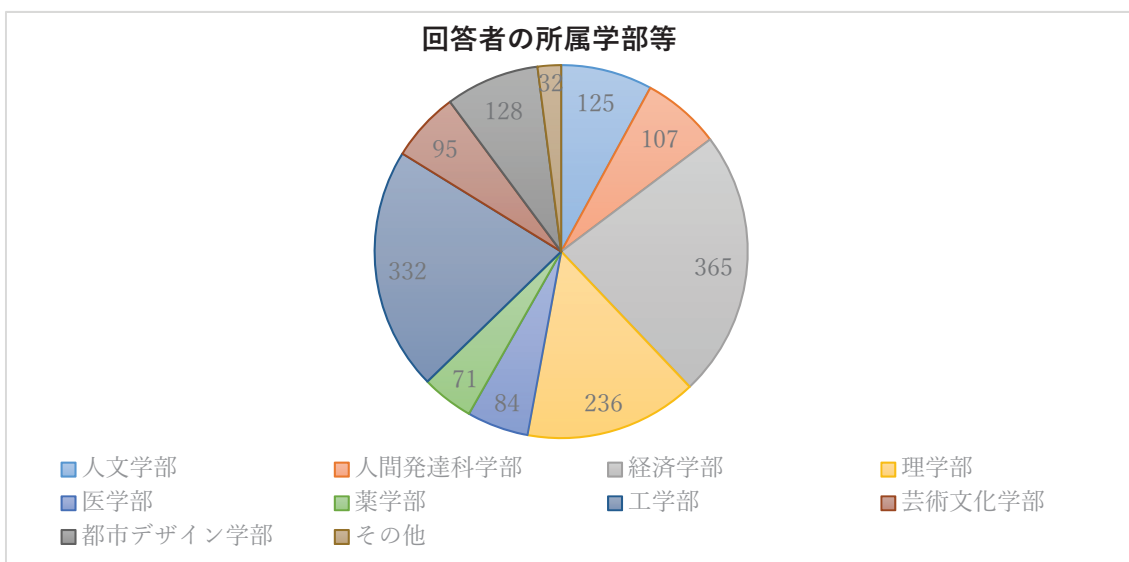
令和3年1月19日～3月1日

2. 調査結果

問1. あなたの所属を選択してください。

| 所属 | 回答数 |
|-------------------|-----|
| 人文学部人文学科 | 125 |
| 人間発達科学部発達教育学科 | 59 |
| 人間発達科学部人間環境システム学科 | 48 |
| 経済学部経済学科 | 119 |
| 経済学部経営学科 | 151 |
| 経済学部経営法学科 | 95 |
| 理学部数学科 | 38 |
| 理学部物理学科 | 46 |
| 理学部化学科 | 49 |
| 理学部生物学科 | 59 |
| 理学部生物圏環境科学科 | 44 |
| 医学部医学科 | 14 |
| 医学部看護学科 | 70 |
| 薬学部薬学科 | 18 |
| 薬学部創薬科学科 | 53 |

| | |
|---------------------|-------|
| 工学部工学科電気電子工学コース | 77 |
| 工学部工学科知能情報工学科 | 75 |
| 工学部工学科機械工学コース | 84 |
| 工学部工学科生命工学コース | 52 |
| 工学部工学科応用化学コース | 44 |
| 芸術文化学部芸術文化学科 | 95 |
| 都市デザイン学部地球システム科学科 | 33 |
| 都市デザイン学部都市・交通デザイン学科 | 39 |
| 都市デザイン学部材料デザイン工学科 | 56 |
| その他 | 32 |
| 合計 | 1,575 |



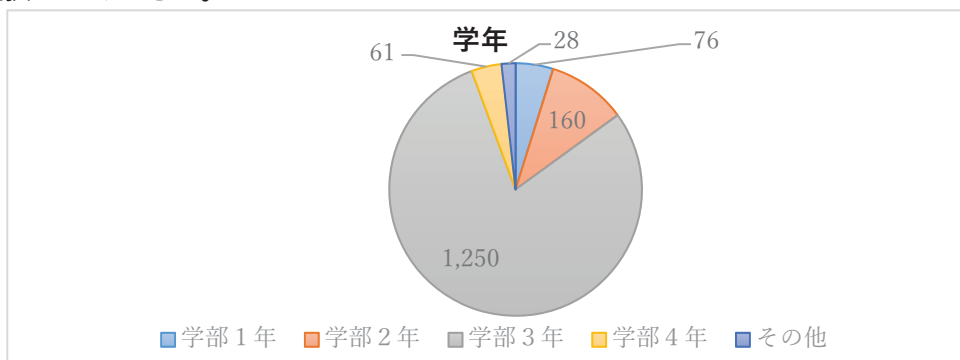
問1. その他の内訳

| 組織名等 | 回答 |
|----------------|----|
| 理学部地球科学科 | 4 |
| 工学部知能情報工学科 | 3 |
| 工学部機械知能システム工学科 | 4 |
| 工学部材料機能工学科 | 3 |
| 人間発達科学研究科 | 1 |
| 医学薬学教育部 | 1 |
| 医薬薬学教育部薬科学専攻 | 1 |
| 理工学教育部 | 2 |

| | |
|--------------------|----|
| 理工学教育部数学専攻 | 1 |
| 理工学教育部生物圏環境科学専攻 | 2 |
| 理工学教育部電気電子システム工学専攻 | 1 |
| 理工学教育部生命工学専攻 | 3 |
| 理工学教育部環境応用化学専攻 | 1 |
| 理工学教育部材料機能工学専攻 | 2 |
| 生命融合科学教育部 | 1 |
| 教職実践開発研究科 | 1 |
| 無回答 | 1 |
| 合計 | 32 |

問2. あなたの学年を選択してください。

| 学年 | 回答数 |
|------|-------|
| 学部1年 | 76 |
| 学部2年 | 160 |
| 学部3年 | 1,250 |
| 学部4年 | 61 |
| その他 | 28 |
| 合計 | 1,575 |

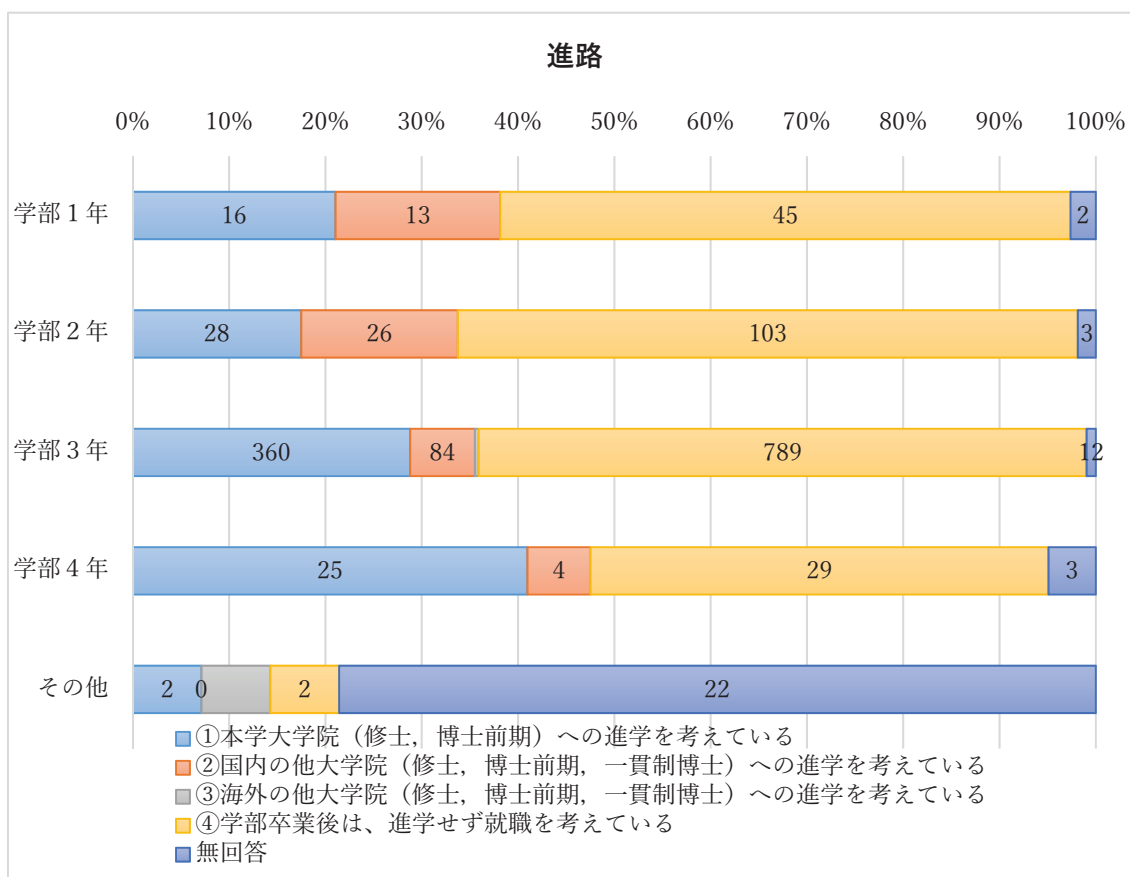


問2. その他の内訳

| その他内訳 | 回答数 |
|---------------|-----|
| 学部5年 | 1 |
| 学部6年 | 1 |
| 修士課程・博士前期課程1年 | 15 |
| 修士課程・博士前期課程2年 | 5 |
| 博士課程3年 | 1 |
| 博士課程4年 | 1 |
| 休学中 | 1 |
| 無回答 | 3 |
| 合計 | 28 |

問3. 学部の学生のみお答えください。あなたは、卒業後（令和4年4月以降）に、大学院への進学を考えていますか。

| 進路 | 学部 1年 | 学部 2年 | 学部 3年 | 学部 4年 | その 他 | 合計 |
|-----------------------------------|----------|----------|----------|----------|---------|-------|
| ①本学大学院（修士，博士前期）への進学を考えている | 16 | 28 | 360 | 25 | 2 | 431 |
| ②国内の他大学院（修士，博士前期，一貫制博士）への進学を考えている | 13 | 26 | 84 | 4 | 0 | 127 |
| ③海外の他大学院（修士，博士前期，一貫制博士）への進学を考えている | 0 | 0 | 5 | 0 | 2 | 7 |
| ④学部卒業後は、進学せず就職を考えている | 45 | 103 | 789 | 29 | 2 | 968 |
| 無回答 | 2 | 3 | 12 | 3 | 22 | 42 |
| 合計 | 76 | 160 | 1,250 | 61 | 28 | 1,575 |



【問4～7は、学部3年のみを集計対象とする】

問4. 問3で「① 本学大学院へ進学」と回答した方についてお答えください。ぜひ進学したいと考えるプログラム・研究科連係課程を1つ選択してください。

| 学内進学希望先 | | 回答数 | |
|--------------------------|-------|-----|----|
| ① 人社芸術総合研究科心理学プログラム | | 4 | |
| ② 人社芸術総合研究科人文・芸術プログラム | | 5 | |
| ③ 人社芸術総合研究科共創経済プログラム | | 1 | |
| ④ 総合医薬学研究科看護科学プログラム | | 2 | |
| ⑤ 総合医薬学研究科先端医科学プログラム | | 1 | |
| ⑥ 総合医薬学研究科基礎薬学プログラム | | 36 | |
| ⑦ 理工学研究科数理情報学プログラム | | 23 | |
| ⑧ 理工学研究科物理学・応用物理学プログラム | | 24 | |
| ⑨ 理工学研究科生命・物質化学プログラム | | 33 | |
| ⑩ 理工学研究科地球生命環境科学プログラム | | 30 | |
| ⑪ 理工学研究科メカトロニクスプログラム | | 67 | |
| ⑫ 理工学研究科マテリアル科学工学プログラム | | 24 | |
| ⑬ 理工学研究科都市・交通デザイン学プログラム | | 15 | |
| ⑭ 理工学研究科先端クリーンエネルギープログラム | | 6 | |
| ⑮ 創薬・製剤工学研究科連係課程 | 医薬系 | 2 | 8 |
| | 理工系 | 6 | |
| | 小計 | 8 | |
| ⑯ 応用和漢医薬学研究科連係課程 | 医薬系 | 1 | 4 |
| | 理工系 | 3 | |
| | 小計 | 4 | |
| ⑰ 認知・情動脳科学研究科連係課程 | 医薬系 | 0 | 9 |
| | 理工系 | 9 | |
| | 小計 | 9 | |
| ⑱ メディカルデザイン研究科連係課程 | 医薬系 | 0 | 7 |
| | 理工系 | 7 | |
| | 小計 | 7 | |
| ⑲ 文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程 | 人社芸術系 | 1 | 5 |
| | 理工系 | 4 | |
| | 小計 | 5 | |
| ⑳ グローバル SDGs 研究科連係課程 | 人社芸術系 | 3 | 12 |
| | 理工系 | 9 | |

| | | | |
|---------------------------|----|----|-----|
| | 小計 | 12 | |
| ⑳どのプログラム・研究科関係課程にするか迷っている | | | 33 |
| 無回答 | | | 11 |
| 合計 | | | 360 |

㉑の組合せ

- ・②人文・芸術プログラムと③共創経済プログラム… 3名
- ・②人文・芸術プログラムと⑱メディカルデザイン研究科関係課程… 1名
- ・⑥基礎薬学プログラムと⑯応用和漢医薬学研究科関係課程… 3名
- ・⑥基礎薬学プログラムと⑰認知・情動脳科学研究科関係課程… 1名
- ・⑨生命・物質化学プログラムと⑮創薬・製剤工学研究科関係課程… 1名
- ・⑦数理情報学プログラム（単独記載）… 1名
- ・⑦数理情報学プログラムと⑱メディカルデザイン研究科関係課程… 2名
- ・⑦数理情報学プログラムと⑧物理学・応用物理学プログラムと⑪メカトロニクスプログラムと⑰認知・情動脳科学研究科関係課程と⑳グローバル SDGs 研究科関係課程… 1名
- ・⑩地球生命環境科学プログラム（単独記載）… 1名
- ・⑪メカトロニクスプログラムと⑱メディカルデザイン研究科関係課程… 2名
- ・⑫マテリアル科学工学プログラム（単独記載）… 1名
- ・⑮創薬・製剤工学研究科関係課程と⑯応用和漢医薬学研究科関係課程… 3名
- ・⑱メディカルデザイン研究科関係課程と⑲文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程… 1名
- ・具体的な組合せの回答なし 12

㉑の組合せを按分してポイント化したもの

| 学内進学希望先 | ポイント |
|-----------------------|------|
| ①人社芸術総合研究科心理学プログラム | 0 |
| ②人社芸術総合研究科人文・芸術プログラム | 2 |
| ③人社芸術総合研究科共創経済プログラム | 1.5 |
| ④総合薬学研究科看護科学プログラム | 0 |
| ⑤総合薬学研究科先端医科学プログラム | 0 |
| ⑥総合薬学研究科基礎薬学プログラム | 2 |
| ⑦理工学研究科数理情報学プログラム | 2.2 |
| ⑧理工学研究科物理学・応用物理学プログラム | 0.2 |
| ⑨理工学研究科生命・物質化学プログラム | 0.5 |
| ⑩理工学研究科地球生命環境科学プログラム | 1 |

| | | | |
|-------------------------|-------|-----|-----|
| ⑪理工学研究科メカトロニクスプログラム | | | 1.2 |
| ⑫理工学研究科マテリアル科学工学プログラム | | | 1 |
| ⑬理工学研究科都市・交通デザイン学プログラム | | | 0 |
| ⑭理工学研究科先端クリーンエネルギープログラム | | | 0 |
| ⑮創薬・製剤工学研究科連係課程 | 医薬系 | 0 | 2 |
| | 理工系 | 2 | |
| | 小計 | 2 | |
| ⑯応用和漢医薬学研究科連係課程 | 医薬系 | 1.5 | 3 |
| | 理工系 | 1.5 | |
| | 小計 | 3 | |
| ⑰認知・情動脳科学研究科連係課程 | 医薬系 | 0.5 | 0.7 |
| | 理工系 | 0.2 | |
| | 小計 | 0.7 | |
| ⑱メディカルデザイン研究科連係課程 | 医薬系 | 0 | 3 |
| | 理工系 | 2.5 | |
| | 人社芸術系 | 0.5 | |
| | 小計 | 3 | |
| ⑲文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程 | 人社芸術系 | 0 | 0.5 |
| | 理工系 | 0.5 | |
| | 小計 | 0.5 | |
| ⑳グローバル SDGs 研究科連係課程 | 人社芸術系 | 0 | 0.2 |
| | 理工系 | 0.2 | |
| | 小計 | 0 | |
| 無効 | | | 12 |
| 合計 | | | 33 |

㉑のポイントを回答数に加算したもの

| 学内進学希望先 | ポイント |
|----------------------|------|
| ①人社芸術総合研究科心理学プログラム | 4 |
| ②人社芸術総合研究科人文・芸術プログラム | 7 |
| ③人社芸術総合研究科共創経済プログラム | 2.5 |
| ④総合医薬学研究科看護科学プログラム | 2 |
| ⑤総合医薬学研究科先端医科学プログラム | 1 |
| ⑥総合医薬学研究科基礎薬学プログラム | 38 |
| ⑦理工学研究科数理情報学プログラム | 25.2 |

| | | | |
|-------------------------|-------|------|------|
| ⑧理工学研究科物理学・応用物理学プログラム | | | 24.2 |
| ⑨理工学研究科生命・物質化学プログラム | | | 33.5 |
| ⑩理工学研究科地球生命環境科学プログラム | | | 31 |
| ⑪理工学研究科メカトロニクスプログラム | | | 68.2 |
| ⑫理工学研究科マテリアル科学工学プログラム | | | 25 |
| ⑬理工学研究科都市・交通デザイン学プログラム | | | 15 |
| ⑭理工学研究科先端クリーンエネルギープログラム | | | 6 |
| ⑮創薬・製剤工学研究科関係課程 | 医薬系 | 2 | 10 |
| | 理工系 | 8 | |
| | 小計 | 10 | |
| ⑯応用和漢医薬学研究科関係課程 | 医薬系 | 2.5 | 7 |
| | 理工系 | 4.5 | |
| | 小計 | 7 | |
| ⑰認知・情動脳科学研究科関係課程 | 医薬系 | 0.5 | 9.7 |
| | 理工系 | 9.2 | |
| | 小計 | 9.7 | |
| ⑱メディカルデザイン研究科関係課程 | 医薬系 | 0 | 10 |
| | 理工系 | 9.5 | |
| | 人社芸術系 | 0.5 | |
| | 小計 | 10 | |
| ⑲文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程 | 人社芸術系 | 1 | 5.5 |
| | 理工系 | 4.5 | |
| | 小計 | 5.5 | |
| ⑳グローバル SDGs 研究科関係課程 | 人社芸術系 | 3 | 12.2 |
| | 理工系 | 9.2 | |
| | 小計 | 12.2 | |
| 合計 | | | 337 |

問5. 問3で「④学部卒業後は、進学せず就職」と回答した方についてお答えください。就職後、働きながらスキルアップ・キャリアアップを目的として入学したいプログラム・研究科関係課程がありましたら回答してください（複数選択可）。

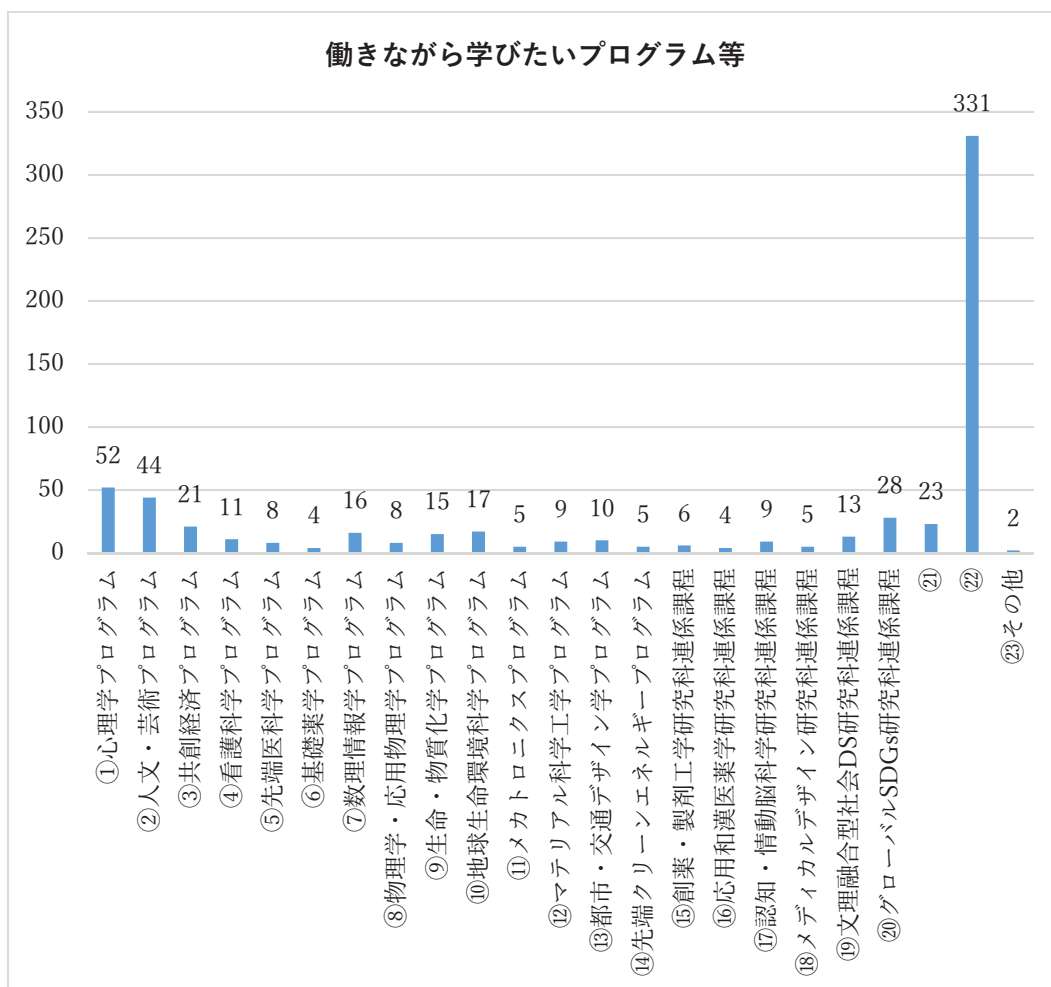
| 回答有無 | 回答数 |
|------|-----|
| 回答あり | 519 |
| 回答なし | 270 |

【回答があった519名の回答の内訳、複数回答可】

| プログラム名等 | 回答数 |
|---------------------------------------------------------|-----|
| ① 人社芸術総合研究科心理学プログラム | 52 |
| ② 人社芸術総合研究科人文・芸術プログラム | 44 |
| ③ 人社芸術総合研究科共創経済プログラム | 21 |
| ④ 総合医薬学研究科看護科学プログラム | 11 |
| ⑤ 総合医薬学研究科先端医科学プログラム | 8 |
| ⑥ 総合医薬学研究科基礎薬学プログラム | 4 |
| ⑦ 理工学研究科数理情報学プログラム | 16 |
| ⑧ 理工学研究科物理学・応用物理学プログラム | 8 |
| ⑨ 理工学研究科生命・物質化学プログラム | 15 |
| ⑩ 理工学研究科地球生命環境科学プログラム | 17 |
| ⑪ 理工学研究科メカトロニクスプログラム | 5 |
| ⑫ 理工学研究科マテリアル科学工学プログラム | 9 |
| ⑬ 理工学研究科都市・交通デザイン学プログラム | 10 |
| ⑭ 理工学研究科先端クリーンエネルギープログラム | 5 |
| ⑮ 創薬・製剤工学研究科連係課程 | 6 |
| ⑯ 応用和漢医薬学研究科連係課程 | 4 |
| ⑰ 認知・情動脳科学研究科連係課程 | 9 |
| ⑱ メディカルデザイン研究科連係課程 | 5 |
| ⑲ 文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程 | 13 |
| ⑳ グローバル SDGs 研究科連係課程 | 28 |
| ㉑ 働きながらスキルアップ・キャリアアップを目的として 大学院で学びたいが、学びたい内容が上記にはない。 | 23 |
| ㉒ 働きながら大学院に行きたいとは思わない | 331 |
| ㉓ その他 | 2 |
| 合計 | 646 |

問5. その他内訳

- ・教職大学院
- ・教育に関すること

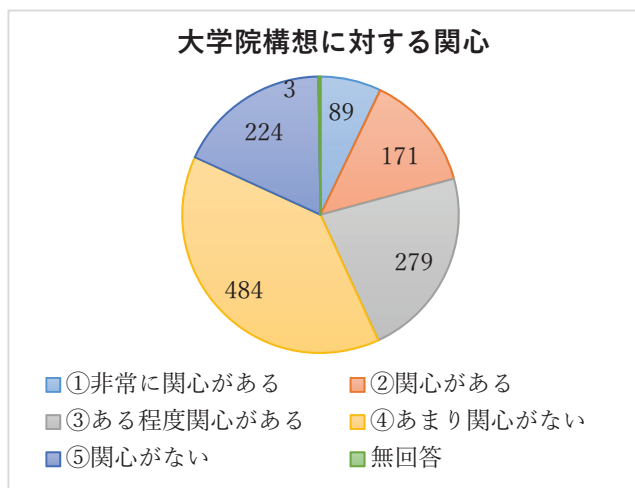


㉑…働きながらスキルアップ・キャリアアップを目的として大学院で学びたいが、学びたい内容が上記にはない

㉒…働きながら大学院に行きたいとは思わない

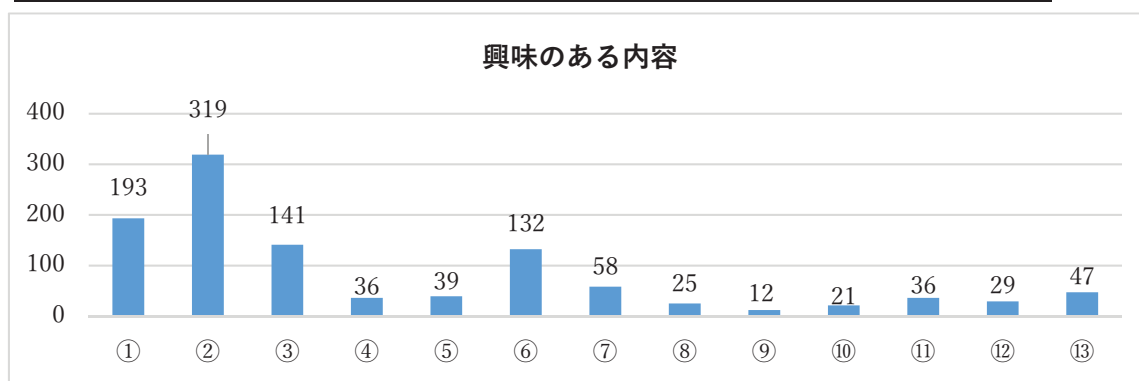
問6. 富山大学の新しい大学院構想について伺います。令和4年4月からの新しい大学院構想について、説明を聞いて（読んで）あてはまるものを選択してください。

| 大学院構想関心 | 回答数 |
|------------|-------|
| ①非常に関心がある | 89 |
| ②関心がある | 171 |
| ③ある程度関心がある | 279 |
| ④あまり関心がない | 484 |
| ⑤関心がない | 224 |
| 無回答 | 3 |
| 合計 | 1,250 |



問7. 問6で「①非常に興味がある、②興味がある、③ある程度興味がある」のいずれかを選択した方のみお答えください。本学の大学院構想の中で、あなたが興味を持った項目にチェックしてください（複数回答可）。

| 興味を持った内容 | 回答数 |
|------------------------------------------------------------------------|-------|
| ①大学院共通科目が設定され、高度なスキル・リテラシーが学べること | 193 |
| ②現在の学部の枠組みを超えた、分野の連携と融合が進んでいること | 319 |
| ③分野の異なる副指導教員から、研究指導を受けることができること | 141 |
| ④公認心理師養成課程が整備されること | 36 |
| ⑤人社芸術系の大学院が実践的能力を育成することを目的とする大学院へと変わること | 39 |
| ⑥理工系の大学院が理学と工学を融合させ、各々の分野の特徴を相補的・相乗的に引き出せる人材を育成する大学院へと変わること | 132 |
| ⑦医薬系の大学院が医療に関する実践的な多職種連携・協働とイノベーションにつながる包括的な医療的素養を学ぶ大学院へと変わること | 58 |
| ⑧富山県の地域産業である薬業について、創薬から製剤開発までを幅広くカバーできる即戦力人材を育成する研究科連係課程ができること | 25 |
| ⑨富山県の地域産業である薬業について、和漢医薬学を活用した東西医薬学融合による次世代医療創生ができる人材を育成する研究科連係課程ができること | 12 |
| ⑩富山大学の強みの1つである最先端の脳科学研究人材を育成する研究科連係課程ができること | 21 |
| ⑪医学と工学を同時に学びヘルスケア機器・サービスを創造できる人材を育成する研究科連係課程ができること | 36 |
| ⑫データサイエンスを活用して社会的課題を分析・解決できる人材を育成する研究科連係課程ができること | 29 |
| ⑬持続可能社会の構築に必要な課題解決型学際専門分野“サステナビリティ学”を英語で学び、SDGsの達成に貢献できる研究科連係課程ができること | 47 |
| 合計 | 1,088 |



問 8. その他意見等があれば記載してください。

【本設問については全学生のものであり、原文のまま掲載】

- ・大学も生き残るために様々なことをしなければならず大変だと思う。
- ・わかんかった
- ・早めに入学要項を提示していただきたい。
- ・大学院共通の内容項目があることは分野が広がるため興味深かった。大学生の大学院進学率が理系学部の学生の方が高いため、理解はできるが理系学部の選択肢は非常に多い中、文系学部の選択肢はそれほど広がっていないように感じた。"
- ・学部生は学部の研究室と大学院構想における各コースの繋がりによっては研究室の選び方も変わってくるので、お教えいただけると幸いです。
- ・経済学部卒業者でも数理情報プログラムに進学できるか興味があります。私は、データサイエンスを通してデータサイエンスのスキルは応用対象が経済のみならず、制御工学やコンピューターなど様々な学問に応用できると思いますしそうしたいです。なので経済学部でも数学や情報の教育を強化したほうが良いと思います。そして数理情報には経済・数学・情報工学たその他で様々な学部から募集できるようにしたほうが良いと思います。現在では、東京大学や筑波大学などではそういった経済学部出身・もしくは他学部からでも情報理工系の院進学を実現している人がいます。参考にさせていただけるとありがたいです。
- ・税理士の科目免除が可能な大学院(夜間)を設けることで、北陸の優秀な社会人が集まり、互いに切磋琢磨する相乗効果が期待される。
- ・創薬科学科に入ったのは、薬学部だからこそできる研究をするためであったのに、他学部と編成されることに納得できない。
- ・心理学プログラムに臨床心理士の養成課程は設置されないのか。
- ・ぜひ大学院に行きたいです！
- ・まず富山大学の大学院には関心がない。その上でこのようなアンケートを強制的に回答させられることについても正直理解ができない。しっかりと説明をしてからアンケートは取るべきであると思う。
- ・大学院構想によって、富山大学の将来はどうなりますか。
- ・試験期間中に行って回答が集まるわけがない。興味あるが回答に時間を割けない。是非試験期間前か試験期間後に行うべきだった。
- ・名称がもっと短いとわかりやすいと思います。(書類や宣伝)内容は、詳細を記したパンフレットやHPで知らせたり、コース名でアピールするだけでも充分だと思います。
- ・早く大学院入試の要項を公開してほしい(特にGPA入試の基準GPA)
- ・学部の卒業研究での学部間の連携は考えられていますか。例えば、理学部生物学科では研究内容が医学部の基礎研究と似通った部分があり、卒業研究であっても他学部の研究室に配属できるようになれば研究の幅が広がると考えます。また、五福キャンパスと杉谷キャン

ンパスでは閲覧できる論文や資料に差があることから、五福キャンパスの生命系の学科と杉谷キャンパスの学部との連携が深まり自由な研究ができることを期待します。

- ・現在、富山大学(人間発達科学部)は公認心理師養成に対応していないのに、人間発達科学部を卒業した学生が本学の大学院で公認心理師を目指すことができるようになると捉えられるような表記の仕方は適切ではないと思った。
- ・問7にある項目は組織再編がなければできないものなのか、とは思いますが。
- ・人社芸術総合研究科人文・芸術プログラムだけ、説明資料が他に比べて詳細が記載されておらず、進学の後援者として、どんな授業が行われるかも記載してほしい。
- ・幅広い分野について学び、身につけることができるのは良いことだと思いますが、以前より専門性が浅くならないか少し気がかりです。
- ・学生は期末試験を目前に控えているのだからこんな時にアンケートをしてほしくないと思いました。
- ・SDGsの研究に理工学部と経済学部との合同での取り組みには他学部ですが興味を持ちました。
- ・ただでさえ、総合大学となり肩身狭い思いをして芸術文化について学んでいるのに、更に狭い枠の中で学ぶ環境はとて息がし辛くともではないが入りたいとは思わない。芸術文化が社会貢献できるように他分野とも絡めて学ぶシステムにしたいのだろうが、学部自体も一般教養の多さに圧倒され専門分野に手がつかず一年無駄にした気持ちで、残りの3年間では技術が理想に追いつかない。一年からもっと専門的なことができるかつてのシステムの方が断然よかった。なぜカリキュラムを変えたのか未だにわからない。この状態のまま、新体制の大学院に進んだとしても技術の向上が思い通りに行く気がしない。
- ・分野の融合を意識するのは良いが、学部の教養一元化のように内容の薄い改革にならないか懸念がある。また改革自体は良い取り組みだと思うが、同時に大学院に進学しやすい環境を整える事も重要であるとあると感じる。特に奨学金を借りてる立場からすると、大学院進学はいくら能力があろうと経済的・時間的なリスクが大きいので、大学側としても出来ることは限られるだろうが、可能な限り補助が無いと進学の実績は選べないままであると感じる。最後に繰り返すことになるが、改革自体には期待しているので、是非富山大学の強みを押し出して欲しい。
- ・新大学院構想につきまして、大変興味を持ちました。本事業から少し逸れた意見となり大変恐縮なのですが、次回の大学院入試に関しまして、TOEICが必要になりますでしょうか。現在、TOEICの会場内の人数制限のため、受けたくても受けられない状況が続いております。そのため、TOEICが入試必須条件になりますと、大学院に行こうに行けない状況になってしまいますので、大学院を目指している身として、TOEIC免除か、もしくは他の資格(英検等)の代替可能といった措置を取って頂けると幸いです。
- ・現3年生が富山大学に入学する際にも、工学部の学科名称変更があったのと同様の違い程度なのだろう、と思いました。そもそも大学に3年間在籍していても、大学院で具体的

に何をしているのか、何を研究しているのかは未だに理解していません。

- ・現状まだよく分からない。(新大学院制度に関して)
- ・TOEIC のテストが抽選なので、申し込んでも未だに当選していません。推薦以外で大学院に行くためには TOEIC の点数が今年の 4 月までに必要だと聞きました。3 月 21 日にあるテストの結果発送予定が 4 月 20 日で、恐らく最後のチャンスだと思います。これも落選したら推薦以外で大学院に行けないのでしょうか。
- ・都市デザイン学部の 1 期生が卒業するタイミングに合わせた改組で、非常に良い転機であるにもかかわらず、やはり地球システム科学科と材料デザイン工学科は旧過程とおよそ変化のない進路選択となりそうで残念でした。学部としても、3 学科がうまく連携しているとは言えない現状で、学部共通科目と称して、他学科の専門科目を必修で学ばなければならないにも関わらず、結局大学院でも都市を考えるような想定がなされないのは、やはり都市交通デザイン学科のための学部新設であったと思われるのも仕方ない。「いつかどこかで役に立つ」「本当に興味があれば選ぶこと自体は可能」ではなく、目指す方向性を学部で統一してほしい。学部学生の進学に対する見通しの悪さを認識してもらいたい。
- ・入試制度はできる限り早く連絡して欲しい。
- ・データサイエンスを推し進めるにあたりスパコンなどを導入することで学外へのアピールにつながりより良いものにできるのではないかと思う。
- ・個人的に、英語で学ぶというスタイルや富山大学の強みを活かすこと、文理融合型の学びが魅力的だと思った。先進的な学習ができれば良いと思う。
- ・都市デザイン学部で行った学部共通科目の必修にデータサイエンスや PBL 系の科目があるにもかかわらず、文理融合系研究科の想定進学ルートに都市デザイン学部 3 学科すべてが入っていないのはなぜなのか。選抜方法等の早期の情報開示に期待しています。
- ・決まっているようなものにアンケートを書かせる意図がわからない。
- ・せっかく和漢薬を大学で推しているのにも関わらず蓋を開けてみれば学ぶ機会も少ないし和漢薬に関する研究室の枠も少ないのはいかがなものかと思いました。和漢薬に力を入れていると聞いて本学を選んだのに正直がっかりしました。大学院についてこのように真剣に考えることができるのならもう少し和漢薬に関する枠を増やす努力もしてほしいです。
- ・さまざま大学院の構想がありますが、何をするのかパッとわからないので、アンケートに回答しにくいも思いました。
- ・和漢医学を本格的に学べるのは国内で富山大学だけなので、医学に対する一つのアプローチ方法として理解を深めたいと強く感じました。
- ・学部時の教養科目を学ぶ期間が長かったため、専門科目について学び始める期間が始まるのが遅く感じた。大学院共通科目の内容、実施方法によっては、専門的な知識を他分野と統合し、より有益な結果を得るといった目的を達成するばかりか、前提となる専門的な知識を得る場すら損なわれる可能性があると思われる。特に私自身が現在学芸員科目で高岡か

ら五福に移動する時間等不都合が生じている。人文、社会学系の学問との共通点も多く、統合については悪くないと思うが、立地上時間的な制約が増え、結果的に高岡キャンパスで活動する学生に負担が集中している現状を鑑みて大学院共通科目を実施してほしい。オンライン化が浸透した現状であれば、土地、時間的制約は乗り越えられるものであり、対面授業を強行する等不合理なことはしないでいただきたいと思う。

- ・入学時にも五福での教養や今回の件など、私たちの代は実験台なのかなと感じました。こういう大事なことは1年以上前に伝えてください。私は”第1期”というのが嫌なので、このカリキュラムが進行するなら本学での修士への進学は考えさせていただきます。
- ・急に大学院構想の話を出されても困る。もっと早めに話して欲しかった
- ・大学院の制度が変更になることを知ったのが、去年(2020)の秋で、いきなり、自分たちの代から大学院が変わると分かったので正直とまどいがあった。もう少し改変があることを事前に知りたいと思ったので、少なくとも2年前期ぐらいには知らせてほしかった。また、大学院の説明動画も難しく、理解できないところも多かったのもっとわかりやすく単純な形にしてほしい。
- ・youtube配信だと見る気が失せるので、やっぱり説明会は対面ですべきだと思いました。よく理解できました。
- ・選んだ研究科によって何が大きく変わるのかよく分からなかった。(授業が変わるのか、研究室での活動に変化はあるのか・・・)「基礎薬学プログラム」という名前は他の研究科に比べて第一印象があまりよくないのかなとおもいました。何も知らない企業の人から見たら他の研究科の方がすごそうに思います。
- ・創薬科学科の定員数が減少することですが、その際長らく残っている悪しき慣習である研究所の最低枠廃止をしないと学生の自主性を更に損なわれて大学院の構造も変化してしまいます。カリキュラム改革をするのであれば、最低枠を含めた弊大に残っている自主性を阻むような制度も見直すべきだと考えております。

在学生対象 調査票

問1. あなたの所属を選択してください。

- 人文学部人文学科
- 人間発達科学部発達教育学科
- 人間発達科学部人間環境システム学科
- 経済学部経済学科
- 経済学部経営学科
- 経済学部経営法学科
- 理学部数学科
- 理学部物理学科
- 理学部化学科
- 理学部生物学科
- 理学部生物圏環境科学科
- 医学部医学科
- 医学部看護学科
- 薬学部薬学科
- 薬学部創薬科学科
- 工学部工学科電気電子工学コース
- 工学部工学科知能情報工学コース
- 工学部工学科機械工学コース
- 工学部工学科生命工学コース
- 工学部工学科応用化学コース
- 芸術文化学部芸術文化学科
- 都市デザイン学部地球システム科学科
- 都市デザイン学部都市・交通デザイン学科
- 都市デザイン学部材料デザイン工学科
- 上記以外の所属 ()

問2. あなたの学年を選択してください。

- 学部1年
- ...
- 学部4年
- その他 ()

問3. 学部の学生のみお答えください。あなたは、卒業後（令和4年4月以降）に、大学院への進学を考えていますか。

- ①本学大学院（修士，博士前期）への進学を考えている
- ②国内の他大学院（修士，博士前期，一貫制博士）への進学を考えている
- ③海外の他大学院（修士，博士前期，一貫制博士）への進学を考えている
- ④学部卒業後は、進学せず就職を考えている

問4. 問3で「① 本学大学院へ進学」と回答した方についてお答えください。ぜひ進学したいと考えるプログラム・研究科関係課程を1つ選択してください。

人社芸術総合研究科

- ①心理学プログラム
- ②人文・芸術プログラム
- ③共創経済プログラム

総合医薬学研究科

- ④看護科学プログラム
- ⑤先端医科学プログラム
- ⑥基礎薬学プログラム

※6年制学科に対応した博士課程は、令和6年4月設置に向けて構想中です。

理工学研究科

- ⑦数理情報学プログラム
- ⑧物理学・応用物理学プログラム
- ⑨生命・物質化学プログラム
- ⑩地球生命環境科学プログラム
- ⑪メカトロニクスプログラム
- ⑫マテリアル科学工学プログラム
- ⑬都市・交通デザイン学プログラム
- ⑭先端クリーンエネルギープログラム

医薬理工関係課程群

- ⑮創薬・製剤理工学研究科関係課程
- ⑯応用和漢医薬学研究科関係課程
- ⑰認知・情動脳科学研究科関係課程
- ⑱メディカルデザイン研究科関係課程

持続可能社会関係課程群

- ⑲文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程
- ⑳グローバルSDGs研究科関係課程
- ㉑どのプログラム・研究科関係課程にするか迷っている
迷っている組み合わせ

()

富山大学大学院 改革・再編の構想

富山大学 理事（改革担当）・副学長
井上 将彦

令和3年1月

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。



富山大学大学院 改革・再編の社会的背景

- ICT技術の高度な発展により、社会構造が変化し、超スマート社会（Society 5.0）が到来し、産業における価値の源泉が、“物”から“知識・情報”へとシフト
- 経済問題、気候変動、感染症といった課題が世界全体に連鎖する中、「持続可能な開発（Sustainable Development）」を達成するための目標（SDGs）が国際的に合意
- 日本全体での出生数低下、高齢化の進行による大幅な活力低下

広範かつ複雑な課題への対応や新たな社会的ニーズに応え得る人材を養成するためには、これまでの大学院組織（下記参照）・大学院教育では不十分

大学院人文科学研究科

大学院人間発達科学研究科

大学院経済学研究科

大学院芸術文化科学研究科

大学院生命融合科学教育部

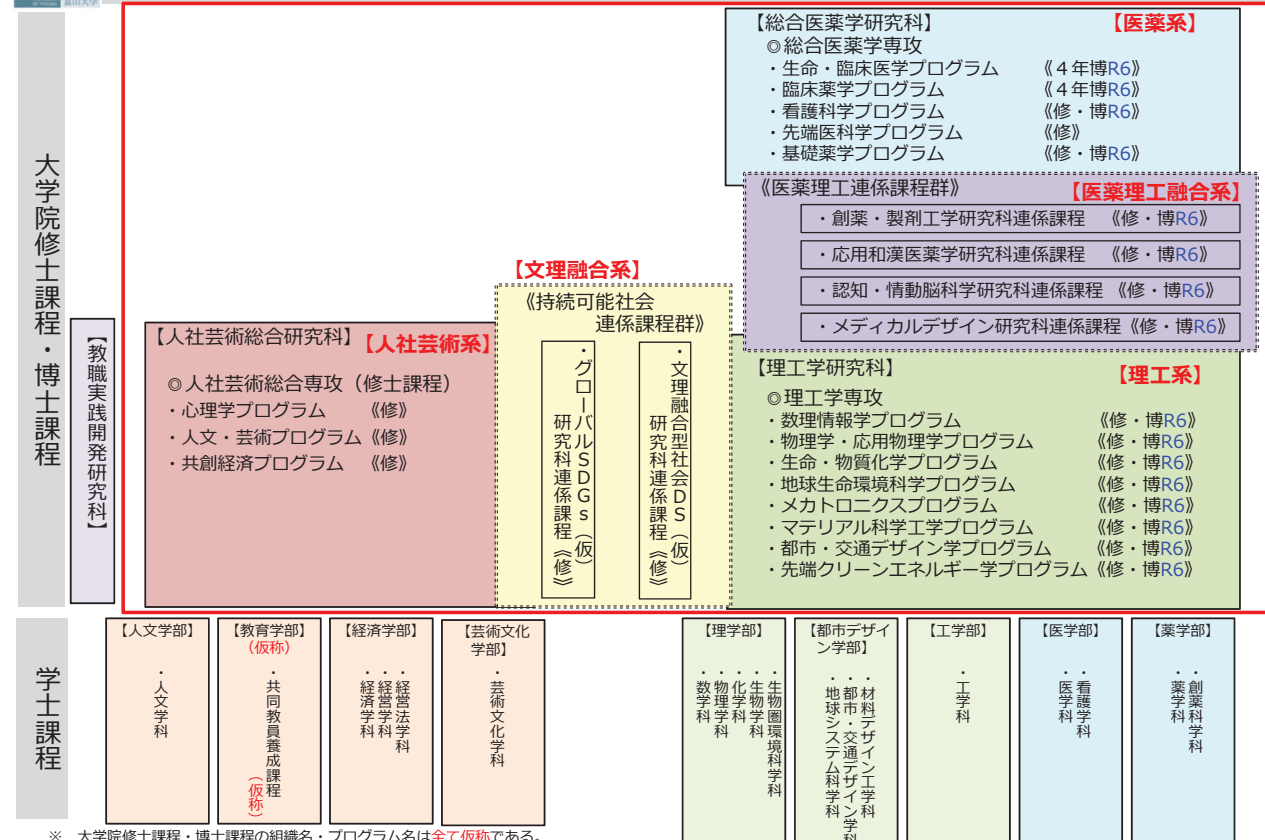
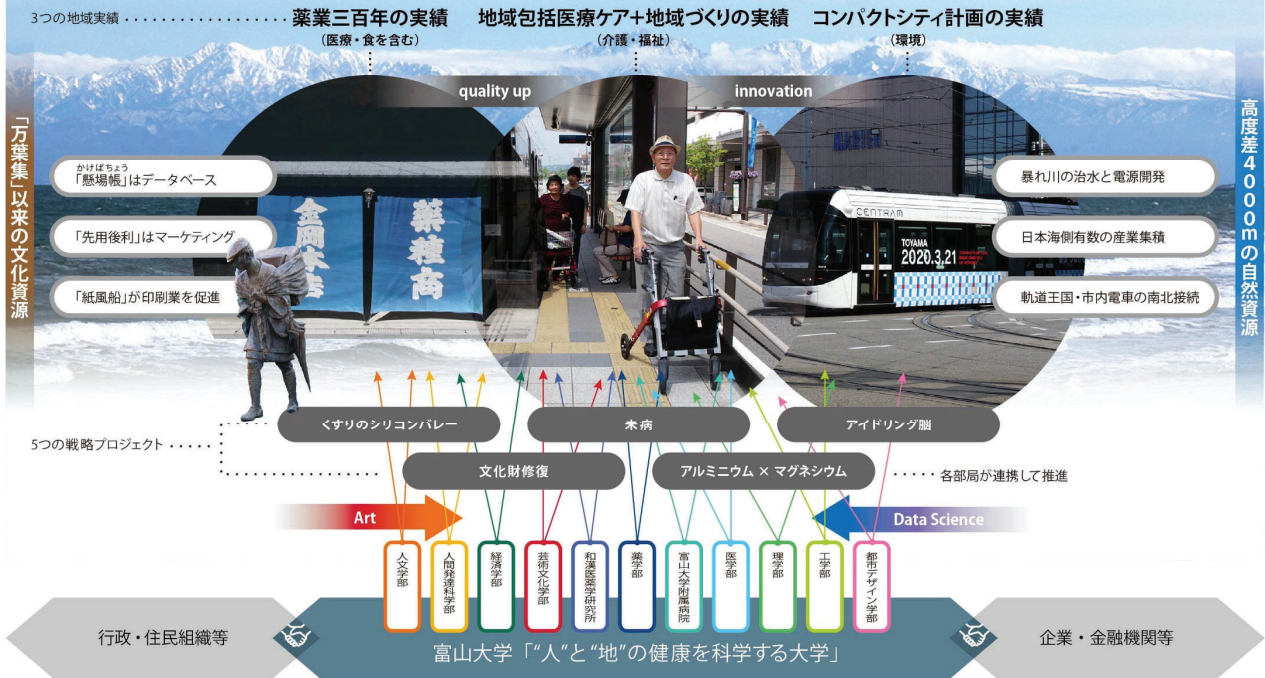
大学院医学薬学教育部

大学院理工学教育部

富山大学ならではの強みを生かしつつ新たな大学院教育が必要

〔大目標〕 **“人生百年時代のクリーンな社会モデルを構築”**

〔具体的戦略〕 **“地域医療包括ケアと環境都市との相乗”**



○高度な教養又は基盤的能力を身に付けるための大学院共通科目を提供。

【授業科目】

研究倫理 **必修**

科学技術と社会 **必修** (グローバルSDGs研究科関係課程を除く)

地域共生社会特論

研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用

アート・デザイン思考

英語論文作成Ⅰ

英語論文作成Ⅱ

データサイエンス特論

キャリア教育

知的財産法

※名称は、全て仮称

○生命融合科学教育部及び理工学教育部の博士課程で行われてきた出身分野と異なる副指導教員を含む共同指導体制についても、取組を発展させる形で全学的に導入。

客観的かつ異なる専門性の視点に基づく指導・助言体制を確立することで、新たな気づきの機会を得ることができる。

○**人社会術総合研究科**

人文科学，社会科学，芸術を融合させた学びを提供しつつ，現実の課題をテーマとし，課題解決を通じて，実践的能力を養う教育システムを構築。心理学プログラムは，公認心理師養成に対応。

○**総合医薬学研究科**

大学附属病院を教育の場として今まで以上に活用し医学・薬学の連携を強化した教育システムを構築。

○**理工学研究科**

理工系の大学院が理学と工学を融合させ，各々の分野の特徴を相補的・相乗的に引き出せる人材を育成する教育システムを構築。

○**創薬・製剤工学研究科関係課程**

富山県の地域産業である薬業について，創薬から製剤開発までを幅広くカバーできる即戦力人材を育成。

○**応用和漢医薬学研究科関係課程**

富山県の地域産業である薬業について，和漢医薬学を活用した東西医薬学融合による次世代医療創生ができる人材を育成。

○**認知・情動脳科学研究科関係課程**

富山大学の強みの1つである最先端の脳科学研究人材を育成。

○**メディカルデザイン研究科関係課程**

医学と工学を同時に学びヘルスケア機器・サービスを創造できる人材を育成。

○**文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程**

データサイエンスを活用して社会的課題を分析・解決できる人材を育成。

○**グローバルSDGs研究科関係課程**

持続可能社会の構築に必要な課題解決型学際専門分野“サステナビリティ学”を英語で学び，SDGsの達成に貢献できる人材を育成。



想定進学ルート

| 想定される進学先となるプログラム・研究科関係課程 | 想定される進学元 |
|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 人社芸術総合研究科 心理学プログラム | 人文学部、教育学部（仮称） |
| 人文・芸術プログラム | 人文学部、芸術文化学部、教育学部（仮称） |
| 共創経済プログラム | 経済学部、芸術文化学部 |
| 総合医薬学研究科 生命・臨床医学プログラム（R6設置予定） | 医学部医学科、現役社会人・留学生・他大学 |
| 臨床薬学プログラム（R6設置予定） | 薬学部薬学科 |
| 看護科学プログラム | 医学部看護学科、現役社会人・留学生・他大学 |
| 先端医科学プログラム | 現役社会人・留学生・他大学 |
| 基礎薬学プログラム | 薬学部創薬科学科、理学部化学科、工学部生命工学コース・応用化学コース |
| 理工学研究科 数理情報学プログラム | 理学部数学科、工学部知能情報工学コース |
| 物理学・応用物理学プログラム | 理学部物理学科、工学部電気電子工学コース・知能情報工学コース・機械工学コース |
| 生命・物質化学プログラム | 理学部化学科、工学部生命工学コース・応用化学コース |
| 地球生命環境科学プログラム | 理学部生物学科・生物圏環境科学科、都市デザイン学部地球システム科学科 |
| メカトロニクスプログラム | 工学部電気電子工学コース・知能情報工学コース・機械工学コース |
| マテリアル科学工学プログラム | 都市デザイン学部材料デザイン工学科、工学部機械工学コース |
| 都市・交通デザイン学プログラム | 都市デザイン学部都市・交通デザイン学科 |
| 先端クリーンエネルギー学プログラム | 理学部化学科、工学部応用化学コース、都市デザイン学部材料デザイン工学科 |
| 医薬理工連携課程群 創薬・製剤工学研究科関係課程 | 薬学部創薬科学科、理学部化学科、工学部生命工学コース・応用化学コース |
| 応用和漢医薬学研究科関係課程 | 薬学部創薬科学科、理学部化学科・生物学科、工学部生命工学コース・応用化学コース |
| メディカルデザイン研究科関係課程 | 工学部電気電子工学コース・知能情報工学コース・機械工学コース |
| 認知・情動脳科学研究科関係課程 | 理系全般、現役社会人・留学生・他大学 |
| 持続可能社会関係課程群 文理融合型社会データサイエンス 研究科関係課程 | 理学部数学科、工学部知能情報工学コース、都市デザイン学部都市・交通デザイン学科、 経済学部、現役社会人・留学生・他大学 |
| グローバルSDGs 研究科関係課程 | 理学部生物圏環境科学科、現役社会人・留学生・他大学 |



想定進学ルート

| 想定される進学元 | 想定される進学先となるプログラム・研究科関係課程 |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 人文学部 | 人文・芸術プログラム、心理学プログラム |
| 経済学部 | 文理融合型社会データサイエンス 研究科関係課程、共創経済プログラム |
| 理学部数学科 | 数理情報学プログラム、文理融合型社会データサイエンス 研究科関係課程 |
| 理学部物理学科 | 物理学・応用物理学プログラム |
| 理学部化学科 | 生命・物質化学プログラム、先端クリーンエネルギー学プログラム、 創薬・製剤工学研究科関係課程、応用和漢医薬学研究科関係課程、基礎薬学プログラム |
| 理学部生物学科 | 地球生命環境科学プログラム、和漢医薬学研究科関係課程 |
| 理学部生物圏環境科学科 | 地球生命環境科学プログラム、グローバルSDGs 研究科関係課程 |
| 医学部医学科 | 生命・臨床医学プログラム（R6設置予定） |
| 医学部看護学科 | 看護科学プログラム |
| 薬学部薬学科 | 臨床薬学プログラム（R6設置予定） |
| 薬学部創薬科学科 | 基礎薬学プログラム、創薬・製剤工学研究科関係課程、応用和漢医薬学研究科関係課程、 認知・情動脳科学研究科関係課程 |
| 工学部工学科電気電子工学コース | 物理学・応用物理学プログラム、メカトロニクスプログラム、 メディカルデザイン研究科関係課程 |
| 工学部工学科知能情報工学コース | 数理情報学プログラム、物理学・応用物理学プログラム、メカトロニクスプログラム、 メディカルデザイン研究科関係課程、文理融合型社会データサイエンス 研究科関係課程 |
| 工学部工学科機械工学コース | 物理学・応用物理学プログラム、メカトロニクスプログラム、マテリアル科学工学プロ グラム、メディカルデザイン研究科関係課程 |
| 工学部工学科生命工学コース | 生命・物質化学プログラム、創薬・製剤工学研究科関係課程、和漢医薬学研究科関係課程 基礎薬学プログラム |
| 工学部工学科応用化学コース | 生命・物質化学プログラム、先端クリーンエネルギー学プログラム、 創薬・製剤工学研究科関係課程、応用和漢医薬学研究科関係課程、基礎薬学プログラム |
| 芸術文化学部 | 人文・芸術プログラム、共創経済プログラム |
| 都市デザイン学部地球システム科学科 | 地球生命環境科学プログラム |
| 都市デザイン学部都市・交通デザイン学科 | 都市・交通デザイン学プログラム、文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程、 |
| 都市デザイン学部材料デザイン工学科 | マテリアル科学工学プログラム、先端クリーンエネルギー学プログラム |
| 教育学部（仮称） | 教職実践開発研究科、心理学プログラム、人文・芸術プログラム |

アンケートにご協力を!!

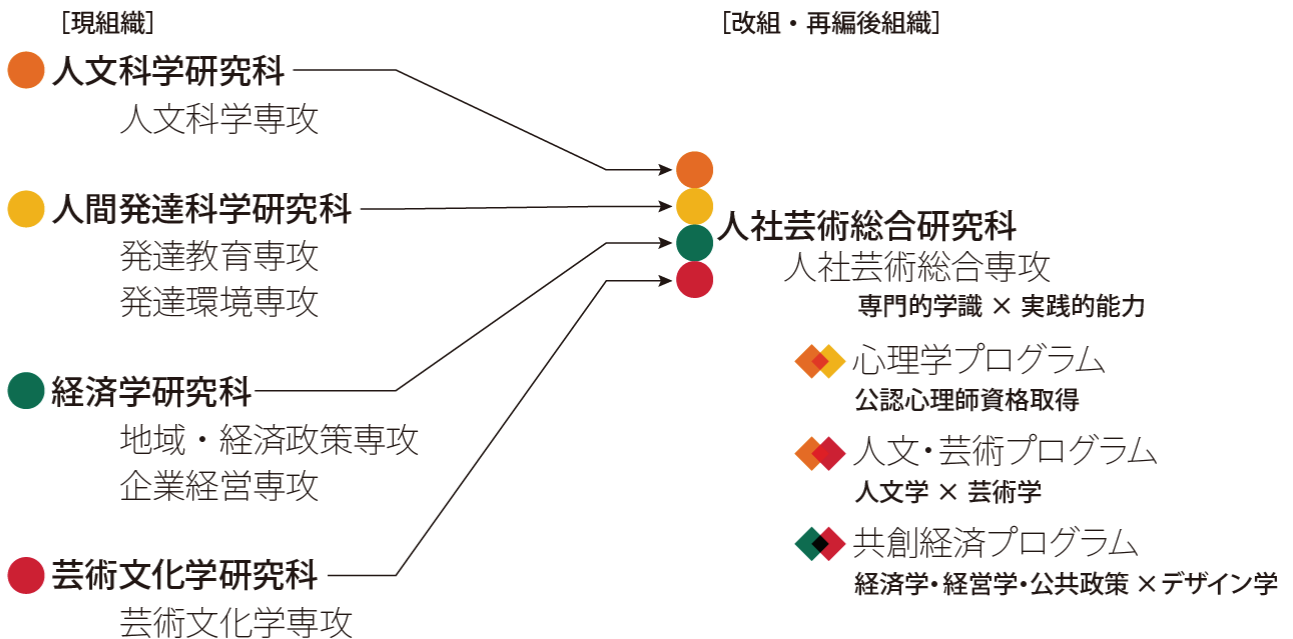
文系学生も大学院への進学を考えよう!
富山大学大学院 [修士課程] が生まれ変わります。

令和4年4月改組予定
人社芸術総合研究科 (仮称)
 人社芸術総合専攻

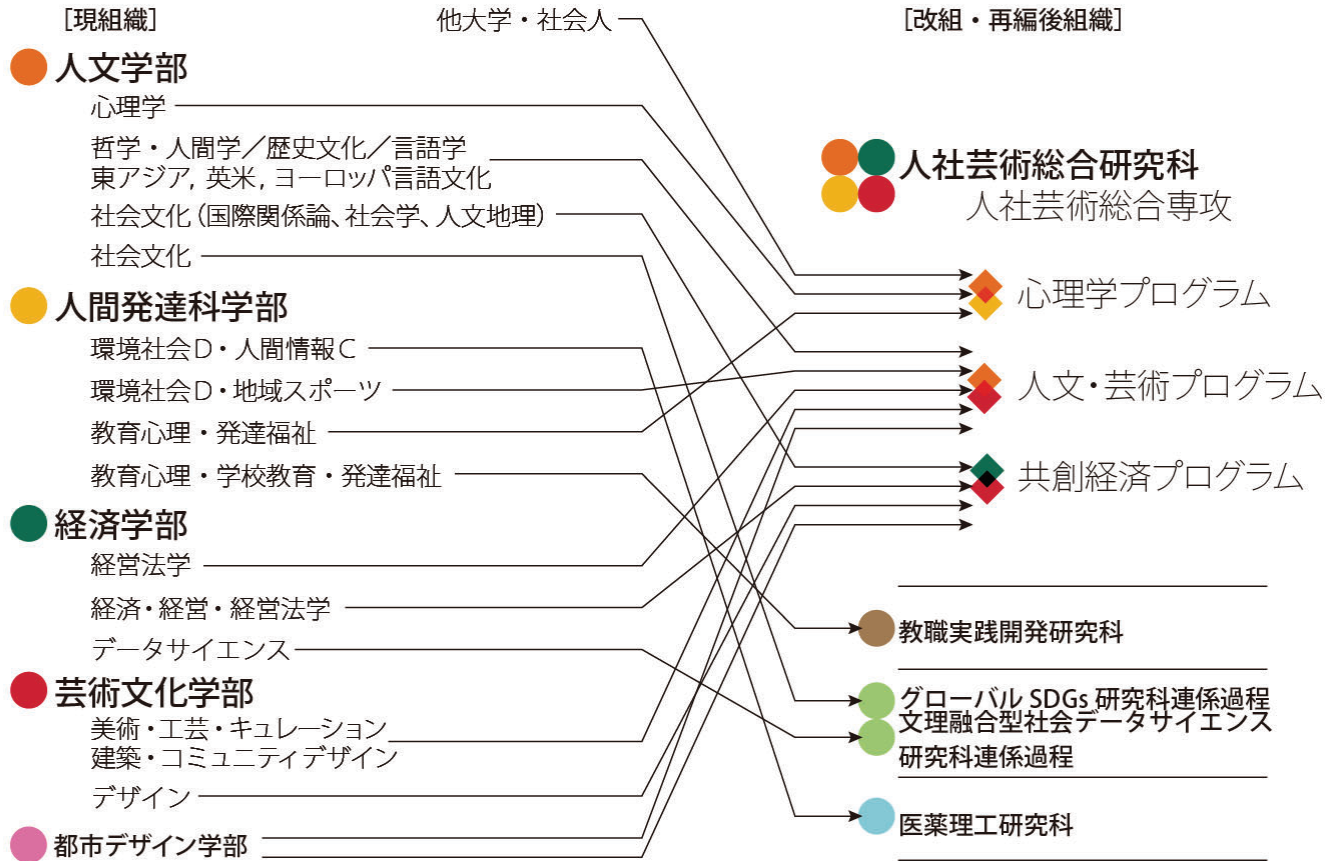
- 心理学プログラム
- 人文・芸術プログラム
- 共創経済プログラム

※ 本資料に記載の内容は、申請を予定しているのものであり、変更する可能性があります。
 資料に記載の設置予定研究科名等はすべて仮称です。

人社芸術総合研究科



※ 設置予定の研究科名等はすべて仮称です。



修士課程修了生の進路は？

専門分野の研究力：進学

就職：社会での実践的能力



社会状況：未知の難題が頻発する時代

新たな感染症や地震、水害などの予期せぬ厳しい状況の中でも、自分なりに考え対応できる力が求められている。



新型コロナウイルス感染症の拡大



令和元年台風第19号の豪雨

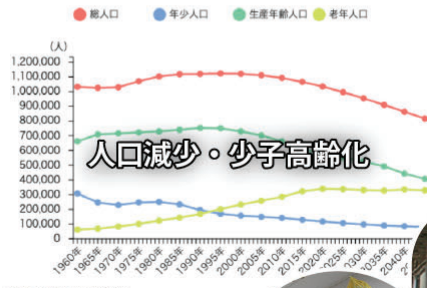


平成23年東日本大震災とそれによる津波



社会状況：地方の厳しい現状

地方では、人口減少・少子高齢化が進行し、産業やまちから活力が失われ、日常生活も不便になってきている。



富山県人口推移
出典：RESAS
<https://resas.go.jp>



販売不振



中心市街地の衰退



不便な日常生活



少ない公共交通



後継者不足



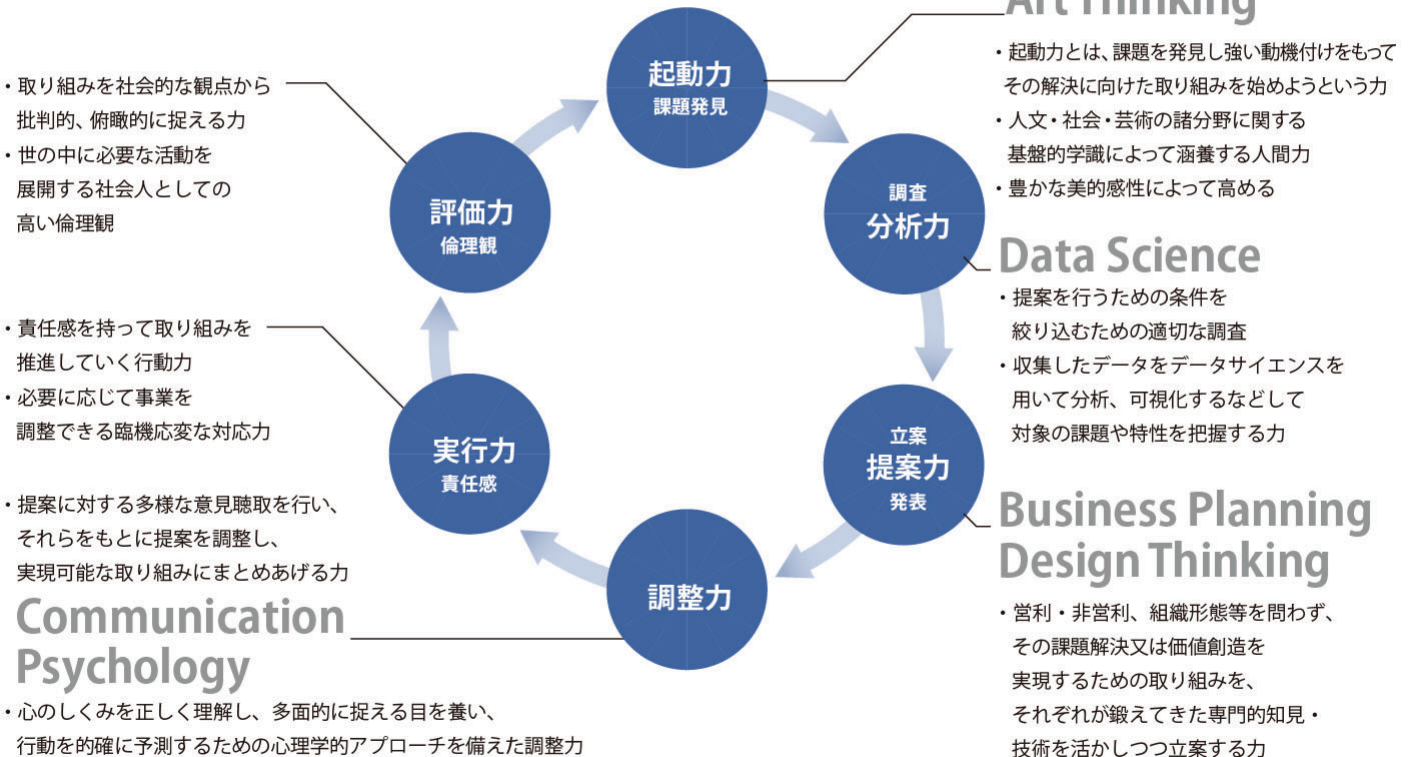
地域文化の喪失

社会が求める実践的能力：繋げて考える：専門性を拡張

それぞれ独立した専門領域として研究を深化させてきた一方、連携する機会がほとんどなかった。



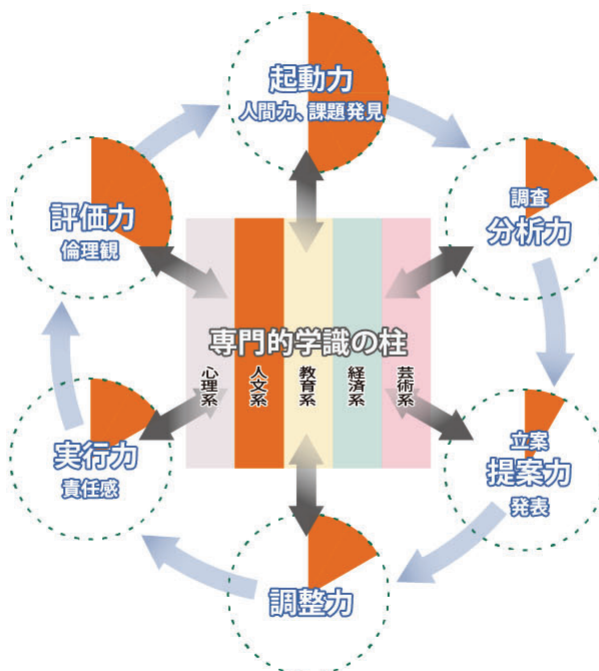
実践的能力を育成する循環



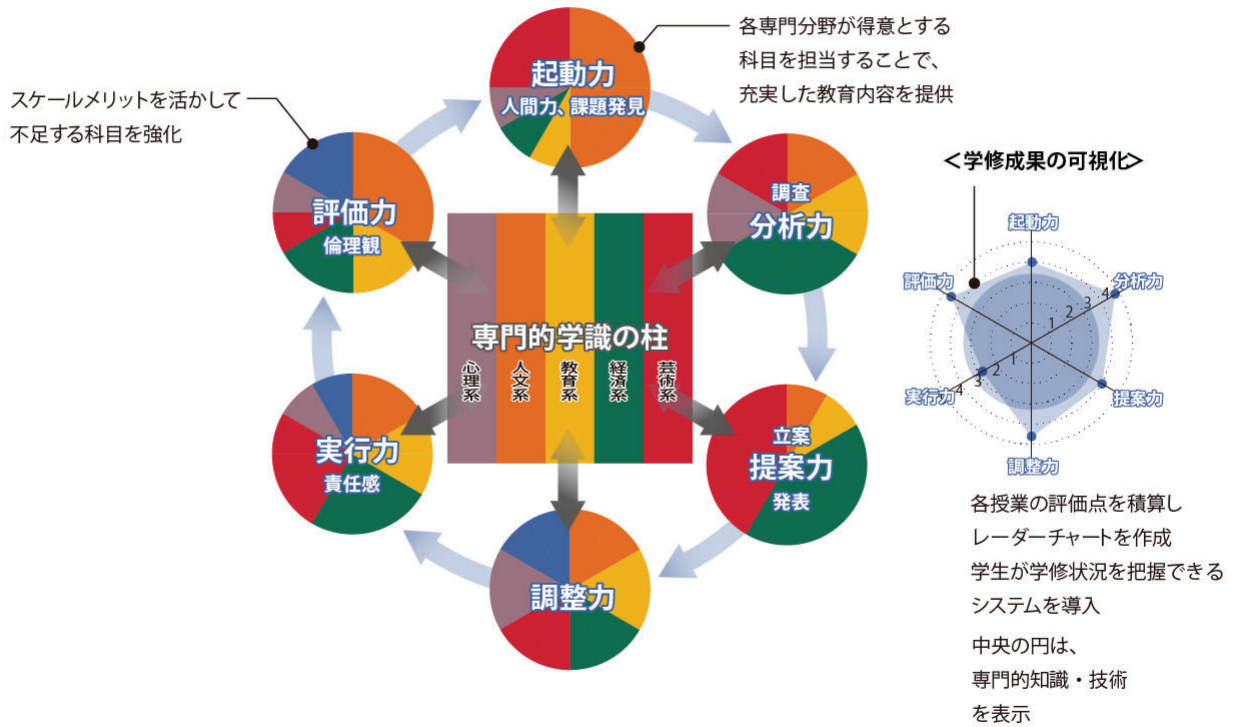
専門的な研究力と、それを社会に展開する実践的能力を併せ持つ



実践的能力の育成は既存の一研究科では不十分

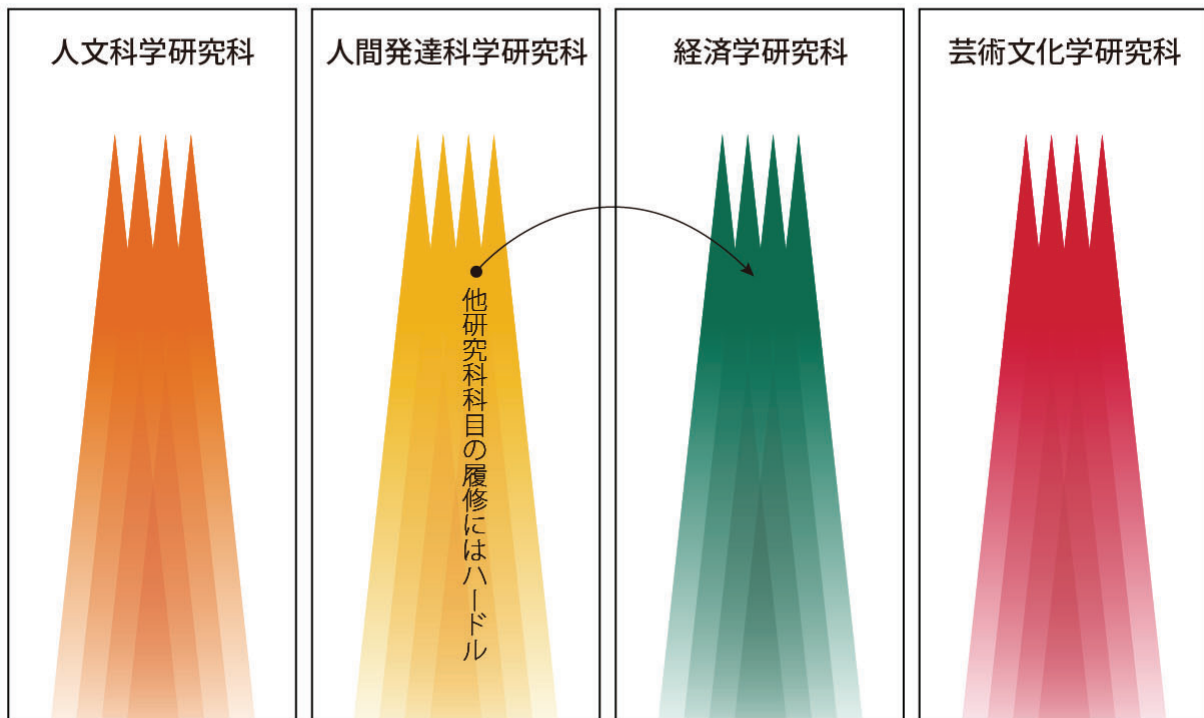


文系の研究科を大括り化することで充実した教育課程を実施



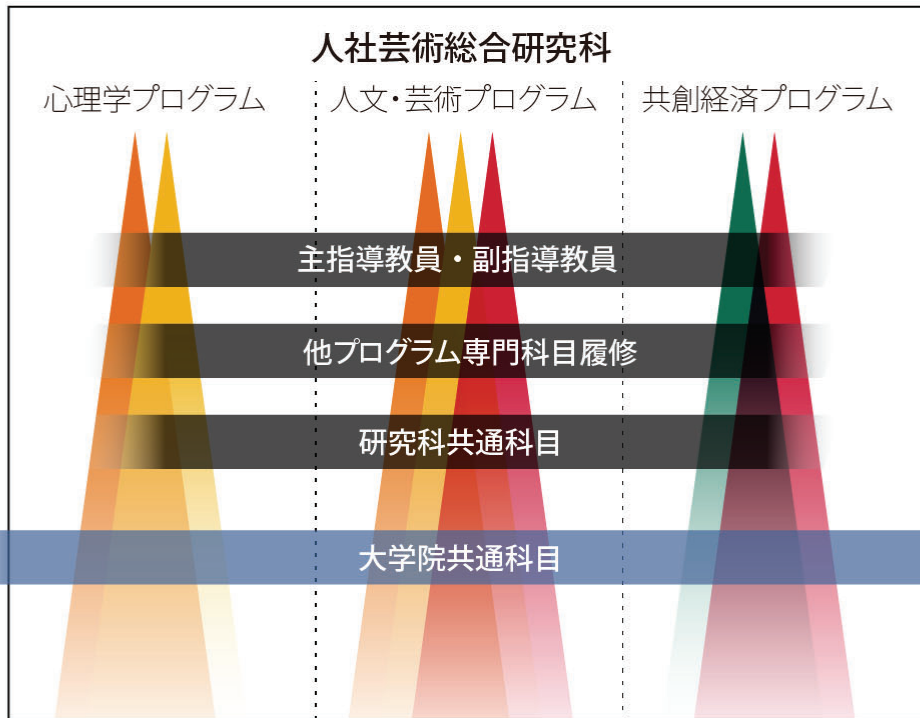
現組織：各研究科内で完結

それぞれ独立した専門領域として研究を深化させてきた一方、連携する機会があまりなかった。



改組・再編後組織：大括り化により学修機会が拡大

学生の興味や将来像に合わせて，適宜専門を広げて学修することが可能に



「地域共創特別実習」

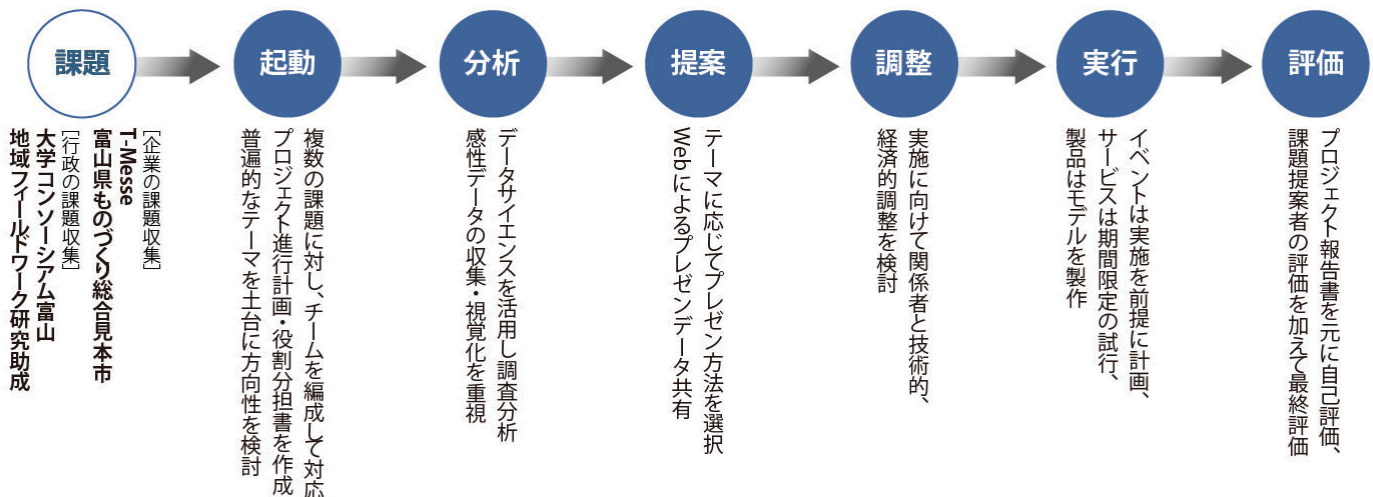
研究科共通(人文・芸術と共創経済は必修)PBL科目

社会的ニーズに応えられる実践的能力を要請する科目として開講

地域連携の実績を活用して現実の課題をテーマとし，関係者からの評価を受ける。

各自計画書を作成

| No. | 課題名 | 実施場所 | 実施期間 | 担当教員 | 学生数 |
|-----|------------------|------|---------------|------|-----|
| 1 | 富山県産品の販売促進 | 富山県庁 | 2023.10.10-12 | 山本 隆 | 15 |
| 2 | 地域活性化のためのワークショップ | 富山県庁 | 2023.11.15-17 | 山本 隆 | 15 |
| 3 | 地域活性化のためのワークショップ | 富山県庁 | 2024.1.10-12 | 山本 隆 | 15 |
| 4 | 地域活性化のためのワークショップ | 富山県庁 | 2024.2.10-12 | 山本 隆 | 15 |
| 5 | 地域活性化のためのワークショップ | 富山県庁 | 2024.3.10-12 | 山本 隆 | 15 |
| 6 | 地域活性化のためのワークショップ | 富山県庁 | 2024.4.10-12 | 山本 隆 | 15 |
| 7 | 地域活性化のためのワークショップ | 富山県庁 | 2024.5.10-12 | 山本 隆 | 15 |
| 8 | 地域活性化のためのワークショップ | 富山県庁 | 2024.6.10-12 | 山本 隆 | 15 |
| 9 | 地域活性化のためのワークショップ | 富山県庁 | 2024.7.10-12 | 山本 隆 | 15 |
| 10 | 地域活性化のためのワークショップ | 富山県庁 | 2024.8.10-12 | 山本 隆 | 15 |
| 11 | 地域活性化のためのワークショップ | 富山県庁 | 2024.9.10-12 | 山本 隆 | 15 |
| 12 | 地域活性化のためのワークショップ | 富山県庁 | 2024.10.10-12 | 山本 隆 | 15 |
| 13 | 地域活性化のためのワークショップ | 富山県庁 | 2024.11.10-12 | 山本 隆 | 15 |
| 14 | 地域活性化のためのワークショップ | 富山県庁 | 2024.12.10-12 | 山本 隆 | 15 |



人文 | 経済 | 芸術 → 独立した専門領域

それぞれ独立した専門領域として研究を深化させてきた一方、連携する機会がほとんどなかった。



『浄瑠璃物語絵巻 卷三』伝 岩佐又兵衛勝以 17世紀 / MOA美術館蔵



富山大学黒田講堂
文房具メーカーであるコクヨの創業者・黒田善太郎が寄贈。
「利潤は、その事業が社会に貢献することによって社会から与えられる報酬である。」との経営哲学に基づく。



<過去>

かつて文字と絵が混在した絵巻物や浮世絵が西欧で驚きを持って迎えられたが、東アジアでそれらは一体的に捉えられてきた。「経営」といった経済用語も元々は文化・芸術から生まれたことばである。発展する企業には優れた経営哲学があり、経済活動で得た富が文化芸術を育ててきた。

人文 × 経済 × 芸術 → 共創社会

人文・芸術・経済を相乗させ、地域ならではの文化的生活の質を向上させる中で経済を発展させ、これからの社会を共に創る



<過去>

かつて文字と絵が混在した絵巻物や浮世絵が西欧で驚きを持って迎えられたが、東アジアでそれらは一体的に捉えられてきた。景気や経営といった経済用語も元々は文化・芸術から生まれたことばである。発展する企業には優れた経営哲学があり、経済活動で得た富が文化芸術を育ててきた。

<これからの社会>

新たな価値創造が求められる
これからの社会では、哲学と美的感性にもとづく構想に加えて、具体化できる経済的知識が必要であり、それらを合わせて考えることが必要です。人文 × 芸術 × 経済を総合する能力が不可欠になります。

アンケートに
ご協力を!!

文系学生も大学院への進学を考えよう!
富山大学大学院 [修士課程] が生まれ変わります。



令和4年4月改組予定

人社芸術総合研究科

人社芸術総合専攻

心理学プログラム

人文・芸術プログラム

共創経済プログラム

※ 本資料に記載の内容は、申請を予定しているのものであり、変更する可能性があります。



人社芸術総合研究科 心理学プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康について心の専門家の視点で地域課題を解決できる人材を養成

心の専門家として現場の最前線で活躍する人材

地方自治体職員(児童相談所・福祉事業所など)、国家公務員(心理職)、医療(病院、診療所など)

心の専門家として社会を支援する人材

NPO法人(就労支援、障害者支援など)、民間企業

心の専門家として地域をオーガナイズする人材

地方自治体(教育委員会など)、学校(スクールカウンセラーなど)、コースワーカーなど

心理学系・医学系博士課程へ進学

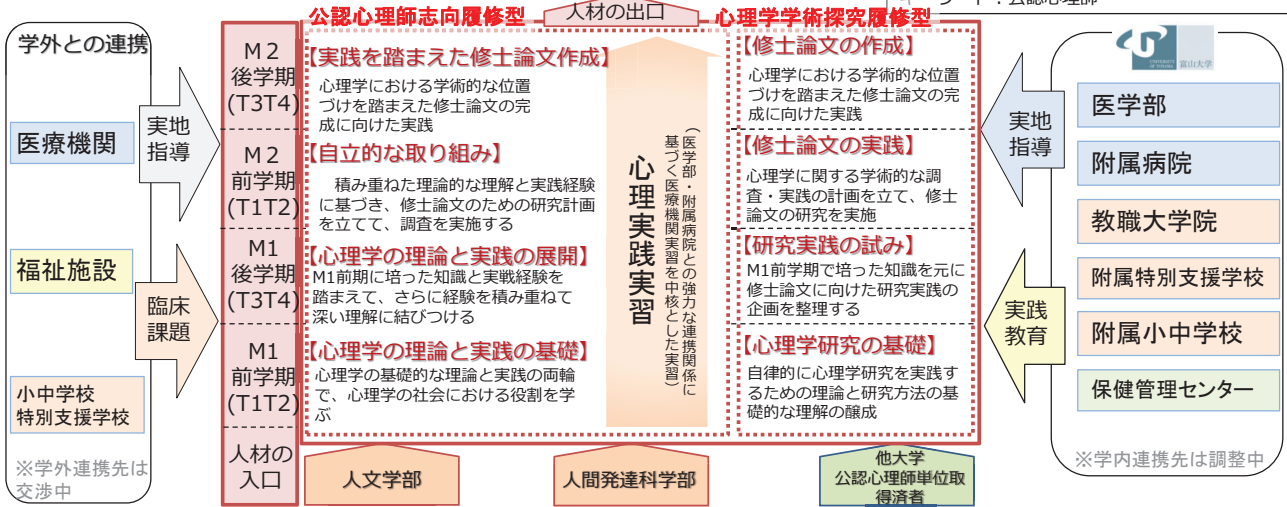
基本情報

授与学位：修士(心理学)

募集人員：修士5人

想定進学元：人文学部、人間発達科学部、公認心理師単位取得済他大学出身者
 想定就職先：国(厚労省・法務省・裁判所など)地方自治体(児童相談所・福祉系の心理職)、民間の心理職(医療・保健・福祉など)

キーワード：公認心理師



地域社会によりそう心の実務と科学の専門家を育てる

- プログラムの概要
 - ・心理学のアカデミックな思考と研究方法に関する教育を基盤に置きながら、公認心理師と学術探究するプロフェッショナルを養成する。
 - プログラムの特色ある教育
 - ・認知心理・社会心理・臨床心理など心理学の主要領域の知識を総合的に運用する力を育成する。
 - ・社会の課題に対して心理学からアプローチする洞察力和実践力を養成する。
 - 人と地の健康との関連
 - ・人間のこころのメカニズムと行動についての幅広い心理学的素養と深い専門的知識および豊富な経験をもとに、柔軟な発想で地域社会における課題を解決する。
- この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。



人社芸術総合研究科 心理学プログラム カリキュラム

プロフェッショナルとしてのリテラシーを修得する科目

全学共通科目

研究倫理(1)*, コミュニケーション(1), アート・デザインの役割(1), 英語論文作成(1), データサイエンス(1), キャリア教育(1), 知的財産法(1), 共生社会学(1), 科学技術と社会(1)*

研究科共通科目

地域づくり特論(1), 心理学特論(1), 哲学・人間学特論(1), コミュニティビジネス特論(1), 共創実践特論(1), 地域共創特別演習(PBL)(2)

公認心理師としての理論を修得する科目

プログラム専門科目

保健医療分野に関する理論と支援の展開, 福祉分野に関する理論と支援の展開, 教育分野に関する理論と支援の展開, 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開, 産業・労働分野に関する理論と支援の展開, 心理的アセスメントに関する理論と実践, 心理支援に関する理論と実践, 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践, 心の健康教育に関する理論と実践

公認心理師としての実践力を修得する科目

プログラム専門科目

心理実践実習

心理学を追究する科目

プログラム専門科目

心理学特論演習, 特別研究

*は必修科目、(1)(2)は開設単位数

※上記の授業科目は構想段階のものであり、最終的に変更となる可能性がある。

| 履修時期 | 科目区分 | 授業科目名 (すべて仮) | 履修目的と学修内容 |
|--------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| M1前学期 (1 T 2 T) | 全学共通科目 | 研究倫理 データサイエンス | 研究者・高度職業人として最低限身に付けるべき研究倫理を学修する。 研究者・高度職業人として最低限身に付けるべき各種デジタルデータの収集や解析に必要な能力を身につける。 |
| | 研究科共通科目 | 地域づくり特論 心理学特論 | ビッグデータを活用した地域づくりから、都市農村社会やコミュニティビジネスまで、多様な地域づくりを地理空間情報科学から分析する。 現代社会の諸課題と関わる心理学のあり方について、学修する。 |
| | プログラム専門科目 | 保健医療分野に関する理論と支援の展開 福祉分野に関する理論と支援の展開 教育分野に関する理論と支援の展開 心理実践実習 | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 |
| M1後学期 (3 T 4 T) | 全学共通科目 | コミュニケーション 共生社会学 | 研究者・高度職業人として、研究内容・企画内容を他者に分かりやすく伝えるためのコミュニケーション技術を身に付ける。 多様性を持つ社会のあり方について、学修する。 |
| | 研究科共通科目 | コミュニティビジネス特論 共創実践特論 | 地域住民やNPOが身近な課題解決を行うスモールビジネスについて実践的に学ぶ。 外部講師による実学科目であり、専門以外の広い視野で考えられる能力を養う。 |
| | プログラム専門科目 | 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 心理実践実習 | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 |
| M2前学期 (1 T 2 T) | プログラム専門科目 | 心理的アセスメントに関する理論と実践 心理支援に関する理論と実践 心理実践実習 特別研究 I | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 修士論文の執筆に向けての指導を行う。 |
| | 他プログラム等 専門科目 | 看護理論《看護科学プログラム》 | 看護についての理論を学修することにより、臨床現場でのスムーズな多職種連携の一助とする。 |
| M2後学期 (3 T 4 T) | プログラム専門科目 | 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 心の健康教育に関する理論と実践 心理実践実習 特別研究 II | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 修士論文の執筆に向けての指導を行う。 |
| | 他プログラム等 専門科目 | フィジカルアセスメント 《看護科学プログラム》 | 対象者の健康状態を包括的に判断するために必要なフィジカルアセスメントの知識と方法を学ぶ。 |

**医療現場で活躍する
公認心理師**

法令で定める公認心理師に必要な科目に加えて、他プログラム専門科目で看護についての理論を学修することで、病院や老健施設等において、カウンセリング、アセスメント等の臨床業務の際、スムーズな多職種連携ができる

※上記のカリキュラム・授業科目は構想段階のものであり、最終的に変更となる可能性がある。

| 履修時期 | 科目区分 | 授業科目名 (すべて仮) | 履修目的と学修内容 |
|--------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| M1前学期 (1 T 2 T) | 全学共通科目 | 研究倫理 データサイエンス | 研究者・高度職業人として最低限身に付けるべき研究倫理を学修する。 研究者・高度職業人として最低限身に付けるべき各種デジタルデータの収集や解析に必要な能力を身につける。 |
| | 研究科共通科目 | 地域づくり特論 心理学特論 | ビッグデータを活用した地域づくりから、都市農村社会やコミュニティビジネスまで、多様な地域づくりを地理空間情報科学から分析する。 現代社会の諸課題と関わる心理学のありかたについて、学修する。 |
| | プログラム専門科目 | 保健医療分野に関する理論と支援の展開 福祉分野に関する理論と支援の展開 教育分野に関する理論と支援の展開 心理実践実習 | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 |
| M1後学期 (3 T 4 T) | 全学共通科目 | コミュニケーション 共生社会学 | 研究者・高度職業人として、研究内容・企画内容を他者に分かりやすく伝えるためのコミュニケーション技術を身に付ける。 多様性を持つ社会のあり方について、学修する。 |
| | 研究科共通科目 | コミュニティビジネス特論 共創実践特論 | 地域住民やNPOが身近な課題解決を行うスモールビジネスについて実践的に学ぶ。 外部講師による実学科目であり、専門以外の広い視野で考えられる能力を養う。 |
| | プログラム専門科目 | 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 心理実践実習 | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 |
| M2前学期 (1 T 2 T) | プログラム専門科目 | 心理的アセスメントに関する理論と実践 心理支援に関する理論と実践 心理実践実習 特別研究 I | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 修士論文の執筆に向けての指導を行う。 |
| | 他プログラム等 専門科目 | 児童・生徒理解とその指導 《教職実践開発研究科》 | 教育現場においてスクールカウンセラー業務に従事するにあたり必要な児童・生徒論について学修する。 |
| M2後学期 (3 T 4 T) | プログラム専門科目 | 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 心の健康教育に関する理論と実践 心理実践実習 特別研究 II | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 修士論文の執筆に向けての指導を行う。 |
| | 他プログラム等 専門科目 | 学校カウンセリングの実践 《教職実践開発研究科》 | 教育現場においてスクールカウンセラー業務に従事するにあたり実践的なカウンセリングについて学修する。 |

学校などの教育現場で活躍する公認心理師

法令で定める公認心理師に必要な科目に加えて、児童・生徒に対する指導についての授業を他プログラム専門科目を学修することで、教育現場のスクールカウンセラーとして、臨床業務の際、スムーズな多職種連携ができる

※上記のカリキュラム・授業科目は構想段階のものであり、最終的に変更となる可能性がある。

| 履修時期 | 科目区分 | 授業科目名 (すべて仮) | 履修目的と学修内容 |
|--------------------|-----------------|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| M1前学期 (1 T 2 T) | 全学共通科目 | 研究倫理 データサイエンス | 研究者・高度職業人として最低限身に付けるべき研究倫理を学修する。 研究者・高度職業人として最低限身に付けるべき各種デジタルデータの収集や解析に必要な能力を身につける。 |
| | 研究科共通科目 | 地域づくり特論 心理学特論 | ビッグデータを活用した地域づくりから、都市農村社会やコミュニティビジネスまで、多様な地域づくりを地理空間情報科学から分析する。 現代社会の諸課題と関わる心理学のありかたについて、学修する。 |
| | プログラム専門科目 | 心理学特論Ⅰ 心理学特論演習Ⅰ 福祉分野に関する理論と支援の展開 | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。 |
| M1後学期 (3 T 4 T) | 全学共通科目 | コミュニケーション 科学技術と社会 | 研究者・高度職業人として、研究内容・企画内容を他者に分かりやすく伝えるためのコミュニケーション技術を身に付ける。 科学技術の発展の歴史およびそれによりもたらされた功罪について、学修する。 |
| | 研究科共通科目 | コミュニティビジネス特論 共創実践特論 | 地域住民やNPOが身近な課題解決を行うスモールビジネスについて実践的に学ぶ。 外部講師による実学科目であり、専門以外の広い視野で考えられる能力を養う。 |
| | プログラム専門科目 | 心理学特論Ⅱ 心理学特論演習Ⅱ 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 |
| M2前学期 (1 T 2 T) | プログラム専門科目 | 心理学特論Ⅲ 心理支援に関する理論と実践 特別研究Ⅰ | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 修士論文の執筆に向けての指導を行う。 |
| M2後学期 (3 T 4 T) | プログラム専門科目 | 心理学特論Ⅳ 特別研究Ⅱ | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 修士論文の執筆に向けての指導を行う。 |
| | 他プログラム等 専門科目 | 学校カウンセリングの実践 《教職実践開発研究科》 | 教育現場においてスクールカウンセラー業務に従事するにあたり必要な実践的なカウンセリングについて学修する。 |

基礎心理学を活用し
産業界で活躍する人材

認知や記憶、社会心理学などを修め、基礎研究と論文作成で培った知識と思考法を活用して企業や自治体などで活躍する。

※上記のカリキュラム・授業科目は構想段階のものであり、最終的に変更となる可能性がある。

人社芸術総合研究科 人文・芸術プログラムの構想概要

基本情報

文化的多様性を享受し「人」と「地」の健康を実現する高度専門家養成機関として貢献する

授与学位：修士（学術）
募集人員：修士16人
想定進学元：人社芸術系
想定就職先：国（文化系） 地方自治体（文化財保存系）、情報通信、観光、卸売・小売、教育学習支援業等
キーワード：地方創生、異分野理解、地域課題解決、リカレント教育、留学支援、STEAM連携、産業観光

地域社会のリーダー

世代、国籍、ジェンダー、障害の有無等による社会の分断を調整する役割を果たす人材（官公庁等における地域社会安定化の政策立案者、民間オーガナイザー等）

地域活性化の仕掛け人

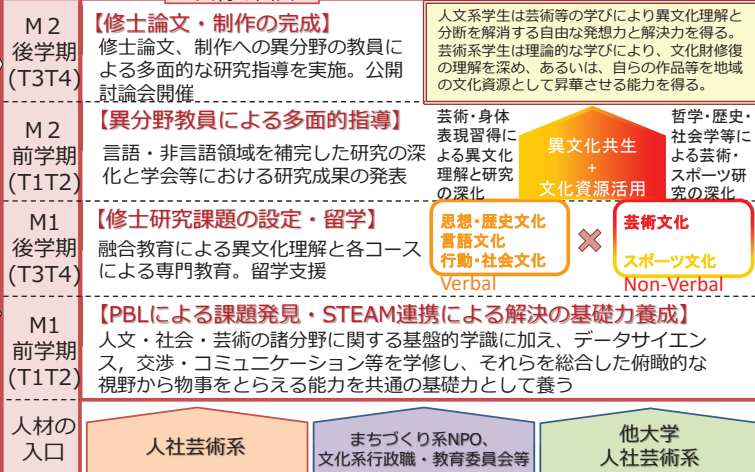
地域文化資源を活用し、地域活性化のエンジンになる人材（文化財ソムリエ、地域情報誌編集者、スポーツインストラクター、キュレーター、旅行業など）

文化資源保護・創造者

地域文化資源を守り、新しく創造する人材（アーティスト、伝統を守りつつ技の革新をもたらす工芸家、文化財修復士、商品デザイナー等）

文化・芸術系
博士課程へ進学

人材の出口



異文化共生社会の到来に柔軟に対応でき、アートを含む文化資源を活用し地域社会を活性化させる人材の育成

- プログラムの概要 文化的多様性と歴史性をふまえた高度な専門的知識と幅広い教養に基づき、人間や地域社会にかかわる現代的課題を自ら発見し、他者との協働を通じてその課題を解決する力を身につけた人材の育成を目指す。
 - プログラムの特色ある教育
 - ・ユネスコの「文化的多様性に関する世界宣言」にある“文化的多様性は、交流、革新、創造の源として人類に必要なものである”を尊重し、言語と非言語領域の教育研究を一体化することにより、異文化の深い理解と共生のための解決策を提案できる人材を育成する。
 - ・横断的教育により4つのC（Critical thinking, Communication, Collaboration, Creativity）の能力を身につけ、Society 5.0のなかで新しい文化創造に貢献できる人材を育成する。
 - ・非対面、オンデマンド型授業の積極的併用による“どこでもCampus”→遠隔地でも受講可能なシステムで社会人需要を喚起（リカレント教育）
 - ・積極的な留学支援
 - 人と地の健康との関連 技藝院との連携による文化保護、文化財修復への貢献
- この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。



人社芸術総合研究科 共創経済プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康に地域振興に寄与する高度専門家養成機関として貢献する

経営領域重視型

地域企業で新規事業を企画するビジネスパーソン。地域企業の国際展開に貢献するビジネスパーソン

融合領域重視型

デザイン経営※により地域企業を活性化させるビジネスパーソン

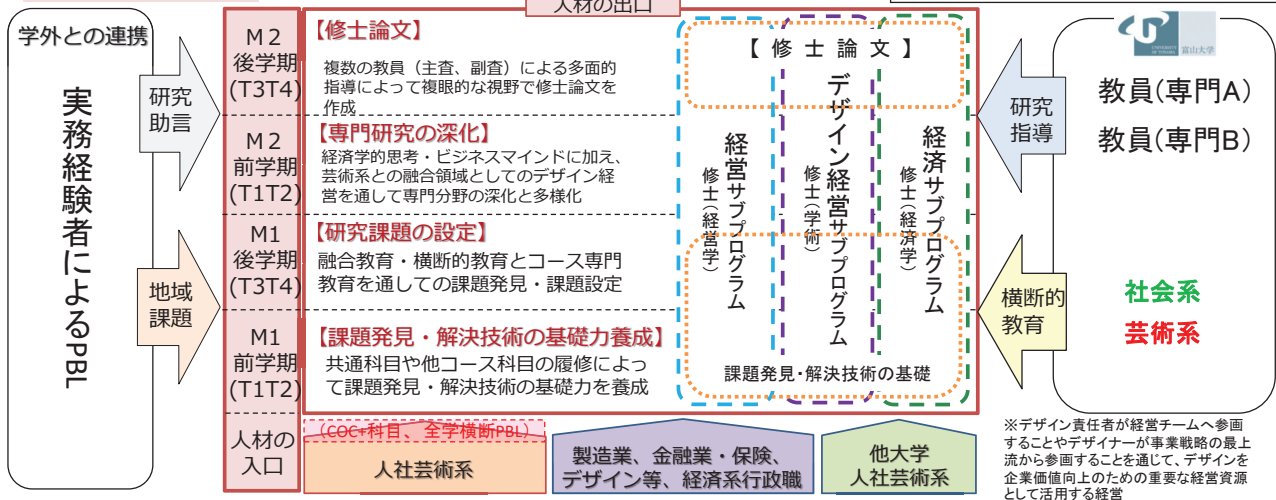
経済領域重視型

地方公共団体で地域振興策を主導する行政担当者

社会・芸術系
博士課程へ進学

基本情報

授与学位：修士（経営学、学術、経済学）
募集人員：修士14人
想定進学元：人社芸術系（留学生を含む）
想定就職先：国・地方自治体、製造業、金融・保険業、情報通信業、デザイン等
キーワード：地域連携、リカレント教育対応、長期インターンシップ



学際・融合：経済とデザインで地域社会創生を実現

- プログラムの概要
経済学、経営学、デザイン学などから新たな事業を創出することで地域に貢献できる人材を育成することを目指す。
- プログラムの特色ある教育
 - ・公的セクター（経済学、公法学）と私的セクター（経営学、私法学）を包括したカリキュラム構成
 - ・地域と連携したPBL型授業
 - ・デザイン学と経営学の融合
- 人と地の健康との関連
 - ・企業や市町村と連携した授業を通して地域活性化や街づくりに貢献

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。



人社芸術総合研究科 共創経済プログラム 出口別履修モデル②（経営）

| 履修時期 | 科目区分 | 授業科目名（すべて仮） | 履修目的と学修内容 |
|------------------|-------------|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| M1前学期 (T1・T2) | 全学共通科目 | 研究倫理 | 研究者・高度職業人として最低限身につけるべき研究倫理について学修する。 |
| | 研究科共通科目 | 地域づくり特論 | 地域問題に関する基本的知見を習得する。 |
| | プログラム専門科目 | 国際経営特論 マーケティング特論 共創経済特別研究（経営）Ⅰ | 国際経営特論では、日系企業の経営行動について学修する。 マーケティング特論では、企業のマーケティング行動を分析する。 共創経済特別研究（経営）Ⅰでは、経営学に関する修士論文の作成に必要な調査（データ収集等）について指導する。 |
| | 補充履修(学士課程)※ | マーケティング論A | 学部時代に経営学を学ばなかった学生は、学士課程の経営学関連の授業科目を履修し、修士（経営学）に相応しい経営学の根幹を確立する。 |
| M1後学期 (T3・T4) | 全学共通科目 | アート・デザインの役割 | アートやデザイン作品を生み出す思考方法について確認する。 |
| | 研究科共通科目 | 地域共創特別演習（PBL） | PBLを通じて社会的ニーズに応えられる実践的能力を身につける。 |
| | プログラム専門科目 | 多国籍企業特論 国際取引法特論 共創経済特別研究（経営）Ⅱ | 多国籍企業特論では、グローバル競争の現状を分析する。 国際取引法特論では、国際取引にかかる法理論を習得する。 共創経済特別研究（経営）Ⅱでは、経営学に関する修士論文の作成に必要なデータ分析とその考察方法について指導する。 |
| | 補充履修(学士課程)※ | 貿易論A | 学部時代に経営学を学ばなかった学生は、前学期に引き続き学士課程の授業科目を履修し、修士（経営学）に相応しい経営学の根幹を確立する。 |
| M2前学期 (T1・T2) | プログラム専門科目 | 人的資源管理特論 | 人的資源管理特論では、企業内部の人的資源管理を理論的に検討する。 |
| | | 国際民事訴訟法特論 経営組織特論 共創経済特別研究（経営）Ⅲ | 国際民事訴訟法特論では、海外との訴訟にかかる法理論を習得する。 経営組織特論では、組織論的観点からの経営現象の理解を目指す。 共創経済特別研究（経営）Ⅲでは、経営学に関する修士論文の作成に必要な執筆方法について指導しつつ、期末には内容について中間発表を求める。 |
| M2後学期 (T3・T4) | プログラム専門科目 | 管理会計特論 | 管理会計特論では、戦略マネジメントシステムについて学修する。 |
| | | 共創経済特別研究（経営）Ⅳ | 共創経済特別研究（経営）Ⅳでは、経営学に関する修士論文の作成にあたり、全般的に指導しつつ、期末には内容について発表を求める。 |

地域企業の国際展開に貢献するビジネスパーソン

共創経済プログラムにおいて身につけた日本および海外企業の経営に関する知識や論理的な文書作成能力によって、地域企業（日本企業）の海外展開に貢献・参画できる。

※隣接分野からの入学者に対し、通常の大学院におけるカリキュラムに加えて、接続関係にある学士課程の授業科目を履修させることで、知識等を補完する。
※上記のカリキュラム・授業科目は構想段階のものであり、最終的に変更となる可能性がある。

※本アンケートの実施時点では、「人社芸術総合研究科（仮称）」としていたが、その後の検討により「人文社会芸術総合研究科」に変更した。

富山大学大学院人社芸術総合研究科（仮称）への進学に関する調査

1. 調査の概要

（1）調査対象

富山大学人文学部および人間発達科学部において心理学を専攻する在学生およびその卒業生

（2）調査方法

上記対象者に、ウェブ上で説明資料および説明動画を提示したうえで、アンケートへの回答（ウェブ）を依頼した。

（3）回答数

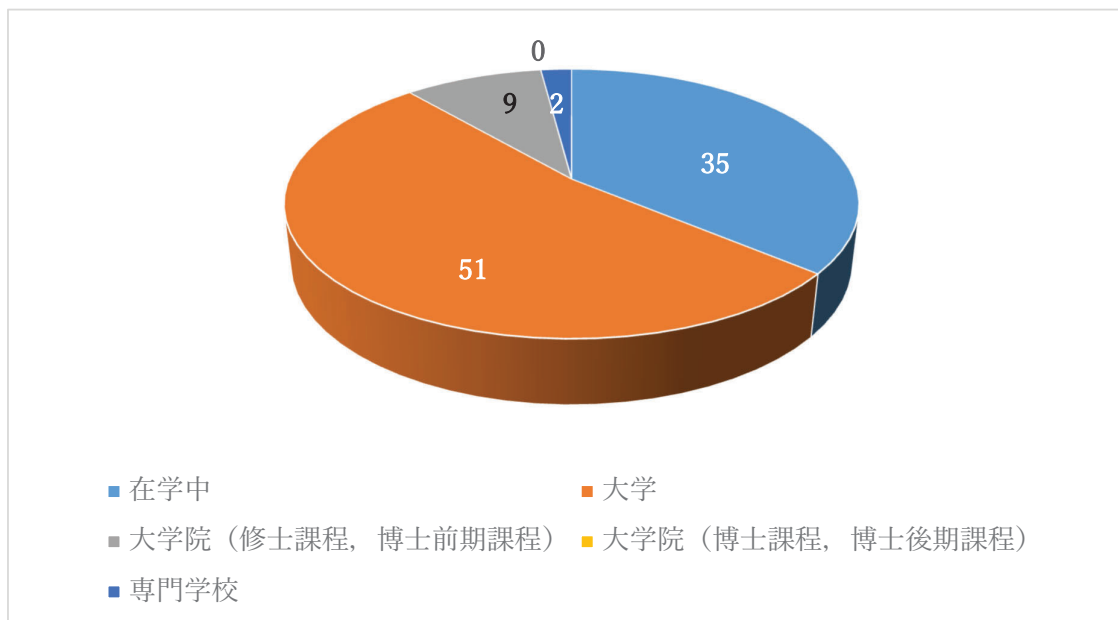
在学生 35 名，既卒者 62 名から，回答を得た。

（4）調査期間

2021 年 1 月 30 日から 2 月 12 日

2. 回答結果（数字は人数）

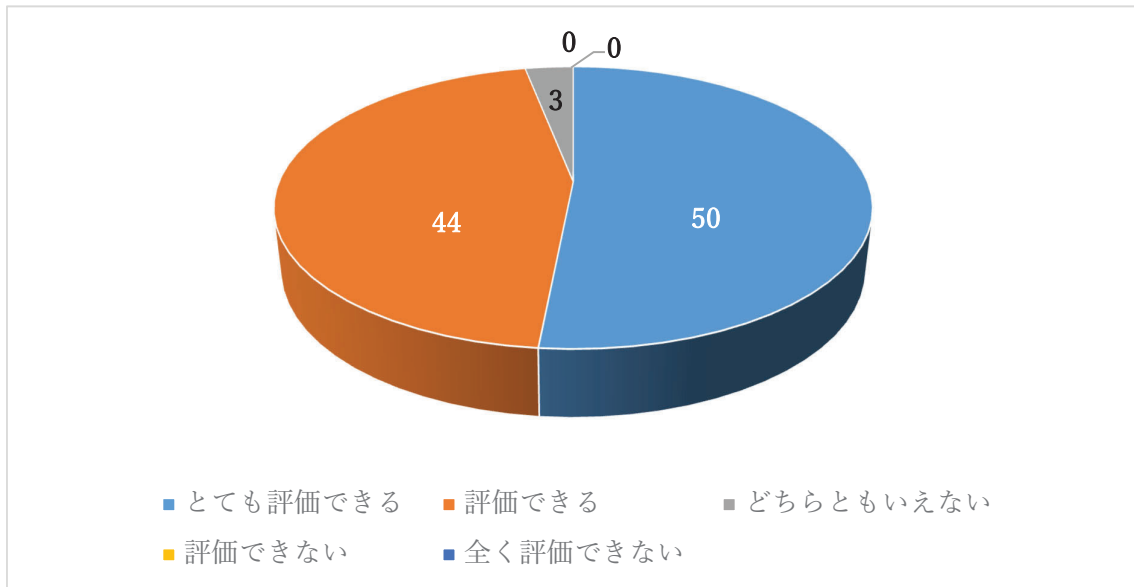
（1）あなたの最終学歴を教えてください。なお、その他を選択された場合は、具体的な学校種をご記入ください。



（2）あなたの学部における専門分野を教えてください。なお、その他を選択した場合は、具体的な専門分野をご記入ください。

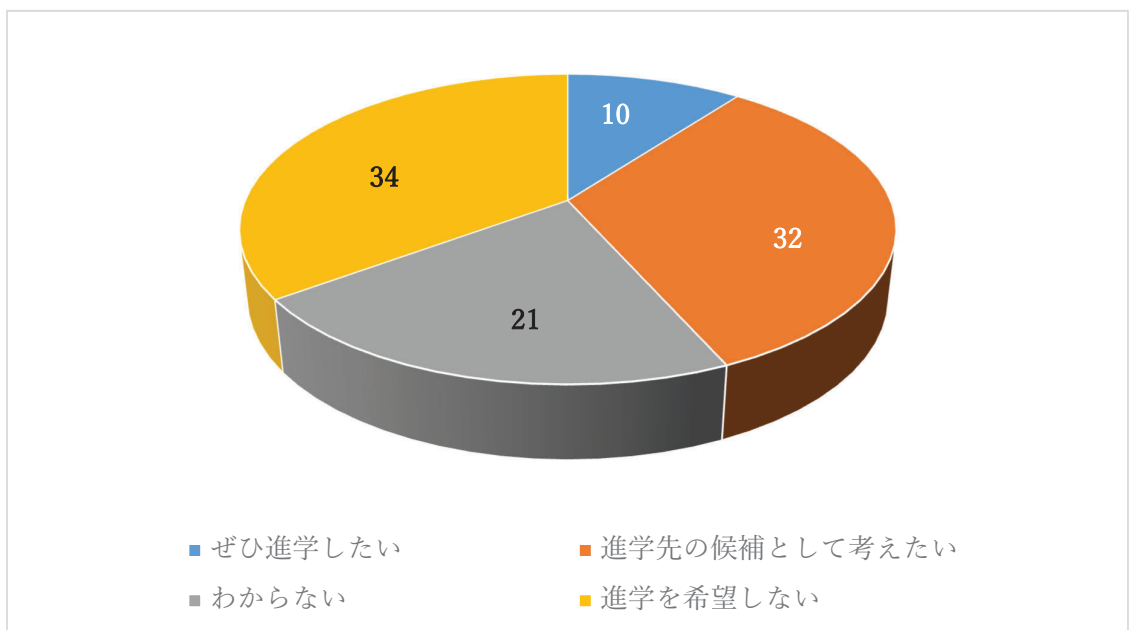
対象が富山大学人文学部，人間発達科学部において心理学を専攻している，もしくは専攻していた者のみであるため，添付略。

(3) 富山大学大学院人社芸術総合研究科心理学プログラム（仮称）では，附属病院，附属学校等での十分な実習を通じて，実践的な力を持つ公認心理師の養成に力を入れると同時に，アカデミックな心理学のエッセンスを取り入れたカリキュラムを検討しておりますが，実践的な心理学とアカデミックな心理学を同時に学ぶ仕組みについて，あなたはごどう思いますか。



(4)

富山大学に上記の心理学プログラム（仮称）が設置された場合，アカデミックな心理学を学ぶため，又は公認心理師の受験資格※を得るために大学院進学を考えますか。



以下、全回答から既卒者からの回答のみを抜粋した集計結果

3. 回答結果（既卒者抜粋：数字は人数）

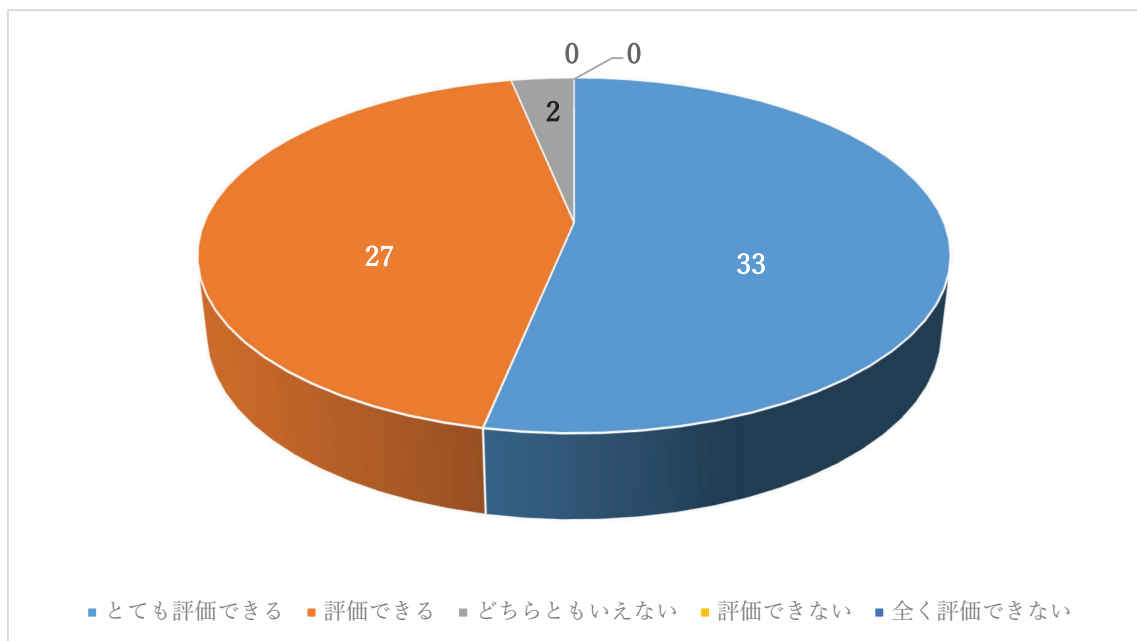
(1) あなたの最終学歴を教えてください。なお、その他を選択された場合は、具体的な学校種をご記入ください。

2 (1) 参照

(2) あなたの学部における専門分野を教えてください。なお、その他を選択した場合は、具体的な専門分野をご記入ください。

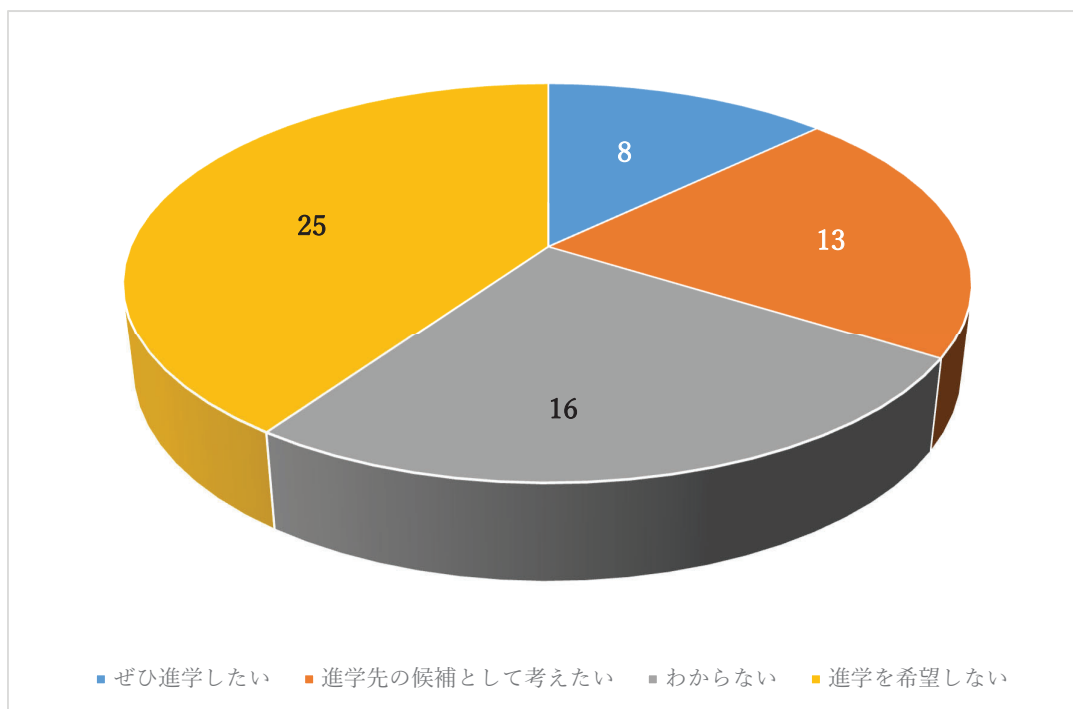
対象が富山大学人文学部、人間発達科学部において心理学を専攻している、もしくは専攻していた者のみであるため、添付略。

(3) 富山大学大学院人社芸術総合研究科心理学プログラム（仮称）では、附属病院、附属学校等での十分な実習を通じて、実践的な力を持つ公認心理師の養成に力を入れると同時に、アカデミックな心理学のエッセンスを取り入れたカリキュラムを検討しておりますが、実践的な心理学とアカデミックな心理学を同時に学ぶ仕組みについて、あなたはどのように思いますか。



(4)

富山大学に上記の心理学プログラム（仮称）が設置された場合，アカデミックな心理学を学ぶため，又は公認心理師の受験資格※を得るために大学院進学を考えますか。



富山大学大学院人社芸術総合研究科心理学プログラム（仮称）の進学に関する調査（富山大学在学生・卒業生の方）

現在、富山大学では、令和4年（2022年）4月に富山大学大学院人社芸術総合研究科心理学プログラム（仮称）の設置を構想しております。このアンケートは、富山大学の在学生及び卒業生のみなさんのニーズを把握し、今後の設置準備に役立てるために実施するものですので、是非ともご協力をお願いします。

なお、みなさんからいただいた回答は統計的に処理し、個別の情報が公表されることはありません。

2006年度から2017年度の間にも本学人文学部又は人間発達科学部に入学し、「経過措置対応科目」の単位を全て修得して卒業した方（卒業見込みの方）は、本プログラムの所要の単位を修得して修了することにより、公認心理師試験の受験資格を得ることができます。

1. あなたの最終学歴を教えてください。なお、その他を選択された場合は、具体的な学校種をご記入ください。

- 在学中
- 大学
- 大学院（修士課程，博士前期課程）
- 大学院（博士課程，博士後期課程）
- その他:



2. あなたの学部における専門分野を教えてください。なお、その他を選択した場合は、具体的な専門分野をご記入ください。

- 人文学
- 教育学
- 経済学・経営学, 法学
- 心理学
- 経済・経営, 法律, 心理学以外の社会科学
- 理学
- 工学
- 農学
- 医学
- その他:

3. 富山大学大学院人社芸術総合研究科心理学プログラム（仮称）では、附属病院、附属学校等での十分な実習を通じて、実践的な力を持つ公認心理師の養成に力を入れると同時に、アカデミックな心理学のエッセンスを取り入れたカリキュラムを検討しておりますが、実践的な心理学とアカデミックな心理学を同時に学ぶ仕組みについて、あなたはどのように思いますか。

- とても評価できる
- 評価できる
- どちらともいえない
- あまり評価できない
- 評価できない



4. 富山大学に上記の心理学プログラム（仮称）が設置された場合、アカデミックな心理学を学ぶため、又は公認心理師の受験資格※を得るために大学院進学を考えますか。

- ぜひ進学したい
- 進学先の候補として考えたい
- 進学を希望しない
- わからない

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム





人社芸術総合研究科 心理学プログラムの構想概要

基本情報

「人」と「地」の健康について心の専門家の視点で地域課題を解決できる人材を養成

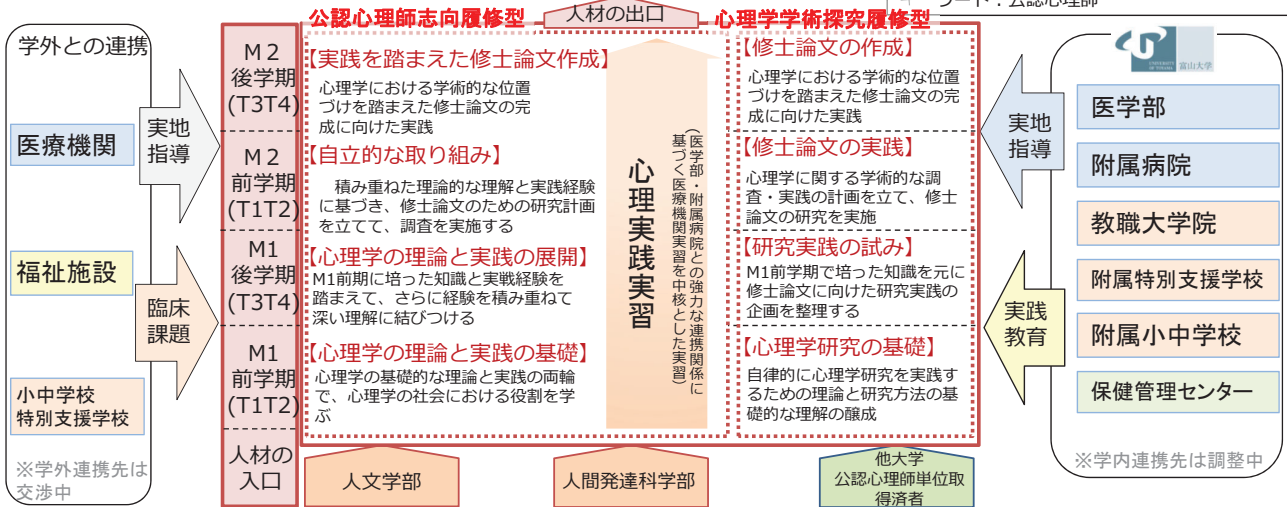
心の専門家として現場の最前線で活躍する人材
地方自治体職員(児童相談所・福祉事業所など)、国家公務員(心理職)、医療(病院、診療所など)

心の専門家として社会を支援する人材
NPO法人(就労支援、障害者支援など)、民間企業

心の専門家として地域をオーガナイズする人材
地方自治体(教育委員会など)、学校(スクールカウンセラーなど)、ユースワーカーなど

心理学系・医学系博士課程へ進学

授与学位：修士(文学)
募集人員：修士5人
想定進学元：人文学部、人間発達科学部、公認心理師単位取得済他大学出身者
想定就職先：国(厚労省・法務省・裁判所など)地方自治体(児童相談所・福祉系の心理職)、民間の心理職(医療・保健・福祉など)
キーワード：公認心理師



地域社会によりそう心の実務と科学の専門家を育てる

- プログラムの概要
 - ・心理学のアカデミックな思考と研究方法に関する教育を基盤に置きながら、公認心理師と学術探究するプロフェッショナルを養成する。
- プログラムの特色ある教育
 - ・認知心理・社会心理・臨床心理など心理学の主要領域の知識を総合的に運用する力を育成する。
 - ・社会の課題に対して心理学からアプローチする洞察力と実践力を養成する。
- 人と地の健康との関連
 - ・人間のこころのメカニズムと行動についての幅広い心理学的素養と深い専門的知識および豊富な経験をもとに、柔軟な発想で地域社会における課題を解決する。



人社芸術総合研究科 心理学プログラム カリキュラム

プロフェッショナルとしてのリテラシーを修得する科目

全学共通科目

研究倫理(1)*, コミュニケーション(1), アート・デザインの役割(1), 英語論文作成(1), データサイエンス(1), キャリア教育(1), 知的財産法(1), 共生社会学(1), 科学技術と社会(1)*

研究科共通科目

地域づくり特論(1), 心理学特論(1), 哲学・人間学特論(1), コミュニティビジネス特論(1), 共創実践特論(1), 地域共創特別演習(PBL)(2)

公認心理師としての理論を修得する科目

プログラム専門科目

保健医療分野に関する理論と支援の展開, 福祉分野に関する理論と支援の展開, 教育分野に関する理論と支援の展開, 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開, 産業・労働分野に関する理論と支援の展開, 心理的アセスメントに関する理論と実践, 心理支援に関する理論と実践, 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践, 心の健康教育に関する理論と実践

公認心理師としての実践力を修得する科目

プログラム専門科目

心理実践実習

心理学を追究する科目

プログラム専門科目

心理学特論演習, 特別研究

*は必修科目、(1)(2)は開設単位数

※上記の授業科目は構想段階のものであり、最終的に変更となる可能性がある。



人社芸術総合研究科 心理プログラム 出口別履修モデル

| 履修時期 | 科目区分 | 授業科目名（すべて仮） | 履修目的と学修内容 |
|--------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| M1前学期 (1 T 2 T) | 全学共通科目 | 研究倫理 データサイエンス | 研究者・高度職業人として最低限身に付けるべき研究倫理を学修する。 研究者・高度職業人として最低限身に付けるべき各種デジタルデータの収集や解析に必要な能力を身につける。 |
| | 研究科共通科目 | 地域づくり特論 心理学特論 | ビッグデータを活用した地域づくりから、都市農村社会やコミュニティビジネスまで、多様な地域づくりを地理空間情報科学から分析する。 現代社会の諸課題と関わる心理学のあり方について、学修する。 |
| | プログラム専門科目 | 保健医療分野に関する理論と支援の展開 福祉分野に関する理論と支援の展開 教育分野に関する理論と支援の展開 心理実践実習 | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 |
| M1後学期 (3 T 4 T) | 全学共通科目 | コミュニケーション 共生社会学 | 研究者・高度職業人として、研究内容・企画内容を他者に分かりやすく伝えるためのコミュニケーション技術を身に付ける。 多様性を持つ社会のあり方について、学修する。 |
| | 研究科共通科目 | コミュニティビジネス特論 共創実践特論 | 地域住民やNPOが身近な課題解決を行うスモールビジネスについて実践的に学ぶ。 外部講師による実学科目であり、専門以外の広い視野で考えられる能力を養う。 |
| | プログラム専門科目 | 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 心理実践実習 | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 |
| M2前学期 (1 T 2 T) | プログラム専門科目 | 心理的アセスメントに関する理論と実践 心理支援に関する理論と実践 心理実践実習 特別研究 I | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 修士論文の執筆に向けての指導を行う。 |
| | 他プログラム等 専門科目 | 看護理論《看護科学プログラム》 | 看護についての理論を学修することにより、臨床現場でのスムーズな多職種連携の一助とする。 |
| M2後学期 (3 T 4 T) | プログラム専門科目 | 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 心の健康教育に関する理論と実践 心理実践実習 特別研究 II | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 修士論文の執筆に向けての指導を行う。 |
| | 他プログラム等 専門科目 | フィジカルアセスメント 《看護科学プログラム》 | 対象者の健康状態を包括的に判断するために必要なフィジカルアセスメントの知識と方法を学ぶ。 |

医療現場で活躍する 公認心理師

法令で定める公認心理師に必要な科目に加えて、他プログラム専門科目で看護についての理論を学修することで、病院や老健施設等において、カウンセリング、アセスメント等の臨床業務の際、スムーズな多職種連携ができる

※上記のカリキュラム・授業科目は構想段階のものであり、最終的に変更となる可能性がある。



人社芸術総合研究科 心理プログラム 出口別履修モデル

| 履修時期 | 科目区分 | 授業科目名（すべて仮） | 履修目的と学修内容 |
|--------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| M1前学期 (1 T 2 T) | 全学共通科目 | 研究倫理 データサイエンス | 研究者・高度職業人として最低限身に付けるべき研究倫理を学修する。 研究者・高度職業人として最低限身に付けるべき各種デジタルデータの収集や解析に必要な能力を身につける。 |
| | 研究科共通科目 | 地域づくり特論 心理学特論 | ビッグデータを活用した地域づくりから、都市農村社会やコミュニティビジネスまで、多様な地域づくりを地理空間情報科学から分析する。 現代社会の諸課題と関わる心理学のありかたについて、学修する。 |
| | プログラム専門科目 | 保健医療分野に関する理論と支援の展開 福祉分野に関する理論と支援の展開 教育分野に関する理論と支援の展開 心理実践実習 | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 |
| M1後学期 (3 T 4 T) | 全学共通科目 | コミュニケーション 共生社会学 | 研究者・高度職業人として、研究内容・企画内容を他者に分かりやすく伝えるためのコミュニケーション技術を身に付ける。 多様性を持つ社会のあり方について、学修する。 |
| | 研究科共通科目 | コミュニティビジネス特論 共創実践特論 | 地域住民やNPOが身近な課題解決を行うスモールビジネスについて実践的に学ぶ。 外部講師による実学科目であり、専門以外の広い視野で考えられる能力を養う。 |
| | プログラム専門科目 | 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 心理実践実習 | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 |
| M2前学期 (1 T 2 T) | プログラム専門科目 | 心理的アセスメントに関する理論と実践 心理支援に関する理論と実践 心理実践実習 特別研究 I | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 修士論文の執筆に向けての指導を行う。 |
| | 他プログラム等 専門科目 | 児童・生徒理解とその指導 《教職実践開発研究科》 | 教育現場においてスクールカウンセラー業務に従事するにあたり必要な児童・生徒教育について学修する。 |
| M2後学期 (3 T 4 T) | プログラム専門科目 | 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 心の健康教育に関する理論と実践 心理実践実習 特別研究 II | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 修士論文の執筆に向けての指導を行う。 |
| | 他プログラム等 専門科目 | 学校カウンセリングの実践 《教職実践開発研究科》 | 教育現場においてスクールカウンセラー業務に従事するにあたり必要な実践的なカウンセリングについて学修する。 |

学校などの教育現場で活躍する公認心理師

法令で定める公認心理師に必要な科目に加えて、児童・生徒に対する指導についての授業を他プログラム専門科目を学修することで、教育現場のスクールカウンセラーとして、臨床業務の際、スムーズな多職種連携ができる

※上記のカリキュラム・授業科目は構想段階のものであり、最終的に変更となる可能性がある。

| 履修時期 | 科目区分 | 授業科目名（すべて仮） | 履修目的と学修内容 |
|--------------------|-----------------|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| M1前学期 (1 T 2 T) | 全学共通科目 | 研究倫理 データサイエンス | 研究者・高度職業人として最低限身に付けるべき研究倫理を学修する。 研究者・高度職業人として最低限身に付けるべき各種デジタルデータの収集や解析に必要な能力を身につける。 |
| | 研究科共通科目 | 地域づくり特論 心理学特論 | ビッグデータを活用した地域づくりから、都市農村社会やコミュニティビジネスまで、多様な地域づくりを地理空間情報科学から分析する。 現代社会の諸課題と関わる心理学のありかたについて、学修する。 |
| | プログラム専門科目 | 心理学特論Ⅰ 心理学特論演習Ⅰ 福祉分野に関する理論と支援の展開 | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。 |
| M1後学期 (3 T 4 T) | 全学共通科目 | コミュニケーション 科学技術と社会 | 研究者・高度職業人として、研究内容・企画内容を他者に分かりやすく伝えるためのコミュニケーション技術を身に付ける。 科学技術の発展の歴史およびそれによりもたらされた功罪について、学修する。 |
| | 研究科共通科目 | コミュニティビジネス特論 共創実践特論 | 地域住民やNPOが身近な課題解決を行うスモールビジネスについて実践的に学ぶ。 外部講師による実学科目であり、専門以外の広い視野で考えられる能力を養う。 |
| | プログラム専門科目 | 心理学特論Ⅱ 心理学特論演習Ⅱ 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 |
| M2前学期 (1 T 2 T) | プログラム専門科目 | 心理学特論Ⅲ 心理支援に関する理論と実践 特別研究Ⅰ | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 修士論文の執筆に向けての指導を行う。 |
| M2後学期 (3 T 4 T) | プログラム専門科目 | 心理学特論Ⅳ 特別研究Ⅱ | 公認心理師の受験資格を取得するための科目である。また、心理実践実習は、2年間にわたる履修となる。 修士論文の執筆に向けての指導を行う。 |
| | 他プログラム等 専門科目 | 学校カウンセリングの実践 《教職実践開発研究科》 | 教育現場においてスクールカウンセラー業務に従事するにあたり必要な実践的なカウンセリングについて学修する。 |

**基礎心理学を活用し
産業界で活躍する人材**

認知や記憶、社会心理学などを修め、基礎研究と論文作成で培った知識と思考法を活用して企業や自治体などで活躍する。

※上記のカリキュラム・授業科目は構想段階のものであり、最終的に変更となる可能性がある。

※本アンケートの実施時点から、研究科等の名称を変更している。アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係は以下のとおり。
 人文社会芸術総合研究科 → 人文社会芸術総合研究科
 持続可能社会関係課程群 → 持続可能社会創成学環
 文理融合型データサイエンス研究科関係課程 → 社会データサイエンスプログラム
 グローバルSDGs研究科関係課程 → グローバルSDGsプログラム

資料3

富山大学大学院人文社会芸術総合研究科（仮称）及び持続可能社会関係課程群（仮称）の進学に関する調査（富山大学以外の大学に在学する方）

調査の概要

（1）調査の対象

他大学（近隣大学）に在籍する学生

（2）調査の方法

上記対象学生等に、ウェブ上で説明資料の提示・説明動画の上映を行った上で、アンケートへの回答を依頼した。

（3）回答数

回答数：25名

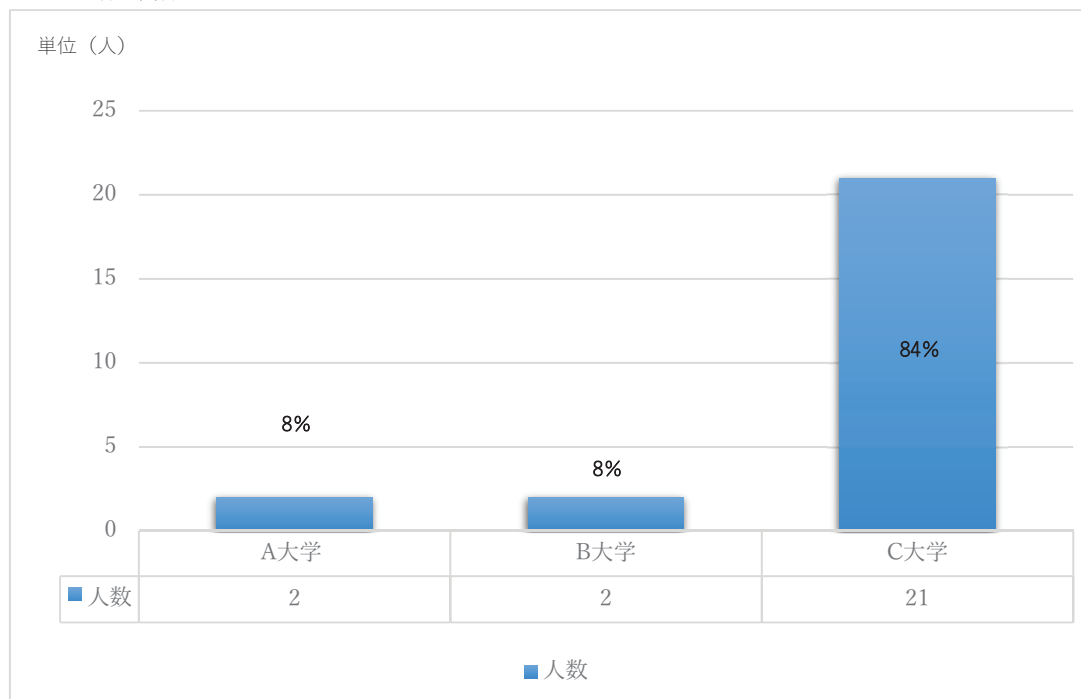
（4）調査期間

令和3年2月24日～3月1日

回答結果

1. あなたが所属する学校名、所属をご記入ください。

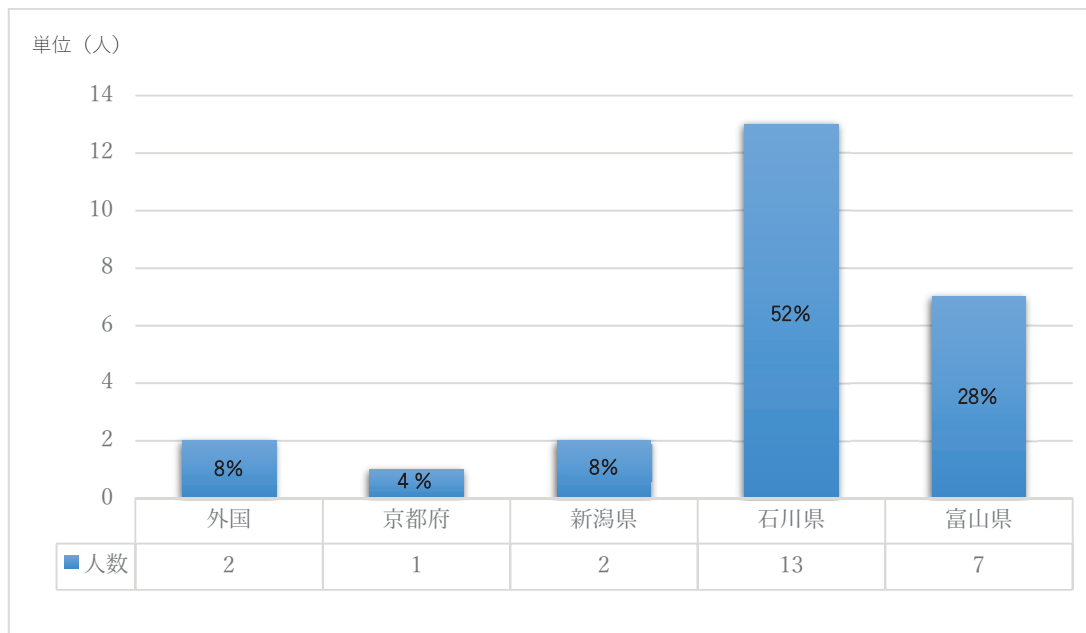
25件の回答



2. 大学進学前に通っていた高校の所在地（都道府県名、海外の場合は国名）

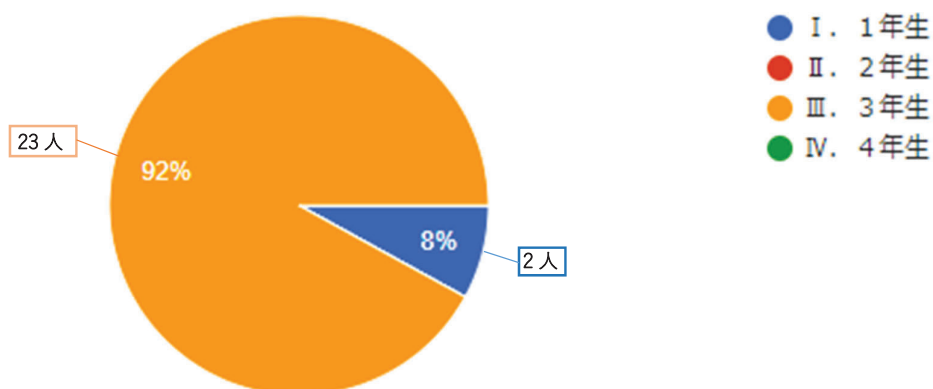
をご記入ください。

25件の回答



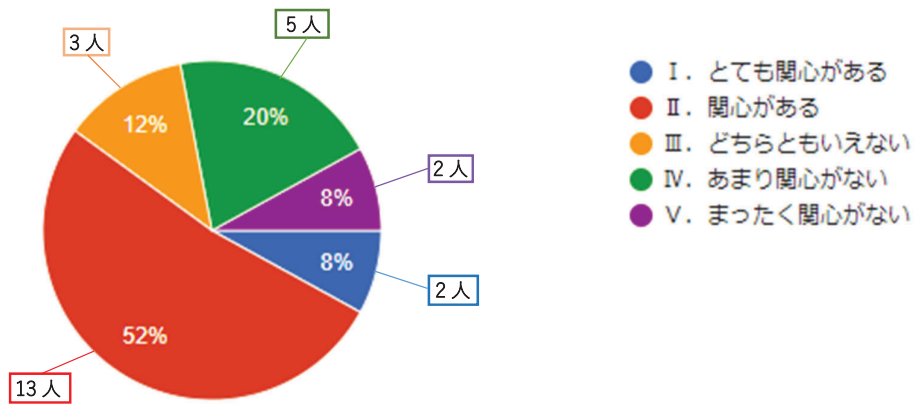
3. あなたの学年を教えてください。

25件の回答



4. 「共創経済プログラム」の構想概要について、あなたはどのように思いますか。

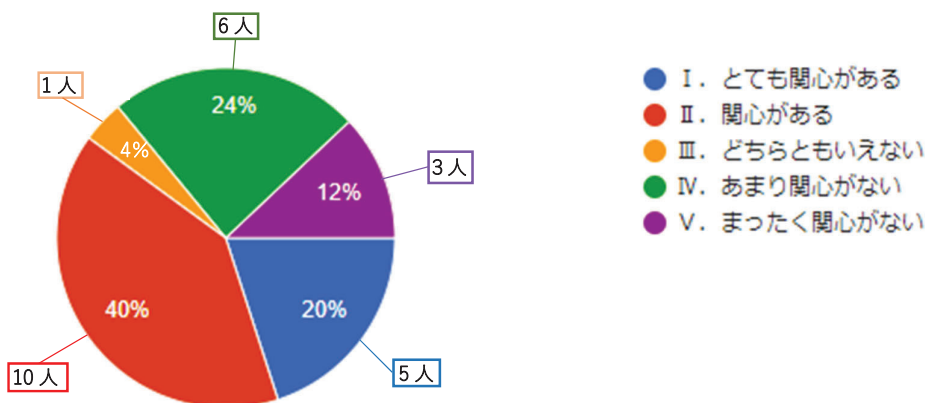
25件の回答



5. 「文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程」の構想概要について、

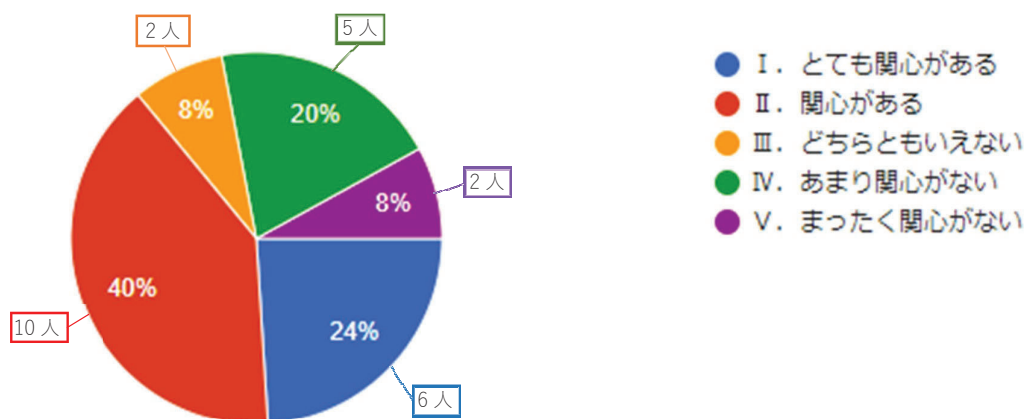
あなたはどのように思いますか。

25件の回答



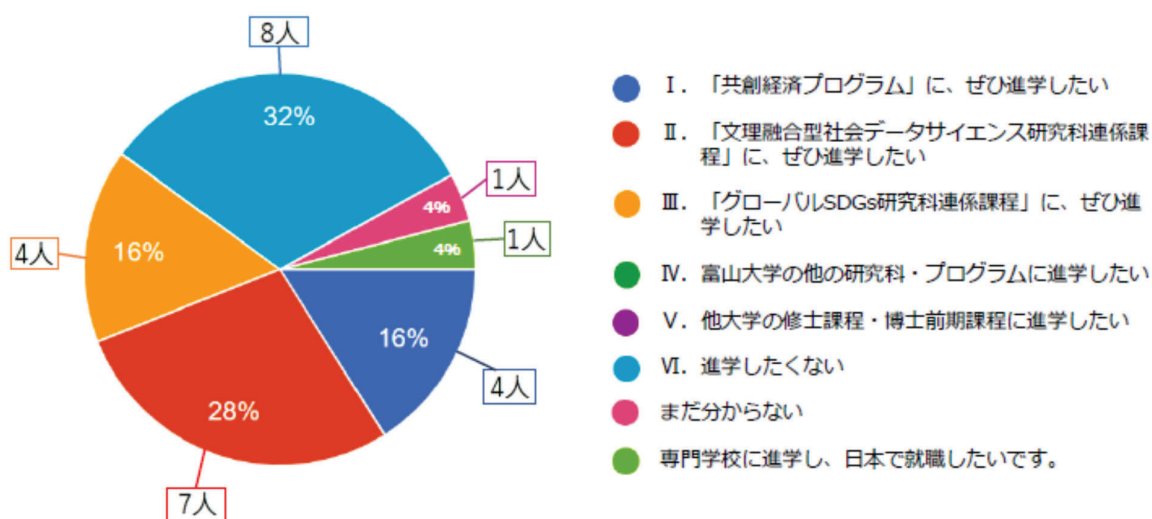
6. 「グローバル SDGs 研究科連係課程」の構想概要について、あなたはどのように思いますか。

25件の回答



7. あなたが、ぜひ進学したいと思うプログラム・連係課程はどれですか。

25件の回答



8. 大学院構想に関するご意見、ご要望等がありましたら自由に記載してく

ださい。

- 共通してできるところあれば合同で何かを試みたい。
- 3つの課程の区別(方針)が少しわかりにくい感じがした。(例えば経済系といても、金融・地方経済などより細かく提示すると分かりやすくてよい。)
- 「文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程」の内容が理系寄りになっている気がするが、文系大学からでもいいのか少し気になる。

富山大学大学院人社芸術総合研究科（仮称）及び持続可能社会関係課程群（仮称）の進学に関する調査（富山大学以外の大学に在学する方）

現在、富山大学では、令和4年（2022年）4月に「大学院人社芸術総合研究科共創経済プログラム（仮称）」及び「持続可能社会関係課程群文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程（仮称）」、「同連携課程群グローバルSDGs研究科関係課程」の設置を構想しております。

このアンケートは、学生の皆様のニーズを把握し、今後の設置準備に役立てるために実施するものですので、是非ともご協力をお願いいたします。

なお、皆様からいただいた回答は統計的に処理し、個別の情報が公表されることはありません。

※構想概要をご覧いただいた上で、アンケートにご回答ください。

*必須

1. あなたが所属する学校名、所属をご記入ください。*

例) ●●大学経済学部経済学科、●●専門学校●●専攻

回答を入力

2. 大学進学前に通っていた高校の所在地（都道府県名、海外の場合は国名）をご記入ください。*

例) 富山県、アメリカ合衆国

回答を入力



3. あなたの学年を教えてください。 *

- I. 1年生
- II. 2年生
- III. 3年生
- IV. 4年生
- その他:

4. 「共創経済プログラム」の構想概要について、あなたはどのように思いますか。 *

- I. とても関心がある
- II. 関心がある
- III. どちらともいえない
- IV. あまり関心がない
- V. まったく関心がない

5. 「文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程」の構想概要について、あなたはどのように思いますか。 *

- I. とても関心がある
- II. 関心がある
- III. どちらともいえない
- IV. あまり関心がない
- V. まったく関心がない



6. 「グローバルSDGs研究科連係課程」の構想概要について、あなたはどのように思いますか。*

- I. とても関心がある
- II. 関心がある
- III. どちらともいえない
- IV. あまり関心がない
- V. まったく関心がない

7. あなたが、ぜひ進学したいと思うプログラム・連携課程はどれですか。*

- I. 「共創経済プログラム」に、ぜひ進学したい
- II. 「文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程」に、ぜひ進学したい
- III. 「グローバルSDGs研究科連係課程」に、ぜひ進学したい
- IV. 富山大学の他の研究科・プログラムに進学したい
- V. 他大学の修士課程・博士前期課程に進学したい
- VI. 進学したくない
- その他:

8. 大学院構想に関するご意見、ご要望等がありましたら自由に記載してください。

回答を入力

送信

Google フォームでバズワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)





人社芸術総合研究科 共創経済プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康に地域振興に寄与する高度専門家養成機関として貢献する

経営領域重視型

地域企業で新規事業を企画するビジネスパーソン。地域企業の国際展開に貢献するビジネスパーソン

融合領域重視型

デザイン経営※により地域企業を活性化させるビジネスパーソン

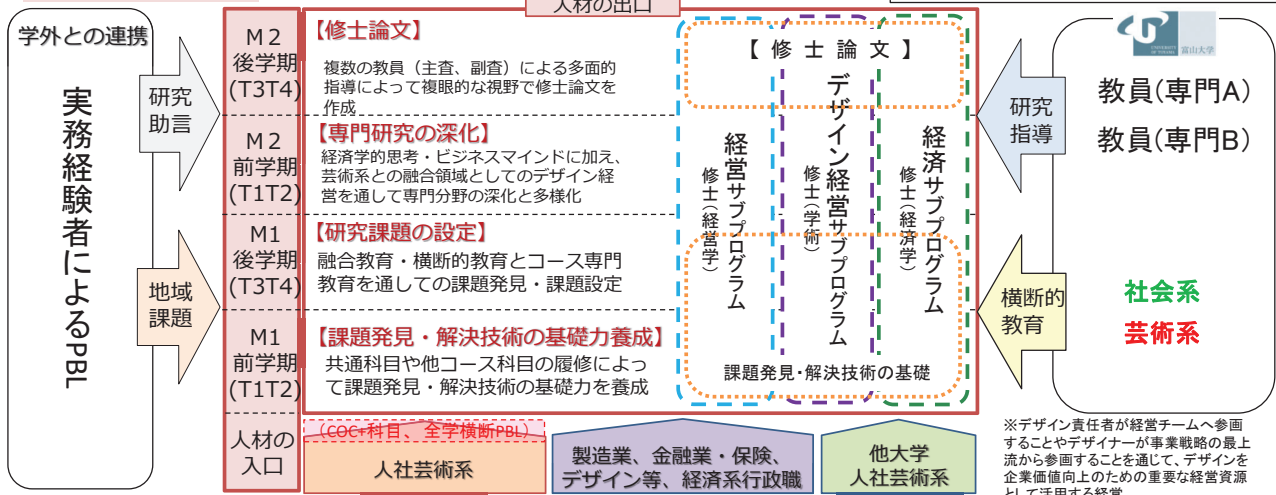
経済領域重視型

地方公共団体に地域振興策を主導する行政担当者

社会・芸術系博士課程へ進学

基本情報

授与学位：修士（経営学、学術、経済学）
募集人員：修士14人
想定進学元：人社芸術系（留学生を含む）
想定就職先：国・地方自治体、製造業、金融・保険業、情報通信業、デザイン等
キーワード：地域連携、リカレント教育対応、長期インターンシップ



学際・融合：経済とデザインで地域社会創生を実現

- プログラムの概要
経済学、経営学、デザイン学などから新たな事業を創出することで地域に貢献できる人材を育成することを目指す。
- プログラムの特色ある教育
 - ・公的セクター（経済学、公法学）と私的セクター（経営学、私法学）を包括したカリキュラム構成
 - ・地域と連携したPBL型授業
 - ・デザイン学と経営学の融合
- 人と地の健康との関連
 - ・企業や市町村と連携した授業を通して地域活性化や街づくりに貢献

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。



人社芸術総合研究科 共創経済プログラム 出口別履修モデル②（経営）

| 履修時期 | 科目区分 | 授業科目名（すべて仮） | 履修目的と学修内容 |
|------------------|-------------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| M1前学期 (T1・T2) | 全学共通科目 | 研究倫理 | 研究者・高度職業人として最低限身につけるべき研究倫理について学修する。 |
| | 研究科共通科目 | 地域づくり特論 | 地域問題に関する基本的知見を習得する。 |
| | プログラム専門科目 | 国際経営特論 マーケティング特論 共創経済特別研究（経営）Ⅰ | 国際経営特論では、日系企業の経営行動について学修する。 マーケティング特論では、企業のマーケティング行動を分析する。 共創経済特別研究（経営）Ⅰでは、経営学に関する修士論文の作成に必要な調査（データ収集等）について指導する。 |
| | 補充履修(学士課程)※ | マーケティング論A | 学部時代に経営学を学ばなかった学生は、学士課程の経営学関連の授業科目を履修し、修士（経営学）に相応しい経営学の根幹を確立する。 |
| M1後学期 (T3・T4) | 全学共通科目 | アート・デザインの役割 | アートやデザイン作品を生み出す思考方法について確認する。 |
| | 研究科共通科目 | 地域共創特別演習（PBL） | PBLを通じて社会的ニーズに応えられる実践的能力を身につける。 |
| | プログラム専門科目 | 多国籍企業特論 国際取引法特論 共創経済特別研究（経営）Ⅱ | 多国籍企業特論では、グローバル競争の現状を分析する。 国際取引法特論では、国際取引にかかる法理論を習得する。 共創経済特別研究（経営）Ⅱでは、経営学に関する修士論文の作成に必要なデータ分析とその考察方法について指導する。 |
| | 補充履修(学士課程)※ | 貿易論A | 学部時代に経営学を学ばなかった学生は、前学期に引き続き学士課程の授業科目を履修し、修士（経営学）に相応しい経営学の根幹を確立する。 |
| M2前学期 (T1・T2) | プログラム専門科目 | 人的資源管理特論 国際民事訴訟法特論 経営組織特論 共創経済特別研究（経営）Ⅲ | 人的資源管理特論では、企業内部の人的資源管理を理論的に検討する。 国際民事訴訟法特論では、海外との訴訟にかかる法理論を習得する。 経営組織特論では、組織論的観点からの経営現象の理解を目指す。 共創経済特別研究（経営）Ⅲでは、経営学に関する修士論文の作成に必要な執筆方法について指導しつつ、期末には内容について中間発表を求める。 |
| | プログラム専門科目 | 管理会計特論 共創経済特別研究（経営）Ⅳ | 管理会計特論では、戦略マネジメントシステムについて学修する。 共創経済特別研究（経営）Ⅳでは、経営学に関する修士論文の作成にあたり、全般的に指導しつつ、期末には内容について発表を求める。 |

地域企業の国際展開に貢献するビジネスパーソン

共創経済プログラムにおいて身につけた日本および海外企業の経営に関する知識や論理的な文書作成能力によって、地域企業（日本企業）の海外展開に貢献・参画できる。

※隣接分野からの入学者に対し、通常の大学院におけるカリキュラムに加えて、接続関係にある学士課程の授業科目を履修させることで、知識等を補完する。
※上記のカリキュラム・授業科目は構想段階のものであり、最終的に変更となる可能性がある。

富山大学における授業料その他の費用に関する規則

平成17年10月1日制定 平成18年4月1日改正
 平成18年9月21日改正 平成19年4月1日改正
 平成20年4月1日改正 平成21年4月1日改正
 平成22年4月1日改正 平成27年4月1日改正
 平成29年7月11日改正 令和元年9月24日改正
 令和2年3月24日改正 令和2年7月1日改正

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人富山大学（以下「本学」という。）における授業料その他の費用に関し、他の規則に別段の定めのあるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(授業料，入学料及び検定料の額)

第2条 本学において徴収する授業料（幼稚園にあつては、保育料。以下同じ。）の年額，入学料（幼稚園にあつては、入園料。以下同じ。）及び入学等に係る検定料は、次の表のとおりとする。

| 区分 | | 授業料（年額） | 入学料 | 検定料 |
|-------------------|------------------|---------------|----------|---------|
| 大学の学部 | | 535,800円 | 282,000円 | 17,000円 |
| 大学の夜間において授業を行う学部 | | 267,900円 | 141,000円 | 10,000円 |
| 大学院の研究科及び教育部 | | 535,800円 | 282,000円 | 30,000円 |
| 転入学 編入学 再入学 | 大学の学部 | 535,800円 | 282,000円 | 30,000円 |
| | 大学院の研究科及び教育部 | | | |
| | 大学の夜間において授業を行う学部 | 267,900円 | 141,000円 | 18,000円 |
| 研究生 | | (月額) 29,700円 | 84,600円 | 9,800円 |
| 科目等履修生 | | (1単位) 14,800円 | 28,200円 | 9,800円 |
| 特別聴講学生 | | (1単位) 14,800円 | — | — |
| 特別研究学生 | | (月額) 29,700円 | — | — |
| 幼稚園 | | 73,200円 | 31,300円 | 1,600円 |
| 特別支援学校の高等部 | | 4,800円 | 2,000円 | 2,500円 |

- 2 本学に附属して設置される小学校，中学校並びに特別支援学校の小学部及び中学部の入学料は，これを徴収しないものとする。
- 3 小学校及び中学校並びに特別支援学校の小学部及び中学部において，入学を許可するための試験，健康診断，書面その他による選考等を行った場合に徴収する検定料の額は，次の表のとおりとする。

| 区分 | 検定料 |
|------------|--------|
| 小学校 | 3,300円 |
| 中学校 | 5,000円 |
| 特別支援学校の小学部 | 1,000円 |
| 特別支援学校の中学部 | 1,500円 |

- 4 大学の学部において、出願書類等による選抜（学校推薦型選抜及び総合型選抜等において第1次選考として書類審査等を行う場合を含む。以下「第1段階選抜」という。）を行い、その合格者に限り学力検査その他による選抜（以下「第2段階選抜」という。）を行う場合及び個別学力検査出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願資格のない者（以下「個別学力検査出願無資格者」という。）であることが判明した場合の検定料は、第1項の規定にかかわらず、次の表の学部等の区分に応じ、第1段階選抜及び個別学力検査出願無資格者にあつては同表の中欄に掲げる額を、第2段階選抜にあつては同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

| 区分 | 第1段階選抜 | 第2段階選抜 |
|------------------|--------------|---------|
| | 個別学力検査出願無資格者 | |
| 大学の学部 | 4,000円 | 13,000円 |
| 大学の夜間において授業を行う学部 | 2,200円 | 7,800円 |

- 5 幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校において、抽選による選考等を行い、その合格者に限り試験、健康診断、書面その他による選考等（以下この項において「試験等」という。）を行う場合に係る検定料は、第1項及び第3項の規定にかかわらず、次の表の学校等の区分に応じ、抽選による選考等にあつては、同表の中欄に掲げる額を、試験等にあつては、同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

| 区分 | 抽選による選考等 | 試験等 |
|------------|----------|--------|
| 幼稚園 | 700円 | 900円 |
| 小学校 | 1,100円 | 2,200円 |
| 中学校 | 1,300円 | 3,700円 |
| 特別支援学校の小学部 | 500円 | 500円 |
| 特別支援学校の中学部 | 600円 | 900円 |
| 特別支援学校の高等部 | 700円 | 1,800円 |

- 6 幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校の転入学に係る入学料及び検定料は、次の表のとおりとする。

| 区分 | 入学料 | 検定料 |
|------------|---------|--------|
| 幼稚園 | 31,300円 | 1,600円 |
| 小学校 | — | 3,300円 |
| 中学校 | — | 5,000円 |
| 特別支援学校の小学部 | — | 1,000円 |
| 特別支援学校の中学部 | — | 1,500円 |
| 特別支援学校の高等部 | 2,000円 | 2,500円 |

（長期履修に係る授業料）

第3条 学則第62条に規定する修業年限及び大学院学則第25条に規定する標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して卒業又は修了することを認められた者から徴収する授業料の年額は、当該在学を認められた期間（以下「長期履修期間」という。）に限り、前条第1項に規定する授業料の年額に修業年限又は標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を長期履修期間の年数で除した額（その額に十円未満の端数があるときは、これを切り上げるものとする。）とする。

2 学部及び大学院研究科（教育部を含む。以下同じ。）において長期履修期間を短縮する変更が認められた場合の授業料の額は、初年度から変更後の長期履修期間により前項の規定に従い算出した額とし、変更前の授業料の額との差額については、長期履修期間を変更した最初の学期にそれを徴収する。

3 学部及び大学院研究科において長期履修期間の延長が認められた場合の授業料の額は、変更後の長期履修期間により第1項の規定に従い算出した額とし、既に履修した期間の授業料の額との差額については、その調整は行わない。

4 長期履修期間を超えてなお在学する者の授業料の額は、前条第1項に定める額とする。
（授業料の徴収方法等）

第4条 各年度に係る授業料の徴収は、当該年度において、学期その他の期間に区分して行うことを原則とする。ただし、学生又は生徒等の申出があったときは、一括して徴収することができる。

2 前項の規定にかかわらず、入学年度に係る授業料について、入学を許可される者の申出があったときは、入学年度の前年度において入学を許可するときにその一部又は全部を徴収することができる。

第5条 当該年度における在学期間が12月に満たない者の授業料は、授業料の年額の12分の1に相当する額に在学する月数（1月未満の端数があるときは、これを1月とする。）を乗じて得た額を徴収することを原則とする。

（入学料の徴収方法）

第6条 入学料は、入学を許可するときに徴収することを原則とする。

（検定料の徴収方法）

第7条 検定料は、入学、転入学、編入学又は再入学の出願（第2条第3項、第4項及び第5項に規定する場合を含む。）を受理するときに徴収することを原則とする。

（寄宿料の額等）

第8条 寄宿料の月額は、次の表の区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

| 区分 | | 寄宿料（月額） |
|----------|---------------|---------|
| 新樹寮 | S I | 13,000円 |
| | S II | 18,000円 |
| | D I | 23,000円 |
| 五福国際交流会館 | 単身室 | 5,900円 |
| | 夫婦室 | 9,500円 |
| | 家族室 | 14,200円 |
| 杉谷国際交流会館 | A室 世帯用（60㎡以上） | 14,200円 |

| | | |
|--|-----------------|---------|
| | B室 世帯用 (50~60㎡) | 11,900円 |
| | C室 単身用 (25㎡以上) | 5,900円 |

備考：新樹寮は、上記寄宿料のほか、維持管理費（共益費）月額2,000円を徴収する。

2 寄宿料は、寄宿舎に入居した日の属する月から退居する日の属する月まで、毎月その月の分を徴収することを原則とする。ただし、休業期間中の分は、休業期間前に徴収するものとする。

3 前項の規定にかかわらず、学生の申出又は承諾があったときは、その申出又は承諾があった月分の寄宿料を併せて徴収することができる。

第8条の2 前条の規定にかかわらず、寄宿料は、次の表の区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる額に、入居した日から退去する日までの日数を乗じた額とすることができる。

| | 区分 | 寄宿料（日額） |
|-----|------|---------|
| 新樹寮 | S I | 900円 |
| | S II | 1,000円 |

2 寄宿料は、入居する日までに徴収することを原則とする。

（経済的負担の軽減のための措置）

第9条 本学は、学部及び大学院研究科の学生で経済的理由によって納付が困難であると認められる者その他のやむを得ない事情があると認められる者に対し、授業料、入学料又は寄宿料の全部若しくは一部の免除又は徴収の猶予その他の経済的負担の軽減を図るために必要な措置を講ずるものとする。

（研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び特別研究学生の授業料の徴収方法）

第10条 研究生及び科目等履修生に係る授業料の徴収方法は、別に定める。

2 特別研究学生又は特別聴講学生に係る授業料の徴収方法は、研究生又は科目等履修生と同様とする。

（免許状更新講習に係る受講料の額及び徴収方法）

第11条 教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第9条の3の規定に基づき、本学が開設する免許状更新講習に係る受講料は、1時間につき1,000円とし、受講申請を受理するときに徴収するものとする。

（学位論文審査手数料の額及び徴収方法）

第12条 学位論文審査手数料は1件について58,055円とし、学位授与の申請を受理するときに徴収するものとする。

2 本学大学院の博士課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、退学後1年以内に博士論文を提出した場合は、学位論文審査手数料を免除する。

（授業料免除等の取扱い）

第13条 授業料の免除の許可を受けた者について、免除の理由が消滅したことによりその免除を取り消した場合は、免除した前期及び後期の授業料の額を当該前期及び後期の月数で除して得た額に取り消しの日の属する月からその期の終わりの月までの月数を乗じて得た額を、取り消しの日の属する月に徴収するものとする。ただし、不正の事実の発見により取り消した場合にあっては、取り消しの日の属する月に、免除した前期又は後期の授業料の全額を徴収するものとする。

2 授業料の徴収猶予の許可を受けた者から授業料を徴収する時期は、徴収猶予の期間が満了する日の属する月とする。ただし、徴収猶予の理由が消滅したときは、その消滅した日の属する月に徴収するものとする。

- 3 月割分納による授業料の徴収猶予の許可を受けた者からは、毎月その月の分を徴収するものとする。ただし、休業期間中の分は、休業期間の開始前に徴収するものとする。
- 4 授業料の徴収猶予（月割分納による徴収猶予を含む。）の許可を受けた者が退学をする場合は、その期において徴収するものとしている額を、退学の許可をするときに徴収するものとする。
- 5 前4項に規定するもののほか、授業料等の免除又は徴収猶予の実施について必要な事項は、別に定める。

（授業料等の不徴収）

第14条 本学大学院研究科の修士課程を修了し、引き続き本学大学院教育部の博士課程に進学する者については、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 2 大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第28条並びに大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第13条及び第15条の規定に基づく措置により、本学において授業科目を履修する者（以下「特別聴講学生」という。）又は研究指導を受ける者（以下「特別研究学生」という。）に係る入学料及び検定料は、徴収しないものとする。また、授業料については、特別聴講学生又は特別研究学生が公立大学又は私立大学の学生であるときは、第2条で定める額を徴収し、国立大学法人法（平成15年法律第112号）に定める国立大学の学生であるときは徴収しないものとする。

- 3 大学間相互単位互換協定に基づく特別聴講学生に係る入学料及び検定料は、徴収しないものとする。また、次の基準を満たす場合は授業料を徴収しないものとする。

- (1) 協定を締結する大学の学生が、相互にそれぞれ相手大学の授業科目を履修し、単位を修得することを認める協定であること。

- (2) 締結する協定又はその付属書において、授業料が相互に不徴収とされていること。

- (3) 締結する協定又はその付属書において、有効期間が記載されていること。

- 4 大学間特別研究学生交流協定に基づく特別研究学生に係る、入学料及び検定料は徴収しないものとする。また、次の基準を満たす場合は授業料を徴収しないものとする。

- (1) 協定を締結する大学の大学院学生が、相互に当該他の大学院等において研究指導を受けることを認める協定であること。

- (2) 締結する協定又はその付属書において、授業料が相互に不徴収とされていること及び有効期間が記載されていること。

- 5 相互に検定料及び入学料を不徴収とする大学間協定を締結した国立大学法人が設置する大学の大学院から本学の大学院に転入学を志願する者にあつては、検定料及び入学料を徴収しないものとする。

- 6 産業教育振興法に基づく内地留学生及び科学教育研究室の研究生等別途実施要項等による者については、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

（外国人留学生）

第15条 大学間交流協定、学部間交流協定及びこれらに準ずるものに基づき受け入れる外国人留学生については、締結する協定書又はその付属書において、授業料、入学料及び検定料が相互に不徴収とされている場合は、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 2 国費外国人留学生については、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 3 前2項に掲げるもののほか、外国人留学生については、第2条から第10条まで、第12

条から第 14 条までの規定を適用する。

(証明書の発行手数料の額及び徴収方法)

第16条 本学を卒業した者、修了した者、退学した者、除籍された者又は研究生、科目等履修生、特別聴講学生若しくは特別研究学生であった者が、本学が指定した証明書交付願により交付申請する場合は、証明書 1 通当り 500 円の手数料を徴収するものとする。

2 前項の手数料は、交付申請を受理するときに徴収するものとする。

3 第 1 項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当する場合は、手数料を徴収しないものとする。

(1) 本学の学生（研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び特別研究学生を含む。）が申請する場合

(2) 附属学校に係る証明書を申請する場合

(3) 卒業、修了、退学又は除籍の日の属する月に申請する場合

(4) 外国に居住又は滞在している者が外国から直接申請する場合

(納付した授業料等)

第17条 納付した検定料、入学料、授業料、寄宿料、受講料及び証明書の発行手数料（以下「授業料等」という。）は還付しない。ただし、次の各号の一に該当する場合には、納付した者の申出により当該各号に定める額を還付する。

(1) 本学の入学者選抜において、出願書類等による第 1 段階目の選抜を行い、その合格者に限り学力検査その他による第 2 段階目の選抜を行う場合に、検定料を納付した者が、第 1 段階目の選抜で不合格となったとき及び個別学力検査出願無資格者であることが判明した場合 第 2 条第 4 項の選抜に係る検定料相当額

(2) 入学を許可されるときに授業料を納付した者が、入学年度の前年度の 3 月 31 日までに入学を辞退した場合 当該授業料相当額

(3) 前期分授業料徴収の際、後期分授業料を併せて納付した者が、9 月末までに退学を許可された場合 後期分の授業料相当額

(4) 前期分授業料徴収の際、後期分授業料を併せて納付した者が、10 月末までに休学を許可され、又は命じられた場合 後期分の授業料から後期の在籍月数分を差引いた残月数分の授業料相当額

(5) 研究生が、在学期間の中で退学した場合 納付された授業料から在学月数分を差引いた残月数分の授業料相当額

(6) 免許状更新講習の開講を本学の事由により取りやめた場合 当該免許状更新講習の受講料

(7) その他学長が、授業料等を返還するのが相当であると認めた場合 当該授業料等相当額

附 則

1 この規則は、平成 17 年 10 月 1 日から施行する。

2 平成 10 年度以前入学生の授業料の額については、第 2 条の規定にかかわらず、次の表のとおりとする。

| 区分 | 入学年度 | 授業料（年額） |
|----|------|---------|
|----|------|---------|

| | | |
|------------------|-------------|----------|
| 大学の学部 | 平成7・8年度入学生 | 447,600円 |
| | 平成9・10年度入学生 | 469,200円 |
| 大学の夜間において授業を行う学部 | 平成9・10年度入学生 | 234,600円 |
| 大学院学生 | 平成9・10年度入学生 | 469,200円 |

- 3 第10条の規定にかかわらず、高岡キャンパスにおいて平成18年3月31日まで実施する公開講座の講習料及び公開授業の受講料については、1時間につき420円とする。

附 則

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第14条第5項の規定は、平成18年度の転入学者から適用する。
- 2 この規則の施行前に認められた長期履修にかかる授業料の算出については、第3条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成18年9月21日から施行し、平成18年9月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の日前に、新樹寮に入寮している者で、この規則の施行後に引き続き新樹寮に入寮する者の寄宿料の額は、改正後の第8条第1項の規定にかかわらず、平成24年3月31日までの間、月額700円とする。ただし、当該期間中に入寮生の申請により、改修後の居室に移動した場合は、改正後の第8条第1項の規定による。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年7月1日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

※本アンケートの実施時点から、研究科等の名称を変更している。アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係は以下のとおり。

◆アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係

| | | | |
|----------------------|-------------------|------------------|------------------|
| 人社会術総合研究科 | → 人文社会芸術総合研究科 | 医薬理工関係課程群 | → 医薬理工学環 |
| 持続可能社会関係課程群 | → 持続可能社会創成学環 | 創薬・製剤工学研究科関係課程 | → 創薬・製剤工学プログラム |
| 文理融合型データサイエンス研究科関係課程 | → 社会データサイエンスプログラム | 応用和漢医学研究科関係課程 | → 応用和漢医学プログラム |
| グローバルSDGs研究科関係課程 | → グローバルSDGsプログラム | 認知・情動脳科学研究科関係課程 | → 認知・情動脳科学プログラム |
| | | メディカルデザイン研究科関係課程 | → メディカルデザインプログラム |

企業等を対象とした富山大学大学院修士課程（主に文系大学院）に関するアンケート結果

1. 調査の概要

(1) 調査の対象

平成29年度～令和元年度に人社会術系学部・大学院を卒業・修了した者を3名以上採用した企業等 143社・機関

(2) 調査の方法

上記対象企業等に、質問及び構想に関する資料を送付し、インターネットを通じて回答を得た。

(3) 回答数・回答率

回答数：28社・機関 回答率：19.6%

(4) 調査期間

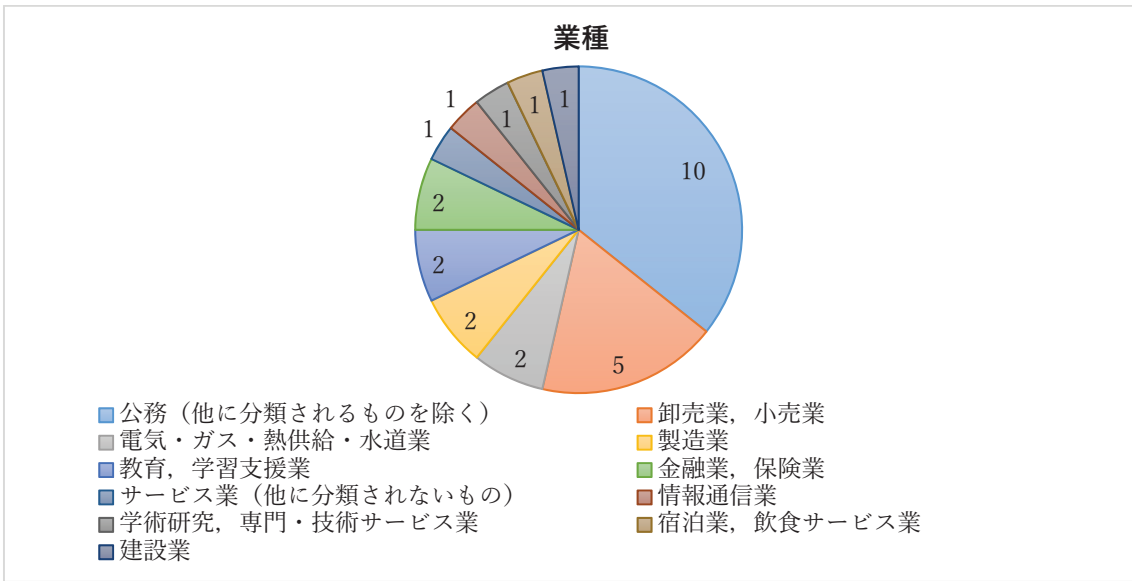
令和3年1月29日～2月17日

2. 調査結果

問1. 会社等の概要

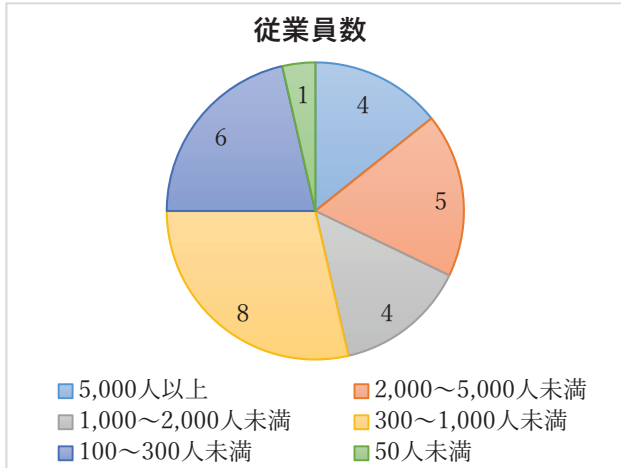
(1) 貴社・貴機関の属する業種について、次の中から該当するものを選択してください(主たるものを1つ)。

| 業種 | 回答数 |
|-------------------|-----|
| 公務（他に分類されるものを除く） | 10 |
| 卸売業，小売業 | 5 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 2 |
| 製造業 | 2 |
| 教育，学習支援業 | 2 |
| 金融業，保険業 | 2 |
| サービス業（他に分類されないもの） | 1 |
| 情報通信業 | 1 |
| 学術研究，専門・技術サービス業 | 1 |
| 宿泊業，飲食サービス業 | 1 |
| 建設業 | 1 |
| 総計 | 28 |



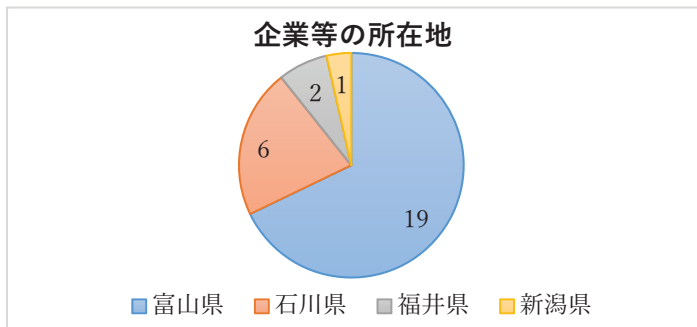
(2) 貴社・貴機関の従業員数について、該当するものを選択してください。

| 従業員数 | 回答数 |
|----------------|-----|
| 5,000人以上 | 4 |
| 2,000～5,000人未満 | 5 |
| 1,000～2,000人未満 | 4 |
| 300～1,000人未満 | 8 |
| 100～300人未満 | 6 |
| 50～100人未満 | 0 |
| 50人未満 | 1 |
| 合計 | 28 |



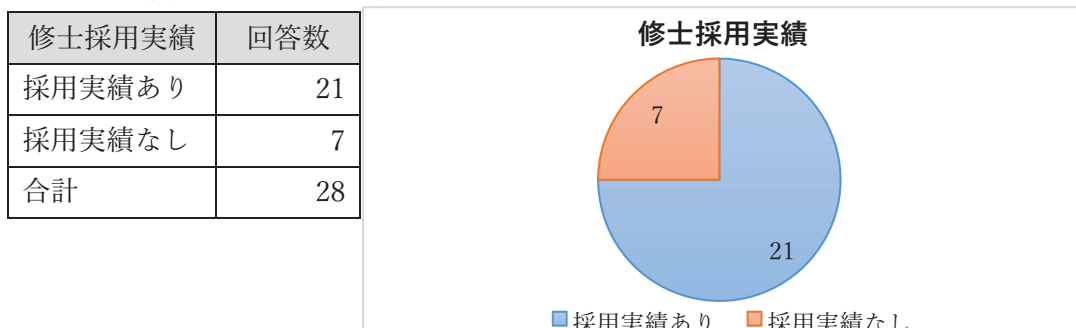
(3) 貴社・貴機関の所在地を都道府県で記載してください。貴社・貴機関が事業所ごとの採用を行っており、事業所において本調査に回答される場合は、当該事業所の所在地を都道府県で記載してください。

| 所在地 | 回答数 |
|-----|-----|
| 富山県 | 19 |
| 石川県 | 6 |
| 福井県 | 2 |
| 新潟県 | 1 |
| 合計 | 28 |



問2. 大学院修士課程修了者に求める能力

(1) 貴社・貴機関において文系又は文理融合系の大学院修士課程を修了者の採用実績はありますか。該当するものを選択してください。

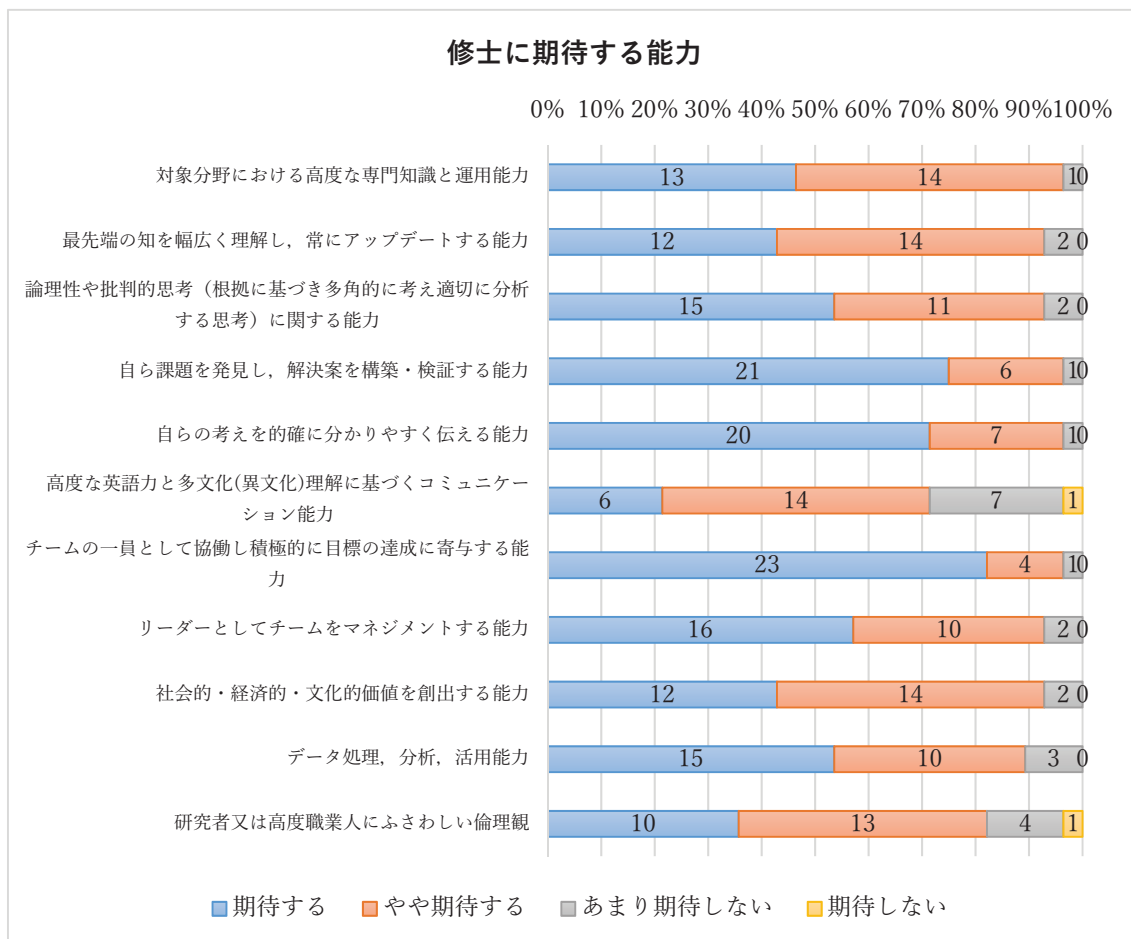


(2) 貴社・貴機関が文系又は文理融合系の大学院修士課程を修了した社員を採用する場合に、どのような能力を期待しますか。各能力について該当する回答を選択してください。

| | 期待する | やや期待する | あまり期待しない | 期待しない | 合計 |
|----------------------------------------|------|--------|----------|-------|----|
| 対象分野における高度な専門知識と運用能力 | 13 | 14 | 1 | 0 | 28 |
| 最先端の知を幅広く理解し、常にアップデートする能力 | 12 | 14 | 2 | 0 | 28 |
| 論理性や批判的思考（根拠に基づき多角的に考え適切に分析する思考）に関する能力 | 15 | 11 | 2 | 0 | 28 |
| 自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力 | 21 | 6 | 1 | 0 | 28 |
| 自らの考えを的確に分かりやすく伝える能力 | 20 | 7 | 1 | 0 | 28 |
| 高度な英語力と多文化(異文化)理解に基づくコミュニケーション能力 | 6 | 14 | 7 | 1 | 28 |
| チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力 | 23 | 4 | 1 | 0 | 28 |
| リーダーとしてチームをマネジメントする能力 | 16 | 10 | 2 | 0 | 28 |
| 社会的・経済的・文化的価値を創出する能力 | 12 | 14 | 2 | 0 | 28 |
| データ処理, 分析, 活用能力 | 15 | 10 | 3 | 0 | 28 |
| 研究者又は高度職業人にふさわしい倫理観 | 10 | 13 | 4 | 1 | 28 |

その他の回答

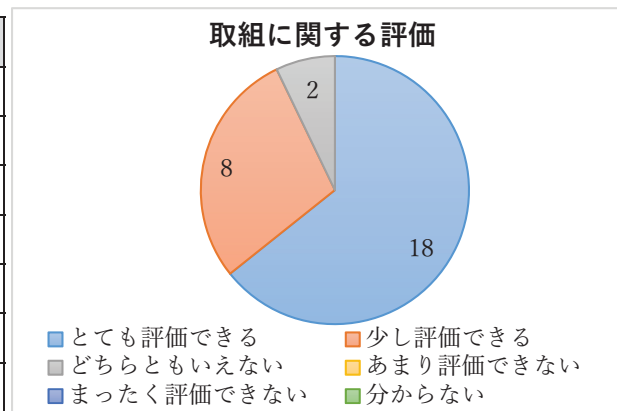
- ・ 専門分野以外の基礎学力（高3レベル）
- ・ 税理士試験免除制度
- ・ チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力
- ・ 市の職員として、地域の振興や市民サービスの工場に向け、熱意を持って行動できる人



問3. 本学大学院の改革構想

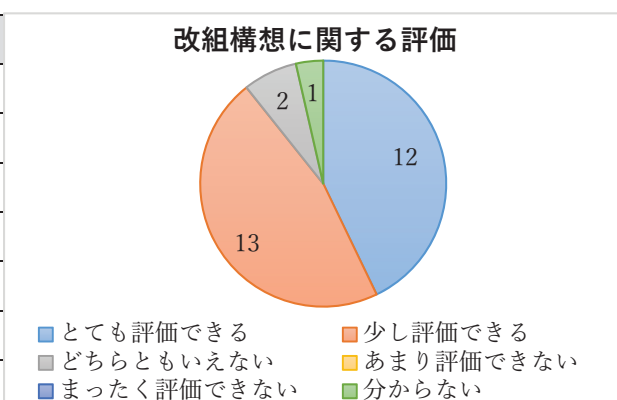
(1) 人社芸術研究科の新たな取組のうち、現実の課題をテーマとし、課題解決を通じて、実践的能力を養う「地域共創特別演習」について、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

| 評価 | 回答数 |
|------------|-----|
| とても評価できる | 18 |
| 少し評価できる | 8 |
| どちらともいえない | 2 |
| あまり評価できない | 0 |
| まったく評価できない | 0 |
| 分からない | 0 |
| 合計 | 28 |



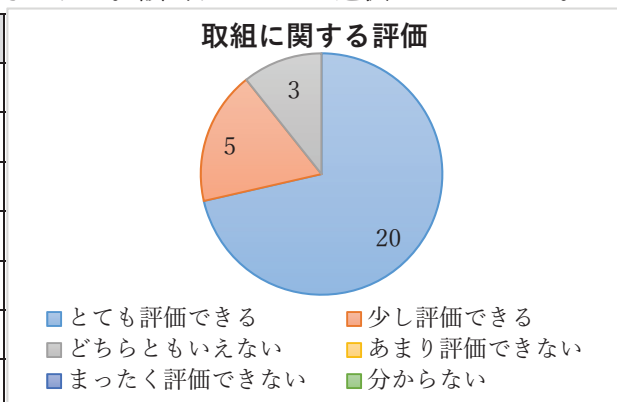
(2) 大学院人社芸術総合研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

| 評価 | 回答数 |
|------------|-----|
| とても評価できる | 12 |
| 少し評価できる | 13 |
| どちらともいえない | 2 |
| あまり評価できない | 0 |
| まったく評価できない | 0 |
| 分からない | 1 |
| 合計 | 28 |

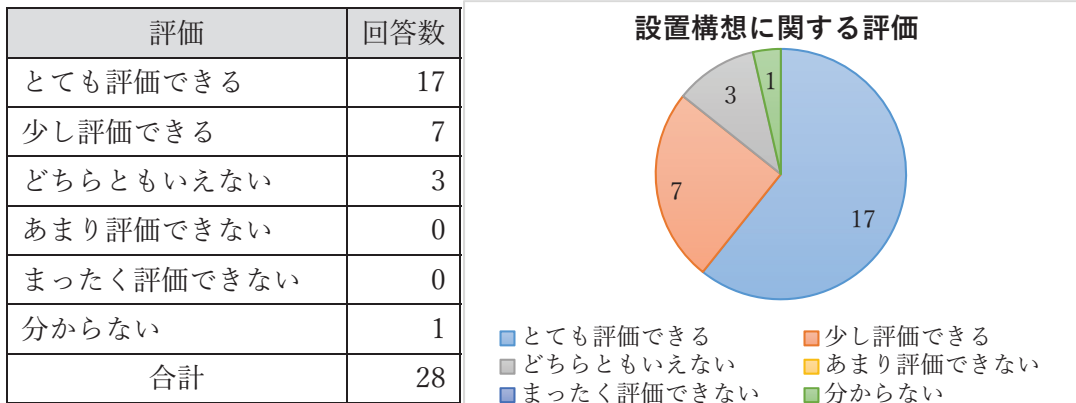


(3) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程において、地域の自治体や企業が有するオープンデータを活用し、発見した地域課題を修士論文のテーマとして問題解決を行うことについて、評価できますか。該当するものを選択してください。

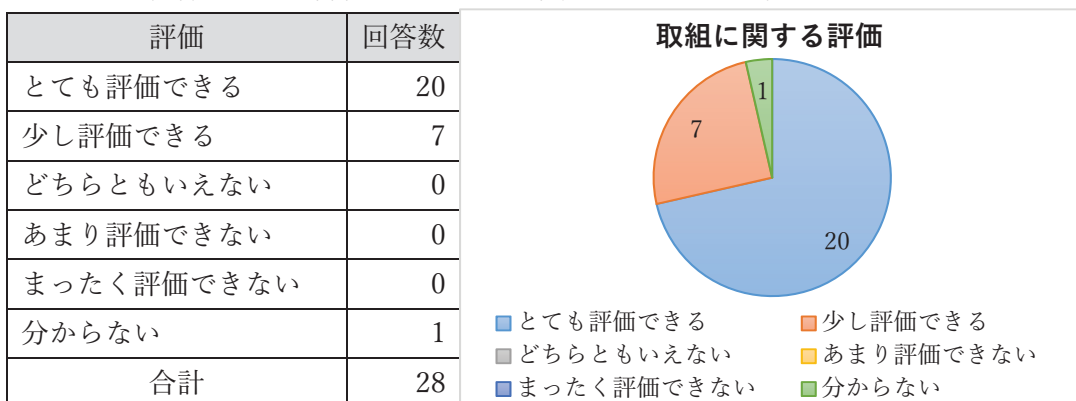
| 評価 | 回答数 |
|------------|-----|
| とても評価できる | 20 |
| 少し評価できる | 5 |
| どちらともいえない | 3 |
| あまり評価できない | 0 |
| まったく評価できない | 0 |
| 分からない | 0 |
| 合計 | 28 |



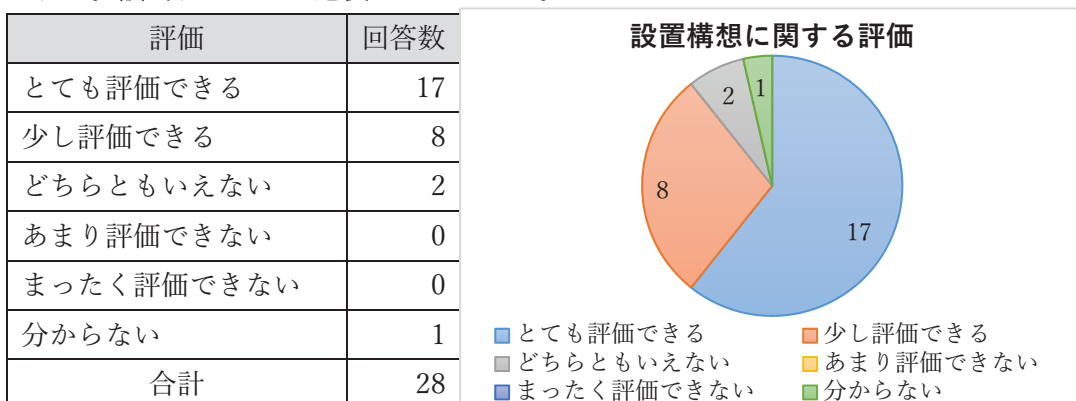
(4) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。



(5) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程において、国際的な広い観点から SDGs を学び、研究分野横断的なアプローチによって問題解決能力を身につけた人材の育成を目的とする教育について評価できますか。該当するものを選択してください。

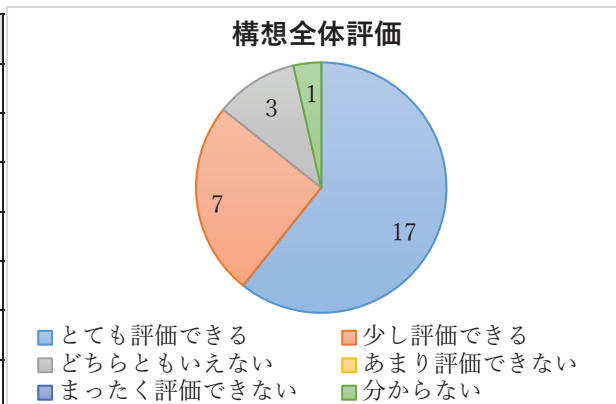


(6) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。



(7) 全体的な富山大学の大学院改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

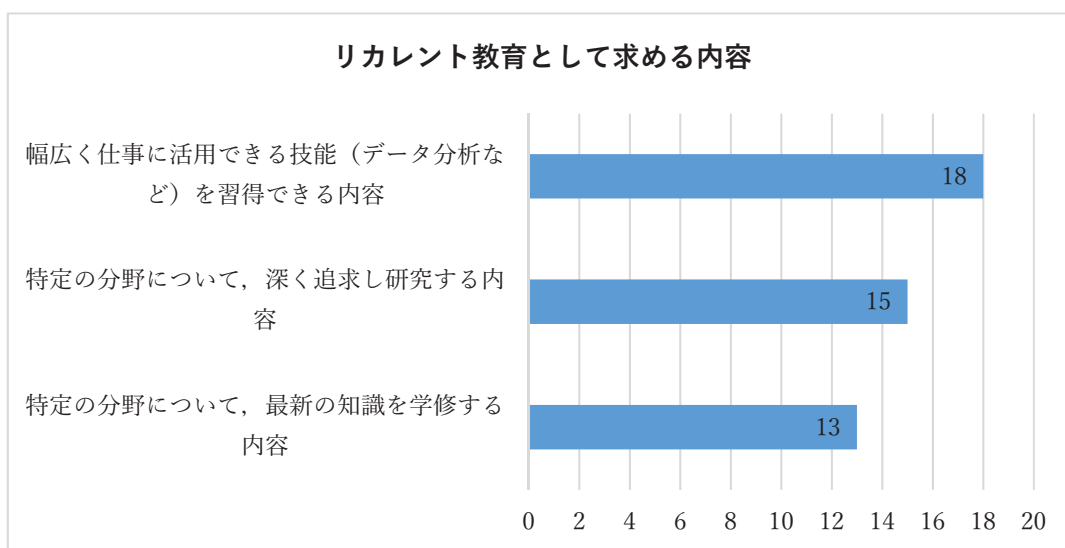
| 評価 | 回答数 |
|------------|-----|
| とても評価できる | 17 |
| 少し評価できる | 7 |
| どちらともいえない | 3 |
| あまり評価できない | 0 |
| まったく評価できない | 0 |
| 分からない | 1 |
| 合計 | 28 |



問4. 社会人に対するリカレント教育

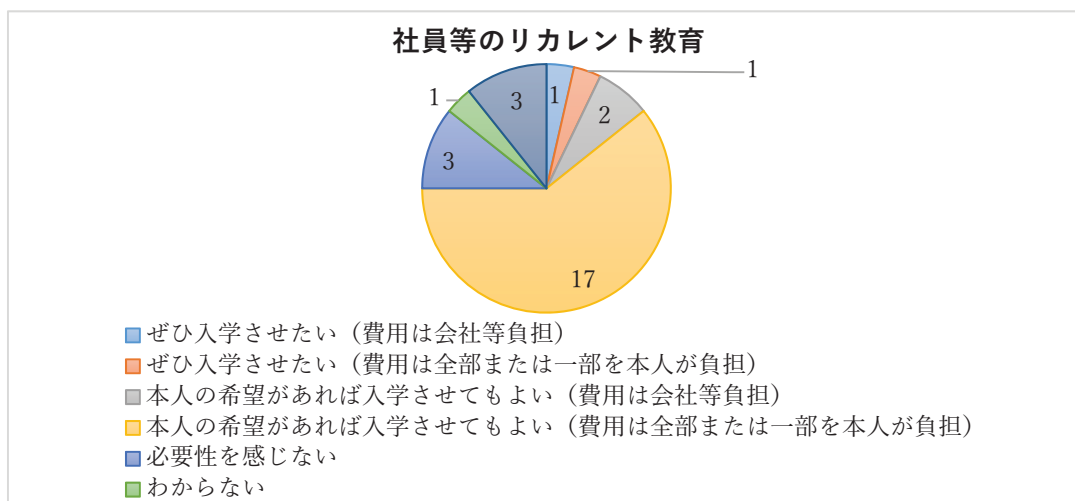
(1) 大学院修士課程レベルのリカレント教育として、大学にどのような内容を求めますか。該当するものを選択してください。【複数選択可】

| リカレント教育として求める内容 | 回答数 |
|--------------------------------------------------|-----|
| 特定の分野について、最新の知識を学修する内容 | 13 |
| 特定の分野について、深く追求し研究する内容 | 15 |
| 幅広く仕事に活用できる技能（データ分析など）を習得できる内容 | 18 |
| 地域や会社の問題解決など、実際の課題をテーマに、大学教員の指導・助言を得ながら解決に取り組む内容 | 17 |
| 合計 | 63 |



(2) リカレント教育の一環として、貴社・貴機関の社員等を大学院に入学させたいですか。該当するものを選択してください。

| 社員等のリカレント教育 | 回答数 |
|-------------------------------------|-----|
| ぜひ入学させたい（費用は会社等負担） | 1 |
| ぜひ入学させたい（費用は全部または一部を本人が負担） | 1 |
| 本人の希望があれば入学させてもよい（費用は会社等負担） | 2 |
| 本人の希望があれば入学させてもよい（費用は全部または一部を本人が負担） | 17 |
| 必要性を感じない | 3 |
| わからない | 1 |
| その他 | 3 |
| 合計 | 28 |

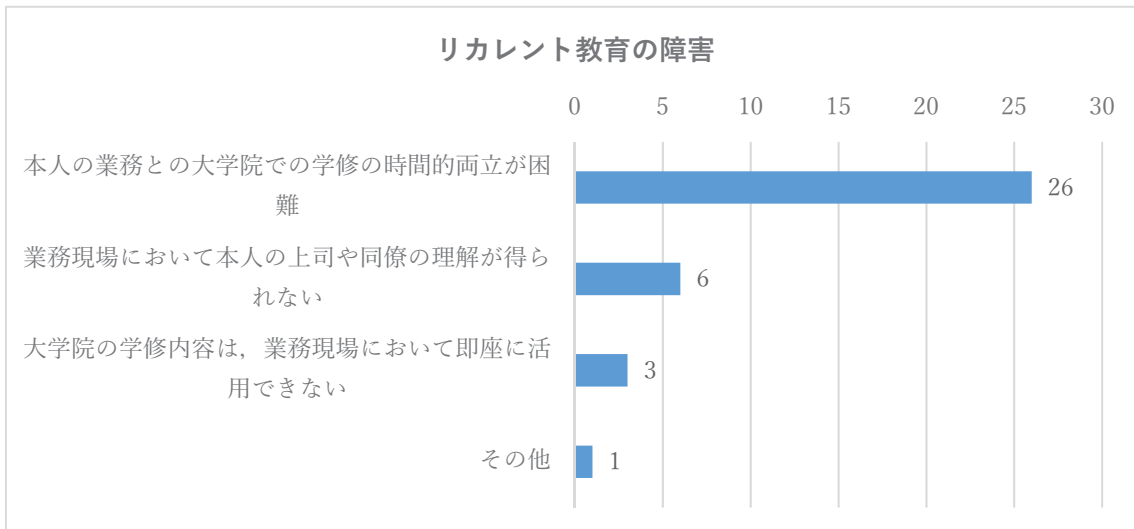


(3) 貴社・貴機関にとって、社員等がリカレント教育目的で大学院に入学することに関して何が障害と考えられますか。該当するものを選択してください。【複数選択可】

| リカレント教育の障害 | 回答数 |
|-----------------------------|-----|
| 本人の業務との大学院での学修の時間的両立が困難 | 26 |
| 業務現場において本人の上司や同僚の理解が得られない | 6 |
| 大学院の学修内容は、業務現場において即座に活用できない | 3 |
| その他 | 1 |
| 合計 | 36 |

その他の回答

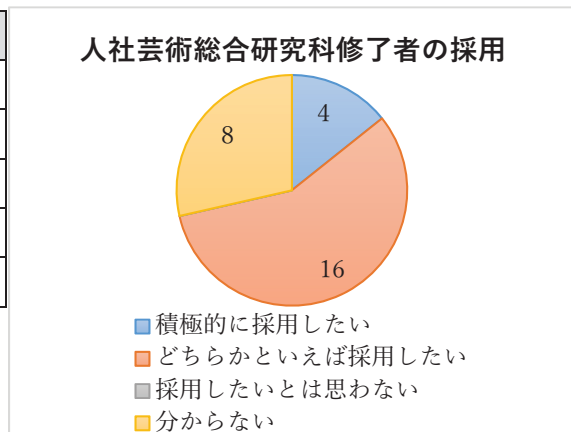
- ・現場に直結する分野に投資が偏ることはリスクと感じます



問5. 大学院修士課程修了者の採用

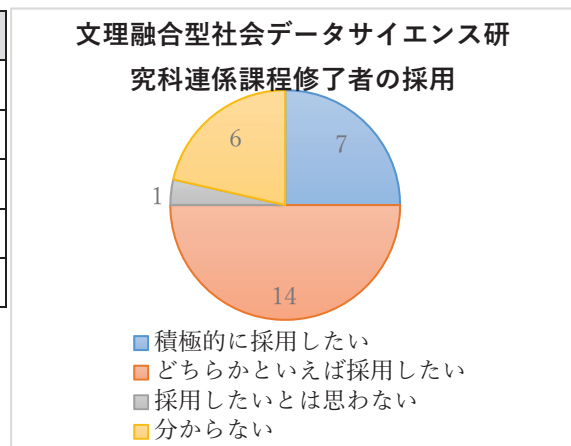
(1) 大学院人社芸術総合研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

| 採用に関する意向 | 回答数 |
|---------------|-----|
| 積極的に採用したい | 4 |
| どちらかといえば採用したい | 16 |
| 採用したいとは思わない | 0 |
| 分からない | 8 |
| 合計 | 28 |



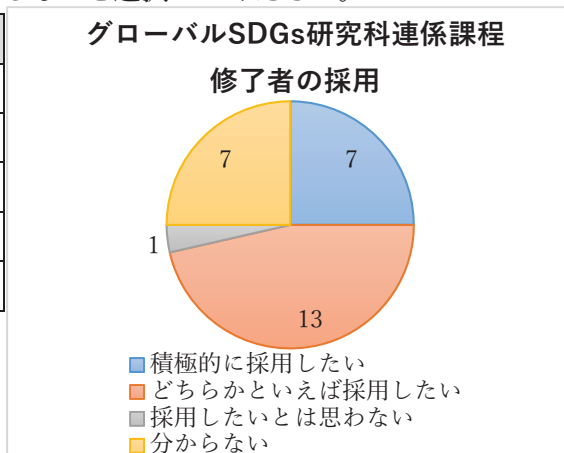
(2) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

| 採用に関する意向 | 回答数 |
|---------------|-----|
| 積極的に採用したい | 7 |
| どちらかといえば採用したい | 14 |
| 採用したいとは思わない | 1 |
| 分からない | 6 |
| 合計 | 28 |



(3) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

| 採用に関する意向 | 回答数 |
|---------------|-----|
| 積極的に採用したい | 7 |
| どちらかといえば採用したい | 13 |
| 採用したいとは思わない | 1 |
| 分からない | 7 |
| 合計 | 28 |



その他

(1) 差し支えなければ、貴社・貴機関のお名前を記載してください。

株式会社富山育英センター
トヨタカローラ富山株式会社
七尾市役所
宮越工芸株式会社
北陸コカ・コーラボトリング株式会社
アルコット株式会社
カナカン株式会社
税理士法人 タックス総研
北陸電力株式会社
上越市役所
株式会社日本オープンシステムズ
富山労働局
福井県教育委員会
福井市役所
株式会社富山銀行
富山市

(2) 最後に、富山大学大学院の改組構想に関しまして、全体を通じてご意見がございましたらお聞かせください。

・改組は簡単なものではないと思いますが、時代に合わせた変化に挑む姿勢はとても大切だと思います。

富山大学大学院修士課程（主に文系大学院）に関するアンケート

このアンケートは、改組予定の富山大学大学院の修了者に関する社会的ニーズを把握し、今後の改組準備に役立てるために実施するものです。調査結果は、本学の大学院教育の改革に活用していくものになりますので、ぜひともご協力をお願いいたします。

なお、貴社（貴事業所）からいただいた回答は統計的に処理し、個別の情報が公表されることはありません。

問1. 会社等の概要

貴社の概要について教えてください。

(1) 貴社・貴機関の属する業種について、該当する番号を記載してください（主たるものを1つ）。

回答番号：()

1. 農業，林業
2. 漁業
3. 鉱業，採石業，砂利採取業
4. 建設業
5. 製造業
6. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 情報通信業
8. 運輸業，郵便業
9. 卸売業，小売業
10. 金融業，保険業
11. 不動産業，物品賃貸業
12. 学術研究，専門・技術サービス業
13. 宿泊業，飲食サービス業
14. 生活関連サービス業，娯楽業
15. 教育，学習支援業
16. 医療，福祉
17. 複合サービス事業
18. サービス業（他に分類されないもの）
19. 公務（他に分類されるものを除く）
20. 上記以外 ()

※上記の分類は、日本標準産業分類（総務省）による分類です。

(2) 貴社・貴機関の従業員数について、該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 50 人未満
2. 50～100 人未満
3. 100～300 人未満
4. 300～1,000 人未満
5. 1,000～2,000 人未満
6. 2,000～5,000 人未満
7. 5,000 人以上

(3) 貴社・貴機関の所在地を都道府県で記載してください。貴社・貴機関が事業所ごとの採用を行っており、事業所において本調査に回答される場合は、当該事業所の所在地を都道府県で記載してください。

回答欄：()

問2. 大学院修士課程修了者に求める能力

(1) 貴社・貴機関において文系又は文理融合系の大学院修士課程を修了者の採用実績はありますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 採用実績あり
2. 採用実績なし

(2) 貴社・貴機関が文系又は文理融合系の大学院修士課程を修了した社員を採用する場合に、どのような能力を期待しますか。各能力について該当する番号を記載してください。修士を採用したことがない場合は、仮に採用する場合としてお答えください。

【知識】

- ・対象分野における高度な専門知識と運用能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・最先端の知を幅広く理解し、常にアップデートする能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【思考】

- ・論理性や批判的思考（根拠に基づき多角的に考え適切に分析する思考）に関する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【コミュニケーション】

- ・自らの考えを的確に分かりやすく伝える能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・高度な英語力と多文化(異文化)理解に基づくコミュニケーション能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・リーダーとしてチームをマネジメントする能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【創造力】

- ・社会的・経済的・文化的価値を創出する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【高度スキル】

- ・データ処理, 分析, 活用能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【倫理】

- ・研究者又は高度職業人にふさわしい倫理観

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【その他, 貴社がとくに重視したい能力がありましたら記載願います】

{ }

問3. 本学大学院の改革構想

大変お手数ですが、本設問は、別途添付している「富山大学大学院の改組構想」をご覧になった上で、ご回答ください。

(1) 人社芸術研究科の新たな取組のうち、現実の課題をテーマとし、課題解決を通じて、実践的能力を養う「地域共創特別演習」について、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる 2. すこし評価できる 3. どちらともいえない
4. あまり評価できない 5. まったく評価できない 6. 分からない

(2) 大学院人社芸術総合研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる 2. すこし評価できる 3. どちらともいえない
4. あまり評価できない 5. まったく評価できない 6. 分からない

(3) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程において、地域の自治体や企業が有するオープンデータを活用し、発見した地域課題を修士論文のテーマとして問題解決を行うことについて、評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる 2. すこし評価できる 3. どちらともいえない
4. あまり評価できない 5. まったく評価できない 6. 分からない

(4) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる 2. すこし評価できる 3. どちらともいえない
4. あまり評価できない 5. まったく評価できない 6. 分からない

(5) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程において、国際的な広い観点から SDGs を学び、研究分野横断的なアプローチによって問題解決能力を身につけた人材の育成を目的とする教育について評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる 2. すこし評価できる 3. どちらともいえない
4. あまり評価できない 5. まったく評価できない 6. 分からない

(6) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(7) 全体的な富山大学の大学院改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

問4. 社会人に対するリカレント教育

用語説明：リカレント教育について

我が国は、健康寿命が世界有数の長寿社会を迎えており、人生 100 年時代を見据え、転職や起業を行う「人生の再設計」や技術革新に対応したスキル修得のための「学び直し」の重要性が、内閣府の経済財政報告など複数の政府・行政機関の報告等で指摘されています。

「リカレント教育」とは、「学校教育」を、人々の生涯にわたって、分散させようとする理念であり、理念が生まれた欧州における本来の意味は、「職業上必要な知識・技術」を修得するために、フルタイムの就学と、フルタイムの就職を繰り返して「学び直す」ことです。しかし、日本においては、長期雇用の慣行があることから、働きながら学び直すこともリカレント教育に含まれます。

(1) 大学院修士課程レベルのリカレント教育として、大学にどのような内容を求めますか。該当する番号を記載してください。【複数回答可】

回答番号：() 記載例：(1, 3, 5)

1. 特定の分野について、最新の知識を学修する内容
2. 特定の分野について、深く追求し研究する内容
3. 幅広く仕事に活用できる技能（データ分析など）を習得できる内容
4. 地域や会社の問題解決など、実際の課題をテーマに、大学教員の指導・助言を得ながら解決に取り組む内容
5. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

(2) リカレント教育の一環として、貴社・貴機関の社員等を大学院に入学させたいですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. ぜひ入学させたい（費用は会社等負担）
2. ぜひ入学させたい（費用は全部または一部を本人が負担）
3. 本人の希望があれば入学させてもよい（費用は会社等負担）
4. 本人の希望があれば入学させてもよい（費用は全部または一部を本人が負担）
5. 必要性を感じない
6. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

(3) 貴社・貴機関にとって、社員等がリカレント教育目的で大学院に入学することに関して何が障害と考えられますか。該当する番号を記載してください。【複数回答可】

回答番号：() 記載例：(1, 3, 4)

1. 本人の業務との大学院での学修の時間的両立が困難
2. 業務現場において本人の上司や同僚の理解が得られない
3. 大学院の学修内容は、業務現場において即座に活用できない
4. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

問5. 大学院修士課程修了者の採用

(1) 大学院人社芸術総合研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(2) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(3) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

差し支えなければ、貴社・貴機関のお名前を記載してください。

()

最後に、富山大学大学院の改組構想に関しまして、全体を通じてご意見がございましたらお聞かせください。

()

以上

富山大学大学院の 改革・再編の構想 (主に文系)

令和3年1月

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。



富山大学大学院 改革・再編の社会的背景

- ICT技術の高度な発展により、社会構造が変化し、超スマート社会（Society 5.0）が到来し、産業における価値の源泉が、“物”から“知識・情報”へとシフト
- 経済問題、気候変動、感染症といった課題が世界全体に連鎖する中、「持続可能な開発（Sustainable Development）」を達成するための目標（SDGs）が国際的に合意
- 日本全体での出生数低下、高齢化の進行による大幅な活力低下



広範かつ複雑な課題への対応や新たな社会的ニーズに応え得る人材を養成するためには、これまでの大学院組織（下記参照）・大学院教育では不十分

大学院人文科学研究科

大学院人間発達科学研究科

大学院経済学研究科

大学院芸術文化科学研究科

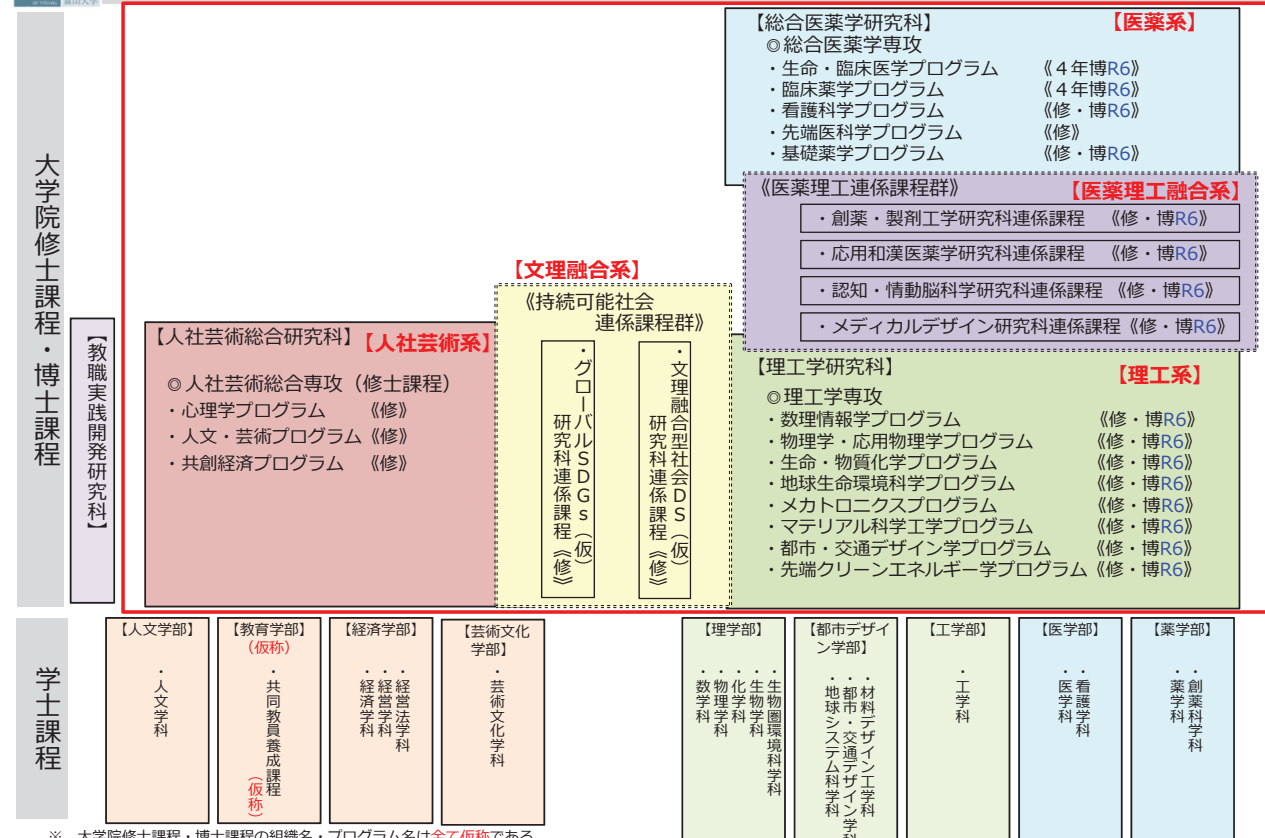
大学院生命融合科学教育部

大学院医学薬学教育部

大学院理工学教育部



富山大学ならではの強みを生かしつつ新たな大学院教育が必要



○高度な教養又は基盤的能力を身に付けるための大学院共通科目を提供

【授業科目】

- 研究倫理 必修
 - 科学技術と持続可能社会 必修
 - 地域共生社会特論
 - 研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用
 - アート・デザイン思考
 - 英語論文作成Ⅰ
 - 英語論文作成Ⅱ
 - データサイエンス特論
 - キャリア教育
 - 知的財産法
- ※名称は、全て仮称

○専門分野の異なる複数の指導教員による指導・助言体制の構築

生命融合科学教育部及び理工学教育部の博士課程で行われてきた出身分野と異なる副指導教員を含む共同指導体制についても、取組を発展させる形で全学的に導入する。客観的かつ異なる専門性の視点に基づく指導・助言体制を確立することで、新たな気づきの機会を得ることができる。

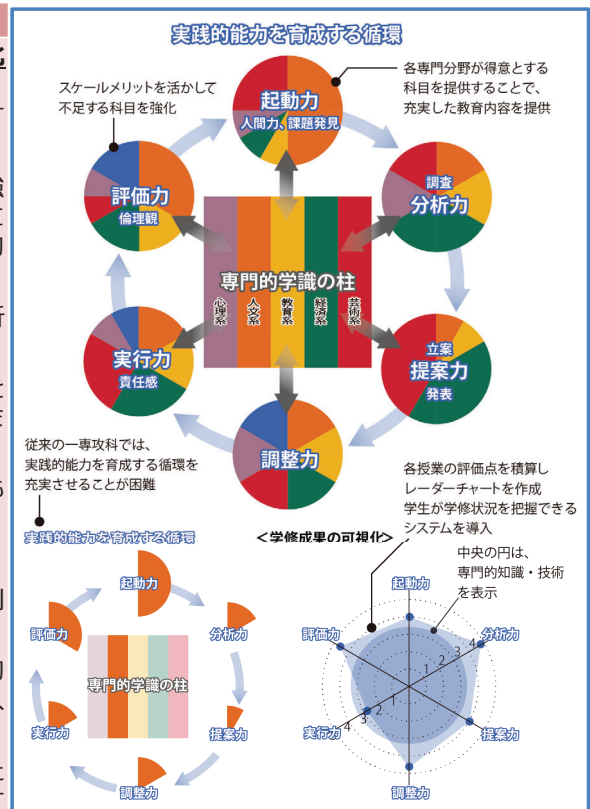
大括り化によって達成できる課題に対応した能力育成

・人社芸術総合研究科では、**人文科学、社会科学、芸術文化の専門的学識と社会における高い実践的能力**を相乗させ、新たな価値・文化・社会を創ることができる人材を養成する。

- ①起動力：課題解決または価値創造に向けた取り組みを、強い動機付けをもって始めようとする力。人社芸術系諸分野に関する基盤的学識によって涵養する人間力に基づく普遍的な理念と美的感性によって着眼する能力。
- ②分析力：取り組みを行うための条件を絞り込む調査・分析力。データサイエンスを活用して方向性を特定する力。
- ③提案力：営利・非営利、組織形態等を問わず、取り組みを実現するために、それぞれの専門的知識・技術を活かしまとめる立案力。
- ④調整力：提案に対する多様な意見聴取を行い、それらをもとに調整し、実現可能な取り組みにまとめあげる力。
- ⑤実行力：責任感を持って取り組みを推進していく行動力。
- ⑥評価力：倫理観を持って取り組みを社会的な観点から批判的、俯瞰的に捉える力。

・従来の一専攻科では充実させることが困難であった実践的能力を育成する循環を、大括り化によって充実させる。スケールメリットを活かして、不足する科目を強化。

・授業では各能力に対応した評価点をつけ、これを積算したレーダーチャートを作成することで、学修成果を可視化する。学位授与方針に直結した教育課程を編成を行い、それを評価することで社会が求める人材を確実の養成する。



実践的能力を養う研究科共通必修科目「地域共創特別演習」

<授業のねらい>

- ・学位授与方針に掲げる6つの能力を育成する科目として、現実の課題をテーマとしたPBL形式の演習科目（1年次2単位）とする。
- ・専門が異なる学生が混在するチームを編成し、お互いの能力を最大化する情報共有、意見調整、統合方法などの協働を学ぶ。

<達成目標>

- ・6つの能力を一段階上げる（授業開始時自己評価と比較）。
- ・作業内容、日程、役割分担、予算計画など、プロジェクト管理できる能力を身につける。

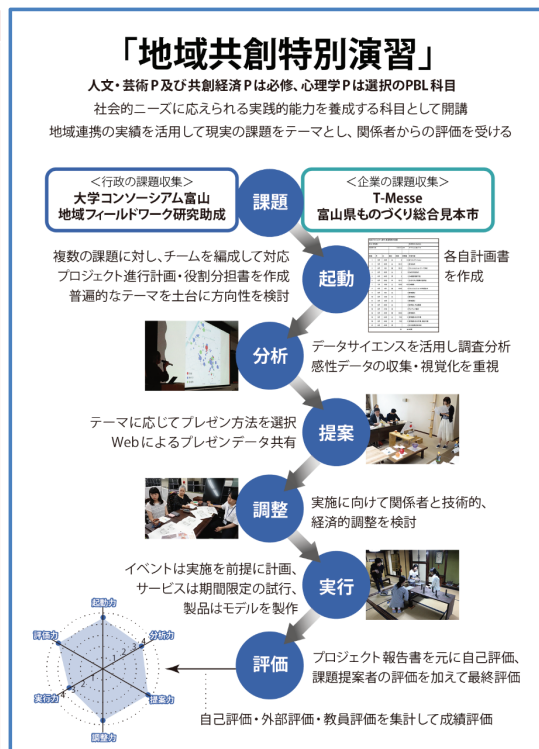
<授業計画>

- ・組織的に集めた課題に対して、4～6名を1チームとして対応する。

- ①起動力：現実的な課題に対して、普遍的な理念や社会があるべき姿を起点に、課題解決への方向性を徹底的に議論する。
- ②分析力：DSを活用、感性データの収集・視覚化を重視する。
- ③提案力：テーマに応じたプレゼン方法を選択すると共に、Webによるプレゼンデータの共有を図る。
- ④調整力：実施に向けて関係者と技術的、経済的課題を検討。
- ⑤実行力：イベントは実施を前提に計画、サービスは期間限定の試行、製品はモデルを製作するなど課題に応じて成果対象を設定。
- ⑥評価力：プロジェクト報告書を元に自己評価・学生評価を行う。

<成績評価>

- ・自己評価・外部評価・教員評価を集計して成績評価点をつけ、これをレーダーチャート化し、各自が自己点検を行う。



人文、社会、芸術に関わる自己の専門分野についての高度な専門的学識を有するだけでなく、人間の文化、社会、芸術活動を総合的に俯瞰する視野を備え、現代的諸課題に適切に対処することのできる人材を養成することを目的として3つのプログラムを設ける。

人文・芸術プログラム（学位：文学，芸術文化学，学術）

本プログラムは、幅広い分野に関する基礎的能力を有し、人文科学、芸術文化学及びスポーツ科学に関わる諸分野についての高度な専門的学識、高い倫理観と豊かな創造力を持ち、これらの諸科学に関わる各分野を発展させ、その成果を社会に還元することのできる能力を備えた人材を養成する。

本プログラムの教育により、地方自治体・行政機関職員、学芸員、中学校・高校教員、大学職員、民間企業社員、アーティスト、デザイナー、文化財修復士を社会に送り出す。

共創経済プログラム（学位：経済学・経営学・学術）

経済学・経営学・法学という社会科学の主要な分野に関する基盤的能力と高度な専門的学識を有し、広く人間の経済的・社会的活動を俯瞰する視野を備え、現代的諸課題に適切に対処できる人材を養成する。同時に、経営学と芸術文化学を横断した教育により、デザイン経営に関わる学際的研究を行い、デザインの視点や思考を取り入れイノベーションを創出する能力を有する人材を養成する。

本プログラムの教育により、民間企業社員、地方自治体・行政機関職員、大学職員、経営者を社会に送り出す。

さらに、このプログラムはリカレント教育を重視し、激変する現代社会の課題に対応できるような専門的能力・知識を身に付けさせる。

心理学プログラム（学位：文学，学術）

心理学に関連する多様な分野に関する基盤的能力とともに、心理学の高度な専門的学識、多角的な洞察力及び専門性を要する職業に必要な実践力を有し、高い倫理観と豊かな想像力を持ち、心理学を発展させ、その成果を社会に還元することのできる能力を備えた高度専門的職業人を養成する。

本プログラムの教育により、地方自治体職員（児童相談所、福祉事業所、教育委員会など）、国家公務員（心理職）、病院職員、民間企業の専門職、大学職員、NPO（就労支援、障害者支援など）、スクールカウンセラー、ユースワーカーを社会に送り出す。

環境、経済、社会の課題は相互に絡み合っており、ひとつの課題に個別に対応するのではなく、ひとつの課題解決が他の課題解決にもつながるような取り組みが必要となる。このような課題解決についての大学院教育は、「専門性」を重視する個々の研究科では実施が困難であり、**文理の枠を超えて総合的・多角的に課題解決ができる人材の育成が必要**である。

「持続可能社会」を実現するためには、ひとびとの生活の場である「地域」に加えて「地球規模」でも持続可能なものにならなければならない。富山県は、高低差4,000 mの変化に富んだ自然環境の中に小さな集落や中核市が存在する日本の縮図と言え、持続可能社会を考え、学修するフィールドとして高いポテンシャルを持っている。我が国において解消が進まない首都圏一極集中や高齢化により地方の活力が低下する中、**自らが築いてきた専門性（バックグラウンド）を活かして、データサイエンス、AIを活用して地域課題を解決できる高度人材の育成が必要**である。一方、地球温暖化、海洋汚染、地域間格差の解消、大規模感染症対策をはじめとする、大規模な課題解決には、「地域」、「地球規模」の両方の視点に加えて「国際的」視点を持ち、**様々な課題に対して柔軟に対応し、SDGs達成に貢献していく高度人材の育成が必要**である。

こうした背景から、人社芸術総合研究科と理工学研究科が緊密に連係することにより、これら2分野の研究科等連係課程を新たに設ける。

文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程（学位：学術）

現代社会にあふれるデータを適切に読み解くことで課題発見・解決できる能力を養うだけでなく、そこから新しい価値を創造し、地域活性化やSDGs達成に貢献できる人材を育成する。

この課程における教育により、地域の経済・公的機関・産業をデータサイエンスで支えるオールラウンド型の人材を社会へ送り出す。さらに、この課程はリカレント教育を重視し、地方公共団体の行政職や企業に在籍する社会人を受け入れ、地域や在籍企業が直面する実際の課題を修士論文テーマと位置付けて課題を発見・解決する教育を行う。

グローバルSDGs研究科連係課程（学位：サステナビリティ学）

持続可能な社会を構築するために解決が必要な諸課題について、自らが新たな知を創造し、その知から更なる価値を生み出す能力とグローバルに活躍するための基礎となる英語力を身に付け、社会が直面する様々な課題に新たな解決策を示すことができる人材を育成する。

この課程における教育により、国内外官公庁、国連・国際NGO等の国際機関、地方自治体、教育機関、多国籍製造業、金融業（ESG投資関連企業）、CSR企業、研究機関において活躍する人材を社会に送り出す。

さらに、この課程はリカレント教育を重視し、研究より知識・技能の習得に重点を置いたスペシャリスト・トラックを設ける。

「人」と「地」の健康」に対し、スマートシティの実現にデータコンサルタントとして貢献できる人材を育成する

地域の経済・公的機関・産業をDSで支えるオールラウンド型

地域の経済を支える人材
総合商社、広告代理店、保険会社、金融機関、サービス産業

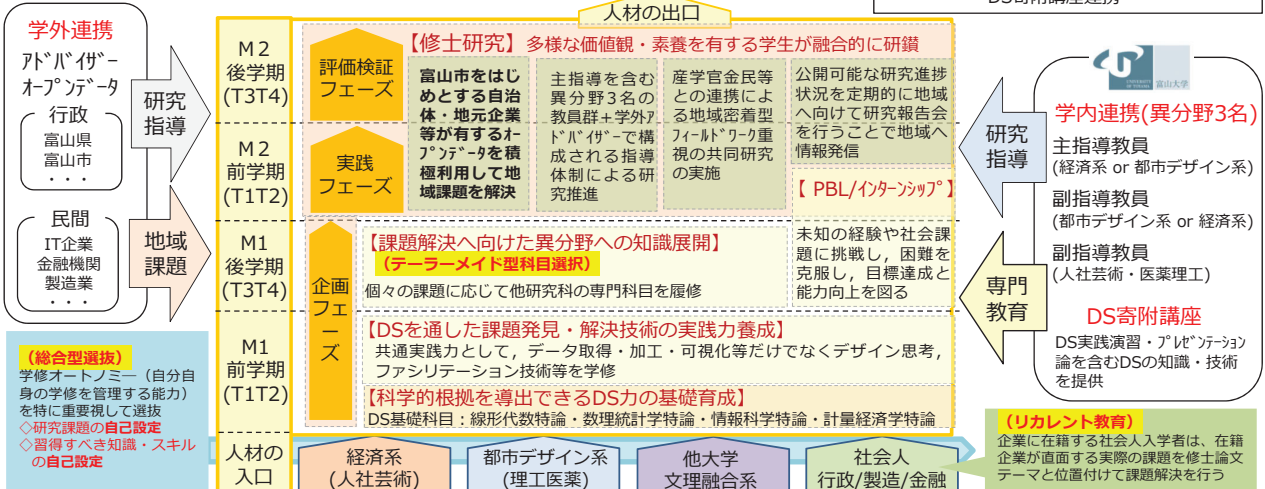
地域の公的機関を支える人材
行政機関（国・県・市町村）、病院・医療機関、インフラ業

地域の産業を支える人材
IT企業、製造業、製菓業、農林水産業

都市・交通デザイン系博士課程へ進学

基本情報

授与学位：修士（学術）
 想定進学元：経済系、都市デザイン系、他大学文理融合系、社会人
 想定就職先：国（総務省/国交省/環境省等）、地方自治体、コンサル（政策/都市/IT）、保険、IT企業、旅行等
 キーワード：文理融合、持続可能社会、地方創生、地域課題解決、リカレント教育、DS寄附講座連携



個々の課題に応じたテーラード型学修プログラムによる文理融合型DSジェネラリストの育成

- 研究科連係課程の概要
現代社会にあふれるデータを適切に読み解くことによる課題発見・解決力と価値創造力を有し、地域活性化やSDGs達成に貢献できる人材育成を目指す
- 研究科連係課程の特色ある教育
 - ・研究課題に応じて習得すべき知識・スキルを事前に計画する能力を総合型選抜で精査（入学前に履修モデルを決定）
 - ・課題に応じて他研究科専門科目を履修するテーラード型学修プログラムと文理融合型の教育研究指導体制
 - ・富山市と連携し（物流や交通量などのオープンデータの活用）スマートシティの実現に向けた実践的な課題解決型の共同研究を推進
 - ・グローバルSDGsとの連携により、ローカルとグローバルの視点を養成
- 人と地の健康との関連
地域が抱える様々な課題に対して課題解決を導くデータ分析を行うことで、人と地の健康の実現に向けた様々な知見を得る

令和3年8月2日

国立大学法人富山大学

学長 齋藤 滋 殿

富山県教育委員会

教育長 荻布 佳子



公認心理師養成課程の体制整備について（要望）

近年、社会環境の変化に伴い、児童・生徒が抱える課題も年々複雑・深刻化しており、教育現場では、不登校、いじめ、校内暴力、こどもの貧困及び虐待等の児童・生徒が抱える課題への適切な対応が求められています。

これらの問題に根本から対応するため、児童・生徒への相談体制の充実が必要であり、心理学に関する専門性を備えたスクールカウンセラーとして公認心理師の必要性は高まっております。

公認心理師は、心理学に関する専門的知識・技術を持ち、学校教諭、医師、看護師、保健師及び社会福祉士との連携を図ることなど、教育の分野においても、重要な役割を果たすものと考えております。

現在、県内には公認心理師を養成する機関はないことから、貴学におかれましては、県内唯一の国立大学として、今回の公認心理師養成課程の体制整備構想の早期実現を要望するとともに、教育現場においても即戦力として活躍できる公認心理師の育成を期待します。

富医発第698号
令和2年10月23日

国立大学法人富山大学
学長 齋藤 滋 殿

公益社団法人 富山県医師会
会長 馬瀬 大 助



公認心理師養成体制の整備について（要望）

日頃から、富山県医師会及び富山県内公的病院等への医師派遣，地域医療の医療人育成に関して御支援，御協力を賜り感謝申し上げます。

現代は、「こころの問題」が原因で，身体の異常や生活上の問題を引き起こす人たちが増加しており，心理学的な方法を用いて「こころの問題」をケアする専門職が必要となっています。さらに，疾病の治療においても患者の不安を緩和することは重要であり，医療・介護・福祉現場等において医師，看護師，保健師，心理職等が連携することは，欠かせないものとなっております。

そして，複雑化する現代社会の課題や解明が進む脳と心のメカニズムへの理解など，心理職に求められる知識・技能は，益々高度なものになっており，医療現場等において，心理に関する国家資格である公認心理師の資格を有する心理職が必要であると考えております。

貴大学におかれましては，富山県内唯一の国立大学として，高度な専門的知識・技能を身に付け，多職種協働・地域連携ができる公認心理師の養成体制整備を，早期に実現されるよう富山県医師会として強く要望いたします。

公認心理師の資格取得要件を揃えた教育環境の要望について

富山県公認心理師協会は、公認心理師となるために必要な科目を履修できる大学および大学院の設置を要望します。

第434回中央社会保険医療協議会総会（2019年11月20日）で厚生労働省が提示した資料によりますと、公認心理師の資格登録者数が2万7,344人（2019年9月末現在）、第1回および第2回の試験合格者が3万6,438人となっています。心理職の国家資格が誕生したことで、診療報酬上でもストレスチェック制度でも公認心理師の名称が既に登場しており、今後、公認心理師が活躍する範囲は保健医療、教育、福祉、司法、産業等の各領域でますます広がっていくことと思われます。

しかし県内の各領域から富山県公認心理師協会に様々な派遣や依頼の要請をいただいているにも関わらず、当会は会員数170名（2020年8月現在、臨床心理士資格のみの会員も含む）と人員不足のため、十分に対応できる態勢に至っていないのが現状です。教育領域では、県内の各学校にスクールカウンセラー配置の要望はあるものの、全てに公認心理師・臨床心理士を「スクールカウンセラー」として配置できるだけの人数を確保できず、公認心理師・臨床心理士の資格を持たない「スクールカウンセラーに準ずる者」も含めて配置されている状況です。また被害者支援領域においても、公益社団法人とやま被害者支援センターをはじめ県内の被害者支援相談窓口において専門性の高い対応が必要な相談も多く寄せられるなかで、県内の公認心理師・臨床心理士は既に各々が勤務先を持っているため十分に配置できず、心理の国家資格を持たない現場の相談員が研修を受けながら対応している現状です。

さらに当会の入会状況を見ると、他県からの転入者の割合が高く、新卒者が入会することはほとんどありません。その背景として、県内に心理職を養成するための教育環境が存在しないことが挙げられ、それが富山県内の若手心理職不足につながっていると考えられます。現状において心理職を志して公認心理師資格を希望する人が専門的教育を受けるには、県外に進学しなければなりません。学生時代のつながりや求人情報へのアクセスのしやすさから、資格取得に対応した大学院が多い都道府県には新卒の心理職が多く、資格取得に対応した大学院がない県には新卒者が少ない傾向にあります。県内に新卒の人材が集まらないことは、現状で現場のニーズに対応できていないだけでなく、将来的にも富山県の心理臨床の次世代を担う人材が不足することを意味し、今後ますます社会の要請に応えることが難しくなっていくことが懸念されます。

このような経緯から、かねてより心理専門職の養成について要望させていただいてまいりましたとおり、あらためて公認心理師の資格取得のための受験要件を満たした教育環境（大学および大学院）を整えていただくよう要望いたします。

2020年8月25日

富山県公認心理師協会

会長 大平 泰子

